ARCHITECTURE AND SOCIETY・VOL. 53 NO. 9　1972・9

●特集・都市住環境へのアプローチ

建築と社会

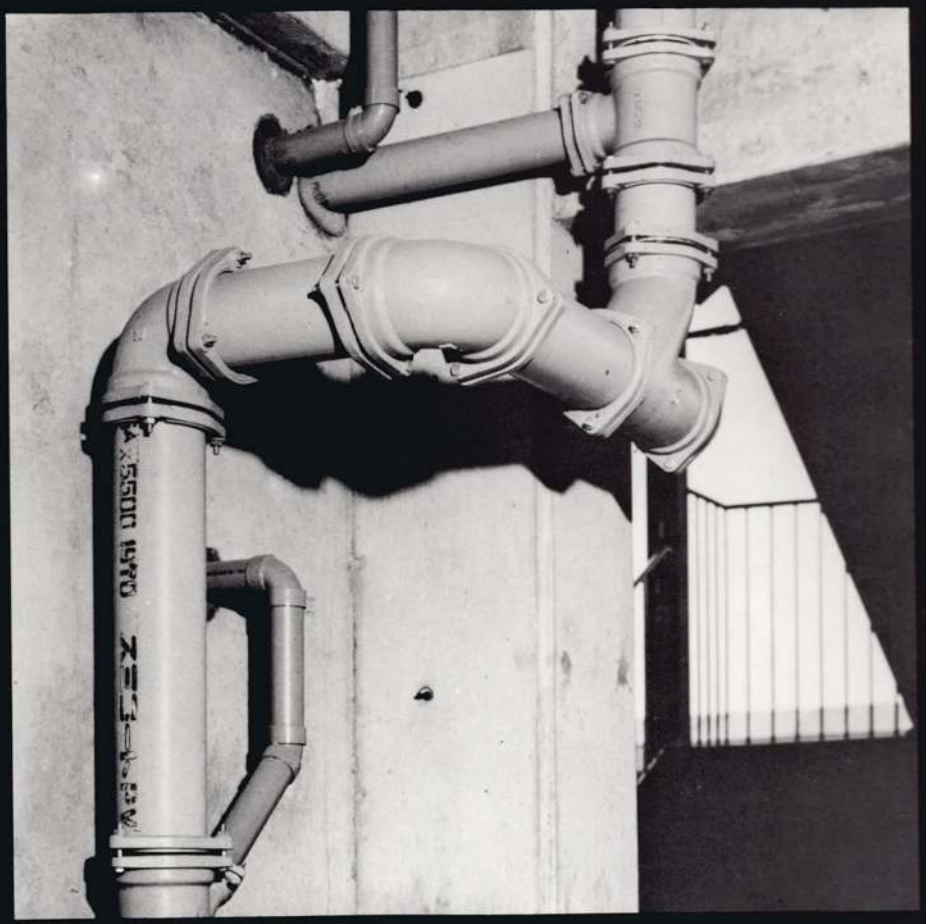
9

社団法人　日本建築協会
昭和47年 9 月25日発行
毎月 1 回25日発行
昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

1 住環境とは何か
2 住環境の評価と問題点
3 望ましい住環境をつくるために
●居住地の環境水準と改善計画－スローガンから科学的政策へ
●行財政制度のあり方
●「住民参加論」の諸相

“鉄をつくり未来をつくる”住友金属

どんな悪条件にも ビクともしないスミコートPVS おかげさまで好評です。



発売以来好評のスミコートＰＶＳ各地で着々と敷設されております。JIS規格の鋼管に塩化ビニールゾルを塗装、だから内外面からの浸食に絶対おかされず、どんな強い圧力や衝撃にもビクともしません。スミコートＰＶＳは、鋼管の利点（頑丈さ）と塩ビゾルの利点（さびない）が、たくみにいかされている一石二鳥のパイプです。もちろん加工性・施工性もすぐれており、経済性も充分に考慮し、低廉価につとめました。需要が増大している都市汚水用の配管、水道用の配管にぜひご利用ください。

●カタログをご請求ください。

住友の塩化ビニールゾル被覆鋼管

スミコートPVS

住友金属

住友金属工業株式会社

大　阪　大阪市東区北浜５－１５（新住友ビル）　電（203）２２０１

東　京　東京都千代田区丸の内１－３－２（新住友ビル）　電（282）６１１１

営業所　福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・宇都宮・仙台・札幌

旭硝子の線入板ガラス

プロテックス®

消防署員は――うん，乙種防火戸だね
デザイナーは――この線がアクセントになっている
どろぼうは――ここは，遠慮しとこう
コントラクターは――やっぱりプロテックスか



専門家（プロ）なら　わかる

線入板ガラス「プロテックス」®の種類
- ■磨プロテックス　6.8mm　10mm
- ■霞プロテックス　6.8mm
- ■サンブロンズ磨プロテックス　6.8mm
- ■サングレー磨プロテックス　6.8mm

建設省認定　乙種防火戸第85号（スチール枠防火戸），第103号（アルミ枠防火戸）

旭硝子

本社■東京都千代田区丸の内2−1−2（千代田ビル）
〒100　TEL(03)218−5379　建材営業部
支店■東京・大阪・小倉・名古屋・札幌・仙台

大阪府臨海スポーツセンター

設計監理：槇　総合計画事務所



施工　錢高組

空調・衛生　須賀工業

電気　淺海電気

鉄骨	新日本製鐵	大阪市北区中之島3 3 TEL 06 202 2201	鉄骨	丸神鉄工所	東大阪市稲葉1 5 25 TEL 0729 61 4321	鋼材商社	大阪鋼材	大阪市西区新町通1 38 TEL 06 541 1161	鋼製建具	日鐵カーテンオール	大阪市南区順慶町通4 25 TEL 06 241 0123
セメント	大阪セメント	大阪市北区堂島浜通1 57 TEL 06 345 1231	日進式軽量鉄骨	奥村重兵衛商店	大阪市北区伊勢町22 TEL 06 312 4131	溶接金物 パーメッシュ	東洋金網	四條畷市大字中野766 TEL 0720 76 1122	天井 ネオパールスキン吹付	東邦パーライト	大阪市東区森之宮西之町594 TEL 06 941 9243
タイル	川岸窯業商店	大阪市西区靱本町2 98 TEL 06 532 0461	テラゾー 大理石	共栄テラゾ工業所	大阪市西淀川区竹島町1 13 TEL 06 471 2181	石・彫刻	岡田石材工業	大阪市西区本田二番町38 TEL 06 581 3136	硝子	豊和硝子	大阪市浪速区桜川4 6 17 TEL 06 562 4391
装飾金物	上野製作所	大阪市天王寺区東門町53 TEL 06 771 0407	塗装	田中塗装店	東大阪市高井田中3 30 TEL 06 783 2051	シャッター	日本シャッター製作所	大阪市東淀川区田川通6 38 TEL 06 301 3656	防火扉自動閉鎖 YM式オートアンロック	美浜	大阪市西区土佐堀通3 28 TEL 06 448 1321
F・R・P・椅子 セキスイスノコ	積水化学工業	大阪市北区絹笠町2 TEL 06 365 2552	積水化学 代理店	田中弥	大阪市東区北浜2 74 TEL 06 203 4451	内装 カーテン	利倉幸	大阪市南区長堀橋筋2 20 TEL 06 211 0571	床・壁・天井 内装	丸駒工事	大阪市西区南堀江通2 48 TEL 06 538 7221
電光掲示板	湯浅金物	大阪市南区末吉橋通2 10 TEL 06 261 1831	アスファルト防水	久保商店	大阪市北区鯰谷町5 TEL 06 364 0206	エラスタイト・防水板 塩ビパイプ・舗装資材	ライトラバー工業	大阪市天王寺区石ヶ辻町34 3 TEL 06 772 1761	鉄蓋	荒木製作所	東大阪市森河内東5 85 TEL 06 781 5232

PHOTOS：K. HIGASHIDE

所在地：高石市高師浜丁６番１号
敷地面積：23,606.06 ㎡
建築面積：10,092.42 ㎡
延床面積：11,930.69 ㎡
構造規模：Ｓ造大屋根、ＳＲＣ造同支柱
ＲＣ造一般階、Ｂ１、２Ｆ
工期：1971．３～1972．６

上：西北より浜寺水路に映る夜景
右：東南側より正面全景をみる
下：広場よりエントランスをみる





第１体育室（写真右）

総面積	2,591.34㎡
フロアー	36m×43.2m
ロッカー室	男子用・女子用
シャワー室	男子用（温冷水）
	女子用（温冷水）
トイレット	男子女子用
準備室	３
指導員室	１
監視室	（兼音響調整室）
観覧席	450席
倉庫	259.2㎡
利用球技	
バレーボール	３面
バスケットボール	２面
バドミントン	８面
卓球	10台
その他	

第２体育室（写真下）

総面積	1,409.54㎡
フロアー面積	37.8m×28.6m
ロッカー室	男子用・女子用
シャワー室	男子用（温冷水）
	女子用（温冷水）
トイレット	男子女子用
倉庫	97.2㎡
休憩室	97.2㎡
利用種目	
柔道場	98帖
トレーニング場	トレーニング器具一式
バレー、バスケットボール	１面
バドミントン	３面
卓球	６台





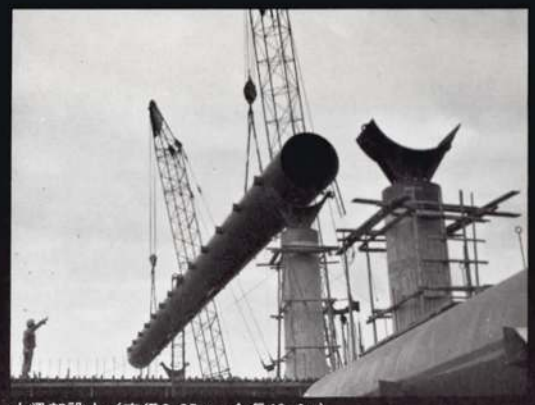
大阪府臨海スポーツセンター

設計者のことば

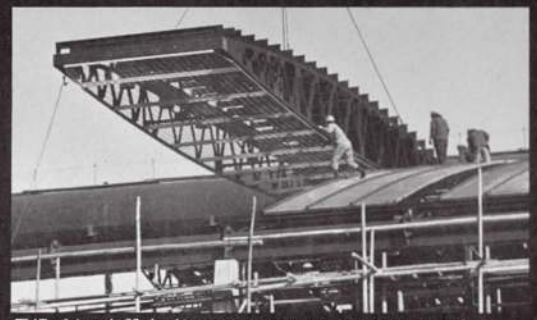
岡本聖司

堺の臨海工業地帯の中を走る臨海道路で浜寺を少し過ぎた頃から，この建物は，その特徴的な屋根を見せ始める。大阪府が臨海工業地帯と水路を隔てたこの泉北三区埋立地をレクレーションエリアとして開発しているその一環として，この建物は近隣の人々が，「使うための体育館」として計画された。「使うための」ということは，競技施設としてのみでなく，一般の人たちがスポーツを楽しんで行なえる場を与えるという意図をもっているということである。

平面配置としては，要請されている２つの大空間（体育館およびプール）を海側に位置させ，エントランスホール，第２体育室の２つの空間をその次に位置させ，その間を中央に貫ぬく延長130ｍのロビーを設けている。このロビーの２階ギャラリー部分は各体育室空間をそれぞれのぞくことができ，また１階部分はレベル差をもって空間に変化を与えている。ロビー上部の光の貫なりは，空間に長さを与えている。プールと体育室の間，ロビーと直角に走る部分をサービス空間とし，そのつづきに管理関係諸室をＬ型にまげて配置している。メインの大空間はすべて足もとを緑の土手でかくし，その上に同じ単位で構成された屋根パネル（3.600ｍ×21.600ｍ）をかけている。この屋根パネルはすべて工場で製作されたトラスをもとに現地で一つのパネルに組立て，クレーンにより乗っけるという方法をとった。これは施工精度の向上と工期短縮の面はもちろんであるが，同一単位により構成される自由な形に興味を持ったからである。また軽く安定した性能を保持できる材料として耐候性鋼板がえらばれたことはいうまでもない。



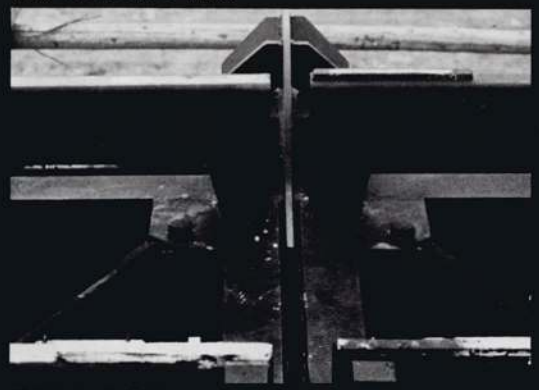
大梁架設中（直径2.25m、全長48.6m）



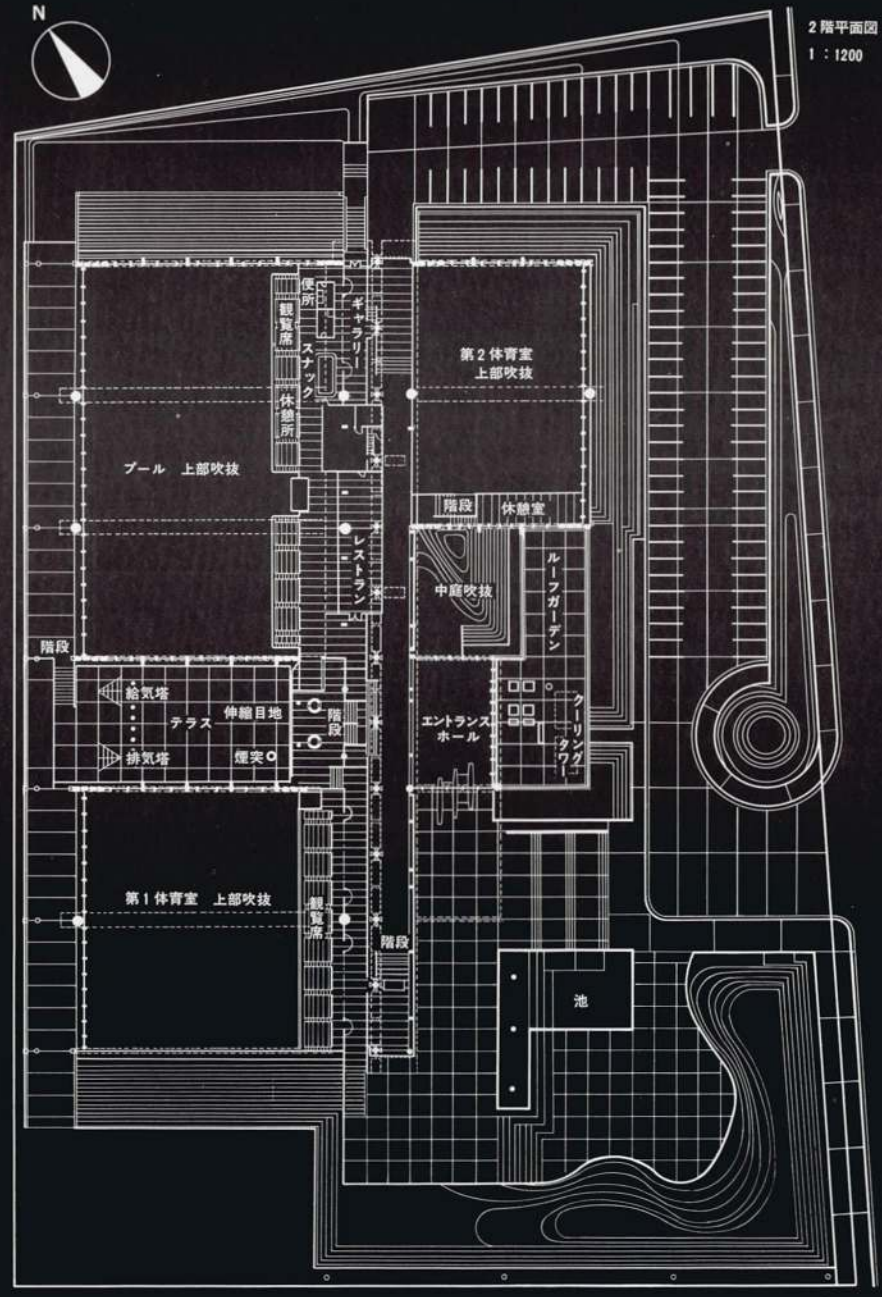
屋根パネル架設中（3.6m×21.6m、H＝0.250m～1.5m）



屋根パネルジョイント部分



屋根パネル現場ジョイント軒桁側





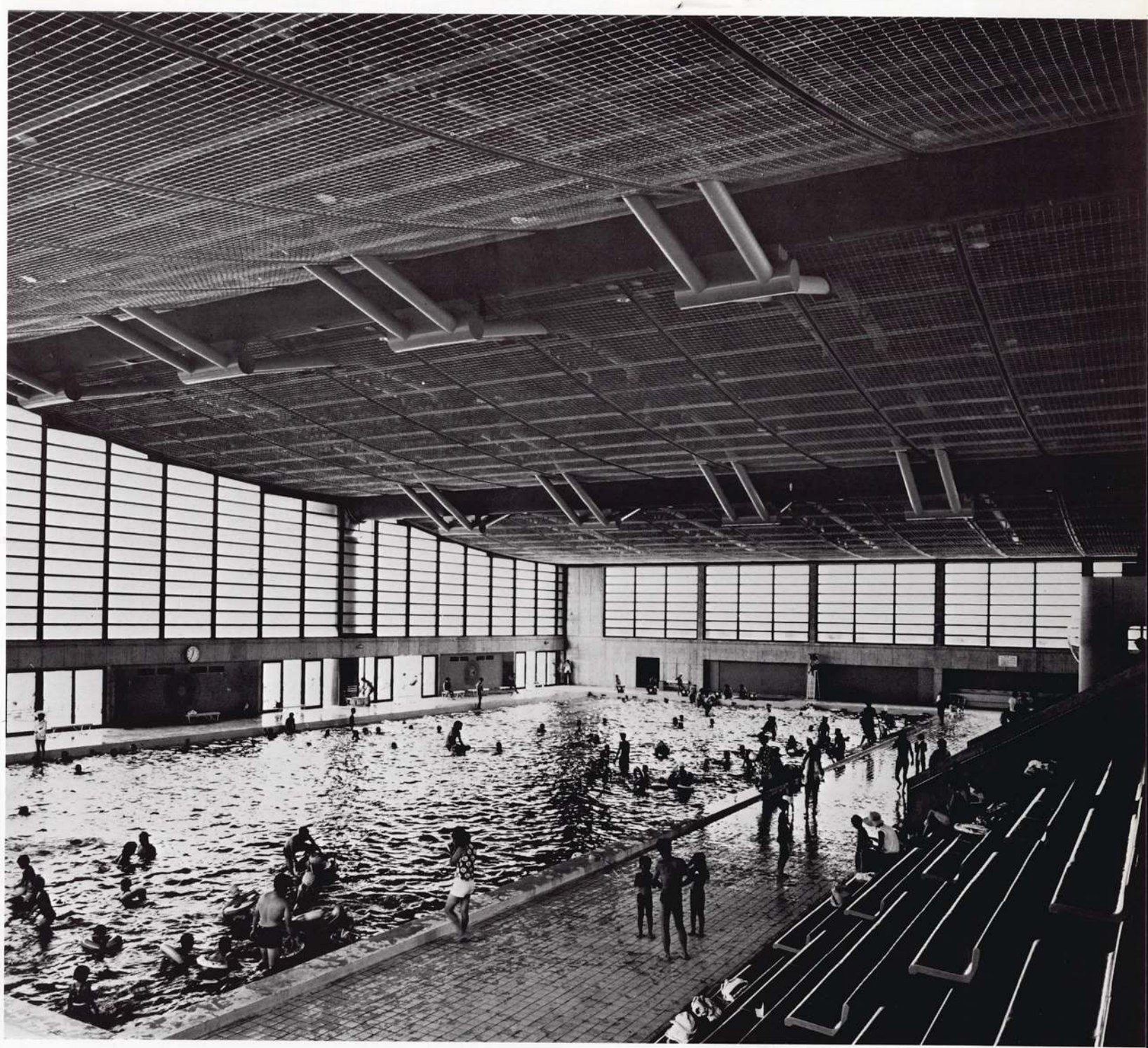


2



3

4



1　レストランより中庭をみる
2　ロビーよりエントランスホールをみる
3　ロビー
4　プール(冬期はアイススケート場)
5　プールサイドテラス

5



大阪府臨海スポーツセンター

アスファルト防水の材料と工事は

社団法人 **日本アスファルト同業会**

本　部　東京都中央区八重洲１－３　ＴＥＬ（271）2208 〒103
関東支部　同　上
関西支部　大阪市西区新町北通１－17　ＴＥＬ（541）3785 〒550
九州支部　長崎市大橋町２３－５　ＴＥＬ（45）6216 〒852

関西支部会員（業別五十音順）

―― 製造業 ――

アオイ化学工業株式会社
広島県安佐郡安古町下相田　(08287)7-1341 〒731-01

協和建材工業株式会社
大阪市東淀川区田川通５－９１　(301) 6437　〒 532

株式会社　工英社
大阪市西成区橘通９－２４　(661) 8861　〒 557

株式会社　工盛社
大阪市城東区西鴫野６－４３　(961) 4460　〒 536

昭和石油アスファルト㈱　大阪営業所
大阪市北区梅田町27　産経ビル　(341) 6395　〒 530

新関西化工株式会社
堺市浜寺船尾町東４－２７０　(61)　1788　〒 592

田島応用化工㈱　大阪営業所
大阪市西区京町堀１－７４　(441) 5951　〒 550

東亜工業株式会社
八尾市南太子堂６－４－27(0729)(23)3921 〒581

七王工業株式会社
善通寺市金蔵寺町１８０　(２)　0951　〒 765

日瀝化学工業㈱　大阪支店
大阪市東淀川区西中島３丁目犬飼ビル　(303) 0161　〒 532

日瀝化学工業㈱　名古屋支店
名古屋市港区南11－２－６　(661) 8251　〒 455

日新工業㈱　大阪支店
大阪市東淀川区瑞光通４－30－２　(329) 7737　〒 533

三島工業株式会社
伊予三島市宮川１－８－25　(3) 4420　〒799-04

―― 販売業 ――

朝日瀝青㈱　大阪支店
大阪市西区北堀江通5-55原田ビル　(538) 2731　〒 550

梅本石油株式会社
大阪市西区新町北通1-17(イサオビル)　(531) 9064　〒 550

大阪丸油株式会社
大阪市福島区鷺洲本通１－48　(451) 7601　〒 553

川崎物産㈱　大阪支店
大阪市北区堂島浜通１－25　(344) 6651　〒 530

大丸石油株式会社
大阪市東区安土町10新トヤマビル　(262) 1421　〒 541

中西瀝青㈱　大阪営業所
大阪市北区老松町２－７　(364) 4305　〒 530

中西瀝青㈱　名古屋営業所
名古屋市中区錦１－20－６　(211) 5011　〒 460

富士アスファルト販売株式会社
大阪市西区京町堀３－20　(441) 5195　〒 550

前田商店
大阪市西区土佐堀通５－64　(441) 5223　〒 550

村井工業所
大阪市生野区生野田島町４－94　(757) 1725　〒 544

山文商事株式会社
大阪市西区土佐堀通１－13　(443) 1131　〒 550

―― 工事業 ――

青盛建材株式会社
広島市鉄砲町５－１６　(21)　2281　〒 730

麻田建材株式会社
大阪市天王寺区逢阪上之町16－4　(771) 6470　〒 543

旭化建工業株式会社
大阪市北区茶屋町３８　(371) 6555　〒 530

池田瀝青工業株式会社
大阪市住吉区長居町東３－22　(699) 5757　〒 558

有限会社　伊東工業所
徳島市昭和町１－９　(52)　6881　〒 770

石井建材株式会社
神戸市兵庫区荒田町１－13　(511) 5353　〒 652

株式会社　井上浄夫商店
大阪市西区江戸堀１－１０１　(441) 8531　〒 550

有限会社　小野甚商店
岡山市内山下３０－１０　(25)　4868　〒 700

大阪耐酸工業所
大阪市北区浮田町８２　(371) 1333　〒 530

大芝建材株式会社
和歌山県東牟婁郡古座町西向841　古座局88　〒649-41

大島応用化学工業株式会社
東大阪市新庄１１４　(782) 4171　〒 578

太田建材株式会社
四日市市追分１－８－16　(45)　0531　〒 510

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町３－８　(571) 7461　〒 451

株式会社　カナヱ商会
大阪市北区空心町１－４０　(352) 3412　〒 530

株式会社　神原商店
守口市大庭町２－３１　(993) 1413　〒 570

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀５－５　(443) 0115　〒 550

共栄瀝青工業株式会社
大阪市東区船越町２－３４　(941) 5561　〒 540

協和工業株式会社
姫路市西夢前台１－７１　(66)1606　〒671-22

久下商店
京都市右京区西院春栄町23　(311) 2044　〒 615

アスファルト防水の材料と工事は

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5　(364) 0206　〒530

興亜建材株式会社
京都市南区西九条南田町56　(691) 6883　〒601

株式会社　佐々木商店
大阪市東淀川区三国町2-141　(392) 4618　〒532

坂口興業株式会社
大阪市北区神山町26　(312) 1118　〒530

三信工業所
神戸市兵庫区神田町439　(361) 1071　〒652

三和防水工業株式会社
広島市東雲本町2－4－21　(83) 3366　〒734

山陽建材工事株式会社
神戸市灘区高羽町2－9－6　(851) 9451　〒657

島崎興業所
大阪市北区西扇町扇町ビル　(313) 3776　〒530

清水興業株式会社
大阪市北区鶴野町34　(372) 0250　〒530

正和商事株式会社
松山市一番町3－3－5　(2) 8161　〒790

神光建材工業株式会社
大阪市城東区今福中4－7　(939) 0351　〒532

園建材工業
京都市下京区猪熊木津屋橋下ル　(361) 5311　〒600

高山工業㈱　大阪営業所
大阪市北区老松町2-19 昭栄ビル　(364) 7135　〒530

谷中建材工業株式会社
京都市下京区西七条掛越町54　(313) 5401　〒600

大三工業株式会社
高松市本町2－17　(51) 6811　〒730

大成株式会社
尼崎市久々知西町2－2－4　(427) 3726　〒661

大日本アスファルト株式会社
神戸市兵庫区塚本通2－3－2　(551) 5814　〒652

大日特殊建材工業株式会社
大阪市城東区今福中2－32　(939) 0156　〒536

株式会社　大和商会
大阪市南区宮津町4番丁73　(631) 6221　〒542

高橋建材店
名古屋市中区丸ノ内1－15－24　(231) 3295　〒460

株式会社　タテバヤシ商店
京都市南区西九条大国町37　(681) 7221　〒601

棚田建材有限会社
神戸市葺合区上筒井通8－22　(221) 9182　〒658

千代田建材株式会社
姫路市神屋町6－203　(22) 4471　〒670

中央建材工業株式会社
名古屋市千種区若水町3－26　(052) 0761　〒464

東洋建材株式会社
京都市下京区西酢屋町10　(371) 6080　〒600

友田工業株式会社
大阪市都島区都島中通3-3-6　(921) 0331　〒534

内外工業株式会社
大阪市阿倍野区旭町1－1－30　(641) 3434　〒545

株式会社　中出商会
神戸市兵庫区上沢通6－9　(511) 4501　〒652

中村瀝青工業株式会社
神戸市生田区海岸通4－16　(341) 5884　〒650

日建瀝青工業株式会社
神戸市兵庫区水木通8－5　(561) 0851　〒652

日新建工㈱　大阪出張所
大阪市西区新町北通1－18　(541) 1607　〒550

日新工材株式会社
大阪市西区新町北通1－17　(541) 3785　〒550

日東物産株式会社
名古屋市中区東瓦町39　(261) 2501　〒460

日本瀝青工業㈱　大阪支店
大阪市東淀川区元今里北通5-16　(309) 4701　〒541

日本瀝青工業㈱　名古屋支店
名古屋市東区矢田町10－36　(711) 3321　〒461

西川アスファルト工業株式会社
大阪市住吉区苅田町11－11　(699) 2727　〒558

株式会社　浜原豊商店
尾道市新浜1－3－4　(23) 2760　〒722

東中国防水工業株式会社
岡山市原尾島580－1　(23) 1181　〒700

フタバ興業株式会社
吹田市南金田1－10－18　(385) 2781　〒564

株式会社　双葉商会
大阪市東淀川区木川西ノ町1-10-14　(301) 3855　〒532

株式会社　不藤商店
西宮市甲子園9番町4－5　(47) 3033　〒662

古市断熱工業株式会社
高松市宮脇町2－30－5　(61) 5034　〒760

マサル瀝青工業㈱　大阪営業所
大阪市東淀川区木川西ノ町4－4　(303) 0241　〒532

マルヱ工業有限会社
高松市福岡町2－13－22　(21) 8410　〒760

マルエス工業株式会社
大阪市福島区上福島南1－152　(458) 4841　〒553

丸藤商店
大阪市北区天神橋筋2－1　(351) 0308　〒530

三星産業㈱　大阪出張所
大阪市西区京町堀1－74　(443) 9721　〒550

箕輪商会
松原市柴垣2－7－19　(31) 5419　〒580

山崎防水興業株式会社
大阪市東淀川区西三国町5-83-1　(939) 0351　〒536

山田善次郎商店
大阪市旭区生江町1－4　(922) 0495　〒535

横井商店
西宮市今津曙町13－10　(33) 5613　〒662

横山商会
大阪市大淀区大淀町中1－1　(451) 4905　〒531

── 賛助会員 ──

丸善石油株式会社
大阪市南区長堀橋筋1－3　(271) 1251　〒542

ここにも生きている
ビニロイド防水



屋根と室内にビニロイド防水を施工した霞ヶ関ビル

どんな地域でも　どんな構造の建物をつくっても完全な防水ができたら――それを実用化してすでに 250万 m^2 の施工実績を示しているのが**〈ビニロイド２号〉**です

防水下地にキレツができても破れず　寒冷地の冬にも丈夫で　どんな場所に使っても腐りません　それは弊社が合成繊維による不織布の独特な方法で加工した　技術の成果です　霞ヶ関ビルにも**ビニロイド２号**による防水工事をご採用いただきました

営業品目

●ビニロイド防水工事　●アスファルト防水工事
●三星ソフトンタイル貼工事　●保温・保冷工事
●三星プラスオール　●三星コーキン販売・工事
●シポレックス工事

三星産業株式会社

東京都千代田区岩本町３－11－13
ＴＥＬ〈866〉0271～６・6121～９
出張所／札幌〈72〉6031　仙台〈21〉5366－7　名古屋〈941〉3751
〈971〉4574　大阪〈443〉9721－３　福岡〈76〉2076〈75〉0298



完全責任施工　年限保証

日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法(特許出願中)
■メルタン防水工法



50年の実績が生んだ防水

シグマート・SPウエルドルーフィング

■全国に配置された組合員の強力な連繋で完全な施工工事をお受けいたします

地区別	会社名	電話
北海道地区	日本スレート株式会社	札幌231—7511代
	日新建工(株)札幌出張所	札幌221—5015
東北地区	信栄工事(株)仙台出張所	仙台23—1735
	日新建工(株)仙台支店	仙台25—5431代
関東地区	伊藤建材株式会社	東京842—1431代
	春日工業株式会社	東京802—3871代
	金岡工業株式会社	東京363—4341代
	木下工業株式会社	東京634—0821代
	協立工業株式会社	東京433—1961
	大東スレート株式会社	東京883—3131代
	日新建工株式会社	東京803—2411代
	日本綜合防水株式会社	東京403—0171代
	野口工材株式会社	東京444—3531代
	鶺田工業株式会社	東京263—4861代
	藤井工業株式会社	東京941—0271
	富士工材株式会社	東京634—0161代
	藤瀝青興業株式会社	東京362—5697代
	北条瀝青工業株式会社	東京551—2676
	マサル瀝青工業株式会社	東京842—6311代
	大和工業株式会社	東京802—4751代
	瀝青建材株式会社	東京861—2706~8
	瀝青建材(株)宇都宮出張所	宇都宮22—9737
	石田建材工業株式会社	高崎22—3301~3
	石田建材工業(株)大宮支店	埼玉31—1225~7
	石田建材工業(株)宇都宮出張所	宇都宮33—7697
	同和建業株式会社	新潟45—2251代
	株式会社奈良屋商店	水戸41—5141代
北陸地区	石橋建材株式会社	福井23—0775
	有限会社折橋政次郎商店	高岡22—0999
	有限会社小島工業所	高岡23—0391
	島屋建設株式会社	金沢42—5151

地区別	会社名	電話
東海地区	協和建材工業株式会社	清水45—2221代
	三信建材工業株式会社	豊橋45—8211代
	中央建材工業株式会社	名古屋761—6181代
	東京建材工業株式会社	名古屋411—6621
	日本建材鋼業株式会社	名古屋571—5541~4
	三井工業株式会社	静岡85—9151~3
	宮崎建材株式会社	名古屋331—1531代
近畿地区	清水興業株式会社	大阪372—0250~3
	東洋建材株式会社	京都361—9171
	棚田建材有限会社	神戸22—9182代
	中村瀝青工業株式会社	神戸34—5884
	日新工材株式会社	大阪541—3785~6
	有限会社ミサキ商会	和歌山22—3922
	フタバ興業株式会社	大阪385—2781代
	マサル瀝青工業(株)大阪営業所	大阪303—0241代
	マルエス工業株式会社	大阪458—4841~3
	日新建工(株)大阪出張所	大阪541—1607~8
	日本綜合防水株式会社大阪支店	大阪329—1023代
中国地区	株式会社三洋技建	大竹2—5155代
	東中国防水工業株式会社	岡山23—1181代
	豊永建材株式会社	広島61—6371~3
	大和工業(株)広島出張所	広島71—4687
	株式会社巴商会	宇部21—0760
四国地区	大三工業株式会社	高松51—6811代
	大三工業(株)高知支店	高知83—7328~9
	徳島大三工業株式会社	徳島54—4161代
	株式会社マルマス河野商店	今治2—5000代
	株式会社山本商会	松山31—6261代
九州地区	安藤工事株式会社	福岡28—5207~9
	株式会社北原建材商会	鹿児島23—9395~6
	株式会社工材社	北九州38—1468~9
	株式会社大二商会	宮崎24—1625
	日建工材株式会社	福岡74—6665代
	日新興業株式会社	延岡3—2455~9

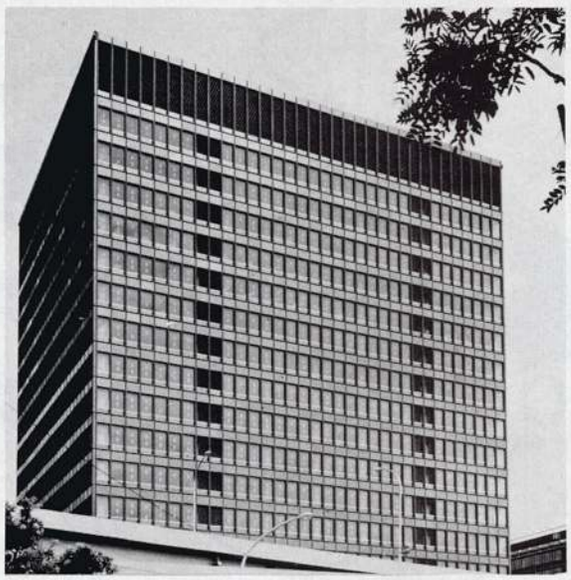
■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2—21—28 日新工業株式会社内　電話(882)2424(代)
関東支部　東京都足立区千住東2-21-28 日新工業株式会社内　電話(882)2424(代)
関西支部　大阪市東淀川区瑞光通り4-30-2 日新工業株式会社大阪支店内　電話(329)7737(大代)
九州支部　福岡市大手門1—6 日新工業株式会社九州出張所内　電話(74)3461



成果多きカーテンウォール一〇年



住友商事ビル



大阪銀行本店

■カーテンウォールの主な納入実績

イケマンビル	（昭和38年）
大阪証券会館	（昭和40年）
京都産業会館	（昭和40年）
大松ビル	（昭和41年）
麻布ビル	（昭和42年）
大阪駅前市街地ビル	（昭和45年）
住友商事ビル	（昭和45年）
竹平加入電報電話局	（昭和45年）
大阪銀行本店	（昭和45年）
尼崎信用金庫	（昭和46年）

※住友商事ビル、大阪銀行本店のアチーブメントを本社技術部までご請求ください。

ダイケンサッシ株式会社

本社　堺市松屋町1－6
〒590　TEL（0722）38－1141（大代表）
東京支社　東京都千代田区岩本町1－11－2（三泉ビル）
〒101　TEL（03）861－9421（大代表）
大阪支社　大阪市東区南本町5－14（南本町ビル）
〒541　TEL（06）252－1881（大代表）

防水革命をすすめる「新防水仕様」誕生！



画期的な
ふくれ防止システムを採用した
新露出防水工法が完成！

このたび完成した「新防水仕様」で最も画期的な点は強力アスロン（強力ギルソイド2層分以上の防水効果をもつメンブレン防水の高級プレハブ材）の開発、およびフリースポット・フリースキャップによる新露出アスファルト防水工法の採用です。
特に、露出アスファルト防水の分野では無機質基材を用いた穴あきルーフィング“フリースポット”を開発、この分野での部分接着工法を可能にしました。
それによって、長年またれていた防水層の「ふくれ」が防止できるようになり、さらに下地からのクラックによる防水層の影響も防ぐことができます。
革命的なこの新防水仕様に関するお問合せは資料請求券をそえて下記までお申し込みください。くわしい資料をお送りいたします。

田島ルーフィング株式会社
本　　社　東京都足立区小台1－3－11　電話(03)912－1131㈹
神田営業所　東京都千代田区岩本町3－11－13　電話(03)862－8531㈹

田島応用化工株式会社
東京営業所　東京都千代田区岩本町3－11－13　電話(03)866－6101㈹
大阪営業所　大阪市西区京町堀1－74　電話(06)441－5951㈹

東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町3・11・13　電話(03)866-6101(代)

西日本アスファルト事業協同組合
大阪事務所　大阪市西区京町堀1・74　電話(06)441-5951㈹
名古屋事務所　名古屋市西区西菊井町2・12　電話(052)571－6361
広島事務所　広島市鉄砲町5番の16号　電話(0822)21－0266
福岡事務所　福岡市奈良屋町1・18　電話(092) 28－4012

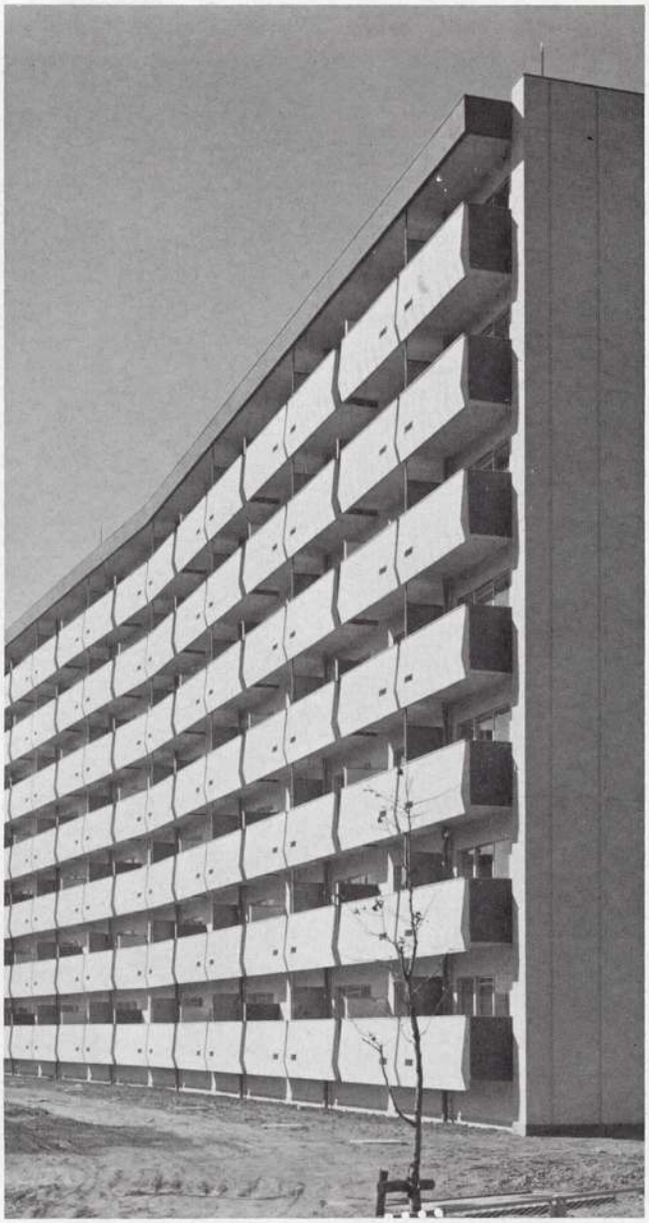
資料請求券
建築と社会

セラスキン

セラコート

セラカット

セラタイル





山本窯業化工株式会社

本社・工場／大阪府摂津市東別府1－3－6　☎(06) 381－9131－5
東京営業所／東京都千代田区麹町3－6（藤井第2ビル）　☎(03) 265－8888～9
名古屋営業所／名古屋市中区栄3－23－14（山市ビル）　☎(052)262－6774～5
大阪営業所／大阪市東区唐物町4丁目55（本町永和ビル）　☎(06) 251－6781代表
福岡営業所／福岡市博多駅前4－3－14（菅原ビル）　☎(092) 43－6940
広島営業所／広島市中広町2－20－9（みのるビル）　☎(0822)91－6200
仙台出張所／仙台市上杉2－4－46（森林会館ビル）　☎(0222)22－1259

◀講演会「建築技術者のために」—千日デパートビル火災に学ぶ—

共催　日本建築協会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部

さる5月13日に発生した千日デパートビルの火災は，多数の死傷者を出したことで，ビル管理・保安体系のありかたなど安全都市へ大きな警鐘を鳴らすことになりましたが，ビルの避難，防災計画など多くの問題点について建築技術者が直接これに学び，単に今後の教訓とするというより，さらに積極的にこの経験を生かし，再びこのような惨事を繰り返さないよう具体的な指針を得るため下記の講師の方々をお招きして講演会を企画いたしました。会員多数のご参加を期待します。

日　時　9月14日（木）14.00（開会）→17.00（閉会）
会　場　大阪科学技術センター・8階・大ホール
（大阪市西区靱1—118・電話 06-443-5321）
テーマ　「千日デパートビル火災に学ぶ」
講　師　大阪市消防局警防部防災設備課長　恩田一則氏
京都大学工学部教授・工学博士　堀内三郎氏
会　費　無料（但し参加証持参の方に限る）
定　員　380名
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および役職，所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上9月8日（金）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，参加証をお送りいたします。

◀大阪で施工中の超高層ビル見学会シリーズ（第5回）——第2回・大阪大林ビル新築工事の見学会——

共催　日本建築協会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部

日　時　10月4日（水）15.00（集合）→17.00（解散）
集合場所　大阪市東区京橋3丁目37（天神橋南詰）
工事場東側，大林組事務所入口・目標会旗
（連絡電話番号 941—6947～8 大林組本店ビル工事事務所）
定　員　80名（本会割当　30名）
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上9月21日(木)までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

工事概要
建　築　地　大阪市東区京橋3丁目37
建　築　主　株式会社　大林組
設計・施工　株式会社　大林組
敷地面積　4,995.36㎡
建築面積　1,367.82㎡
延床面積　50,292.64㎡
階　　数　地下3F・地上32F
高　　さ　地上GL＋120.00m・地下GL—13.80m
構　　造　地下部分　SRC造・地上部分　S造
高層部外壁　ショックベトンPC版パネルおよびアルミサッシ
見学時の状況　仕上工事中
工　　期　昭和45年12月→昭和48年3月
用　　途　29F～30F　レストラン・会議室
2F～28F　事務室
1F　玄関ホール
地下階　食堂・駐車場

◀京都ロイヤルホテル新築工事の見学会

共催　日本建築協会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部

当ホテルの建築場所は京阪三条駅に程近く，河原町三条の繁華街にあり，東郷青児画伯の大壁画で有名になった旧朝日会館の隣に建った地上10階の立派なホテルです。屋上から鴨川をへだてて眺める東山の景色は格別で，盆の16日にはあかあかと夜空に浮ぶ大文字の送り火をまのあたり観賞できる絶好の場所といえましょう。

日　時　10月7日（土）13.50（集合）→16.20（解散）
集合場所　京阪電車「三条駅」北口出口前・目標会旗・ただし集合の上は大林組ロイヤル・ビル工事事務所へ案内します。
〔参考〕自由行動（京阪電車運賃各自負担……往復大阪から 340円）
往　13.00 淀屋橋発特急→13.45 京都三条着
復　16.37 京都三条発特急→17.22 淀屋橋着
行　程　14.00→14.40 新築工事について説明
場所　京都市中京区寺町姉小路東入ル天性寺前 552
大林組ロイヤル・ビル工事事務所
（電話 075-211-7287～9）
14.50→16.20 竣工したホテルの見学・後，解散
定　員　50名（本会割当20名）
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上9月22日（金）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

建築概要
建　築　地　京都市中京区河原町三条上ル
建　築　主　インターナショナル・ジャパン・ロイヤルビルディング
設　　計　富家建築事務所・株式会社　大林組
施　　工　株式会社　大林組
敷地面積　4,936㎡
建築面積　3,049㎡
延床面積　34,680㎡
構　　造　地下2，3F…RC造・地下1F→塔屋3F…SRC造
階　　数　地下3F・地上10F・塔屋3F
最高部高　43.00m
軒　　高　31.00m
外　　装　小口タイル貼，一部トラバーチン
工　　期　昭和45年12月11日→昭和45年9月30日
客室数　405室

◀大阪で施工中の超高層ビル見学会シリーズ（第6回）
——第2回・大阪国際ビルディング新築工事の見学会——

共催　日本建築協会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部

日　　時　10月13日（金）15.00（集合）→17.00（解散）
集合場所　大阪市東区本町2丁目36番の1
　工事場西側，竹中工務店事務所・目標会旗
　（連絡電話番号・竹中工務店作業所 261—8423）
定　　員　60名（本会割当　25名）
申　　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上9月30日（土）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

工事概要
建　築　地　大阪市東区本町2丁目36番の1
建　築　主　ユニチカビルディング株式会社
設計・施工　株式会社　竹中工務店
敷地面積　6,023.61㎡
建築面積　5,094.72㎡
延床面積　65,029.29㎡
階　　数　地下3F・地上32F・塔屋1F
高　　さ　地上GL＋125.110m・地下GL—14.000m
構　　造　地下3F～地上2F，SRC造一部RC造
　地上3F以上　S造
高層部外壁　アルミカーテンウォール
見学時の状況　仕上工事中
工　　期　着工　昭和45年12月
　竣工予定　昭和48年1月
用　　途　3F～32F　事務室・レストラン
　地下3F～2F　銀行・ショウルーム・店舗・駐車場（186台収容）

副会長松村雄吉氏逝去

副会長松村雄吉氏は7月30日午後3時45分，心筋梗塞のため急逝せられました。まことに痛惜に堪えません。ここにご冥福をお祈り申し上げ謹んで会告いたします。

なお本葬は8月5日東本願寺難波別院（南御堂）において株式会社松村組の社葬として執り行われました。

昭和47年度茶室見学会（第1回）

◀慈光院の茶室見学の会

今秋の茶室見学は本会の名誉正会員で茶室の権威である岡田孝男先生にお願いして，そのご案内で久々に大和路に参り，第1回は10月に慈光院の茶室，第2回は11月に奈良の茶室を見学することにいたしました。

慈光院は寛文3年（1663年）茶道石州流の祖小泉藩主，片桐石見守貞昌がその父貞隆の菩提のために建立した庵寺で2帖台目と3帖の茶室があり，いづれも石州の好みとして重要文化財である。

日　　時　10月21日（土）13.30（集合）→17.00（解散）
集合場所　国鉄関西本線「大和小泉」駅，出口付近・目標会旗
　〔参考〕自由行動（運賃は各自負担・天王寺駅より片道 120円）
　往　12.50 国鉄天王寺発奈良行（関西本線）乗車→
　13.29 大和小泉駅着→徒歩 15分で慈光院山門前着。
　復　17.25 大和小泉発湊町行→18.03 天王寺着
見学場所　奈良県大和郡山市小泉町　慈光院
　（連絡電話　07435-2-3004）
案内及講師　帝塚山学院大学教授　工学博士　岡田　孝男氏
定　　員　30名
会　　費　300円（拝観料，抹茶代）当日受付でいただきます。
申　　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上，10月9日（月）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。なお，参加決定者で欠席された方は会費をいただきます。

◀建築クラブ(朝食会)の設立

このたび，日本建築協会の役員，委員，会員の有志が相寄り，戦前の建築クラブ復活を目指して，取敢えずホテルを利用しての朝食会を行なうことにいたしました。

すでに6，7，8月と下記のとおり集会をもち，盛会を極めております。会員は，現在150名です。

ご入会ご布望の方は，事務局までお問合せ下さい。

記

6月13日 8時～9時半　於新大阪ホテル　出席者　53名
　役員の選任（代表者）塚本　猛次氏（運営委員）小川　正氏，尾亀清四郎氏，小林　四郎氏，小西　岬氏，畠中　繁氏，平田作太郎氏，星　広文氏を夫々選出
7月11日 8時～9時半　於新大阪ホテル　出席者　77名
　講師　京都大学工学部教授　堀内　三郎氏
　お話「火災時の有毒ガスと煙」（千日デパートビル火災を中心として）
8月8日 8時～9時半　於新大阪ホテル　出席者　80名
　講師　関西国際空港ビル社長　里井達三良氏
　お話「関西新国際空港について」
9月予定　講師　東畑　謙三氏「中国古陶磁の話」
10月予定　講師　竹腰　健造氏「老後の心構について」

◀会員の受賞（建設大臣表彰）

このたび下記会員諸氏は建築界における多年の功績によって建設大臣より表彰を受けられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

浅海正雄氏	浅海電気㈱
井上秋太郎氏	井上建築設計事務所
諫早信夫氏	不動プレハブ㈱
岩田鏐太郎氏	愛知県建築士会
大木基弘氏	㈱大木工務店
沢井修氏	㈱大和商会
清水和弥氏	清水和弥設計事務所
白井周二氏	清水建設㈱
高須洪一郎氏	㈱朝日工業社
徳永正三氏	徳永田村建築事務所
伴潔氏	川鉄建材工業㈱
森俊一氏	三芳園
森口清氏	兵庫県住宅供給公社

◀和歌山，東海各支部の役員選任

和歌山，東海両支部の役員が下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

和歌山支部

支部長　薮本芳一氏（新任）

副支部長	栂野正春氏	常議員	北山俊氏
〃	山下宗一氏	〃	宇那木勁氏
監事	津田勝氏	〃	北山次男氏
〃	岡信雄氏	〃	小向正雄氏
幹事	井崎梁次氏	〃	瀬村禎二氏
〃	宇治田政雄氏	〃	辻本豊氏
〃	貴志満二氏	〃	中西勇二氏
〃	児島政信氏	〃	野上恵三郎氏
〃	雑賀孝夫氏	〃	九尾岩一氏
〃	北野誠造氏	〃	小倉清氏
〃	田淵誠也氏	〃	岩協数馬氏
〃	富松助六氏	顧問	栗林一鳳氏
〃	田村隆資氏	相談役	島村佐次郎氏
〃	広田雅男氏	〃	加山増一氏

東海支部

支部長　一円俊郎氏（留任）

副支部長	小野勉氏	常議員	小坂忠勝氏
〃	相山専二氏	〃	三国泰路氏
幹事	小川利光氏	〃	岡田順一氏
〃	中島一氏	〃	今倉邦彦氏
〃	真野純夫氏	〃	小島修三氏
〃	藤井定氏	〃	手塚二郎氏
〃	森口種文氏	相談役	石原巌氏
〃	服部小虎氏	〃	城戸武男氏
常議員	森鉦一氏		

◀泉北ニュータウン光明池ハウジング・プロジェクト共同住宅設計競技募集（抜粋）

（先月号既載の募集要項に若干の変更がありました。ゴシックは変更部分。）

日程

登録開始日	S47・9・1（金）
登録締切日	S47・9・**30**（**土**）
質疑受付開始日	S47・9・21（木）
質疑受付締切日	S47・10・**31**（**火**）
質疑応答書書発送日	S47・11・**末日頃**
応募設計図書受付開始日	S48・**3**・**1**（木）
応募設計図書受付締切日	S48・**3**・**15**（**木**）
入選発表	S48・5月中旬

目的

三会は，ハウジング・プロジェクト実施の趣旨にそい，大阪府，大阪府住宅供給公社，日本住宅公団大阪支所ならびに財団法人泉北開発センターの４事業主体が住宅建設を行なうにあたり，それぞれの実現の過程にとり入れるべき最善のアイデアをひろく設計競技によって募集するためにこの要項を発表する。

応募条件（抜粋）

●競技の形式

A，，B，C，D，４種の競技を公開設計競技により同時に行う。

●競技の内容

⑴次の４地区の中から応募者が選んだ地区の共同住宅の住棟配置および建物の基本構想

1）競技A　大阪府公営住宅地区（A地区）
2）競技B　大阪府住宅供給公社住宅地区（B地区）
3）競技C　日本住宅公団住宅地区（C地区）
4）競技D　泉北開発センター住宅地区（D地区）

⑵競技はA，B，C，D別に行う。

応募者は，この４種の競技の中から一つを自由に選択し応募する。またこのうちから２種以上の競技を自由に選んで応募することもできる。ただし応募は各競技ごと１案に限る。

●主催者および事務局

⑴主催者　社団法人　日本建築家協会
社団法人　日本建築学会
社団法人　日本建築士会連合会

⑵事務局　大阪市東区博労町２－41　中博ビル
「H・P共同住宅設計競技事務局」
郵便番号　541
電話番号　大阪（06）262－1860
郵便振替口座番号ならびに口座名称
大阪　302617
HP共同住宅設計競技事務局

●協力および後援

⑴協力　読売新聞社
⑵後援　社団法人　日本宅地開発協会
社団法人　日本住宅協会
社団法人　日本建築協会

●応募者

応募者は一級建築士であること。

●応募手続

⑴この競技の要項，資料，登録手続および質疑をめぐる応募希望者あるいは登録者と事務局との間の接触・応答は，すべて郵送によってのみ行う。

⑵要項などの交付を請求する際は，同時に１部につき500円を事務局の郵便振込口座への振込または現金書留郵便によって送金すること。

●審査

⑴審査会は，下記審査員で構成する
審査員長　市浦健
審査員（50音順）青樹英次・**足立孝**
五百蔵芳明・大倉三郎・徳永正三
鳥田家弘・西山卯三・宮脇和正

⑵審査会は，競技別に応募設計図書を審査し，その各々の中から入賞作品３点および佳作若干点を選び，入選作品とする。

●賞金

賞金の総額は，2,000万円とし，競技A～Dごとに各々500万円を，次の通り配分する。
入賞３点　各　150万円
佳作若干点　総額　50万円

●応募に関する質疑応答はすべて上記「**HP共同住宅設計競技事務局**」宛に郵送で行なって下さい。



故　松村　雄吉氏
昭和47年７月30日逝去
享年　満71才

株式会社 松村組社葬

松村雄吉氏の㈱松村組社葬が８月５日，大阪市東区の東本願寺難波別院で行なわれた。松村氏のプロフィールを紹介したテープが流れ，午後１時より葬儀が始まる。

故人の偉業をしのび１分間の黙祷を捧げた後，従四位に叙せられたことが報告される。つづいて鴻池藤一氏（全国建設業協会会長）竹中捷一氏（大阪建設業協会会長），塚本猛次氏（日本建築協会会長）らが弔辞を述べ，多くの業績に対し感謝の気持を示すとともに逝去を悼む。銭高輝之氏ら故人と親交の深かった業界人をはじめ関係者が続々とつめかけ，弔電は木村建設大臣，田村労働大臣，松下幸之助氏など1千6百通にものぼり徳の高さを物語っていた。

松村さんを惜しむ

銭高輝之

先輩松村雄吉さんの残された足跡は，語りつくせないほど大きいものであり，巨星墜つ，というのが実感であります。

松村組の主宰者としての50年にわたるご事歴は申すまでもないことでありますが，あるいはまたそれ以上に，業界のためにつくされたご事跡は，偉大そのものであったと思います。

お若いときから，すでに業界の世話方として活躍されていただけに，およそ業界に関することは，巨細にかかわらずご承知で，問題の提起がある都度，名舵取り役として，すばらしい綱さばきをされました。しかも，万人が納得のゆくものでありました。

現在でこそ，わが建設業界も脚光を浴びて，大きく産業界の明星となってはいますが，半世紀前のことを顧みますと隔世の感も深いのであります。

当時の業界人は，業界の地位向上というのが必至の願望であった時代でありました。

松村さんは,絶えず業界の先達として,これらの面にも取組んでこられました。

戦時中には，業界指導の立場にあって，国家要請に応える機敏な行動をとりつづけられました。

このころは，松村さんの面目躍如たる活舞台であったといえましょう。

さらに終戦直後の業界再編成期にあたっては，危く業界混乱の兆しがあった際，適切な判断力をもって，全国組織の業者団体の体容を築く先見性を発揮されたことも，今日なお語り草となっています。

また日本建築協会の理事，副会長として永年にわたり重要会務に尽瘁せられ，特に建築関係各部門の連繋，協力を必要とする問題等については多大のご功績を残されました。

松村さんの面影を偲んで，敬仰するばかりであります。

ひたすら松村さんのご冥福をお祈りいたします。

松　村　雄　吉
明治34年６月２日生
本籍地　　京都府福知山市内記44番地
現住所　　大阪府豊中市曽根東町２丁目１番36号

経　歴	
大正 9年 8月	株式会社松村組入社
大正10年 6月	株式会社松村組取締役に就任
昭和 6年 4月	株式会社松村組取締役社長に就任
昭和46年 1月	株式会社松村組取締役会長に就任

公　職　歴	
自昭和 6年 4月 至昭和16年 2月	日本土木建築請負業者連合会理事
自昭和10年 9月 至昭和16年 3月	大阪土木建築業組合副組長
自昭和11年 6月 至昭和17年 5月	土木建築扶助会評議員
昭和17年 6月	大阪土建労務研究会会長
自昭和17年 5月 至昭和23年 2月	土木建築厚生会理事
自昭和17年 9月 至昭和19年 4月	大阪土木建築工業組合理事長
自昭和18年 9月 至昭和23年 2月	土木建築国民健康保険組合理事
自昭和18年10月 至昭和20年 6月	近畿土木建築統制組合理事長
自昭和20年11月 至昭和22年 2月	日本建設工業統制組合大阪府支部長
自昭和22年 3月 至昭和23年 2月	日本建設工業会大阪府支部顧問
自昭和22年 2月 至昭和39年 6月	土木建築安全衛生協会理事
自昭和23年 2月 至昭和29年 2月	大阪建設業協会顧問
自昭和23年 4月 至昭和33年 3月	社団法人全国建設業協会理事
自昭和23年 4月 至昭和44年 3月	社団法人日本建築協会理事
昭和25年11月	大阪商工会議所議員
昭和28年10月	ジュネーブＩＬＯ第４回建築土木公共事業委員会使用者側代表
昭和29年 2月	大阪建設業協会理事
自昭和30年 5月 至昭和34年 5月	西日本建設業保証株式会社取締役
自昭和30年 5月 至昭和42年 4月	日本経営者団体連盟理事
自昭和31年 5月 至昭和46年 2月	社団法人経済団体連合会評議員
自昭和33年 4月 至昭和38年 5月	社団法人全国建設業協会顧問
自昭和34年 4月 至昭和46年 5月	財団法人建築業協会理事
自昭和34年 4月 至昭和46年 5月	社団法人大阪工業会常議員
自昭和38年 5月 至昭和47年 5月	社団法人全国建設業協会理事
昭和38年 5月	社団法人日本建築材料協会顧問
昭和38年11月	全国土木建築国民健康保険組合理事
昭和39年 1月	西日本建設業保証株式会社中央審査会委員
昭和39年10月	建設業退職金共済組合理事大阪府支部長
自昭和41年 2月 至昭和43年 2月	大阪建設業協会会長
自昭和41年 6月 至昭和43年 4月	大阪府建築審査会委員
自昭和42年 6月 至昭和43年 6月	大阪商工会議所建設業部会長
自昭和42年11月 至昭和44年 5月	社団法人日本建設業団体連合会監事
昭和42年11月	大阪府建設業雇用促進協会会長
昭和43年 3月	日本ＩＬＯ協会大阪府支部（現大阪ＩＬＯ協会）理事
自昭和44年 4月 至昭和47年 7月	社団法人日本建築協会副会長
自昭和44年 5月 至昭和46年 5月	社団法人日本建設業団体連合会理事
昭和45年 1月	大阪建設業協会史編集委員長として「大阪建設業協会60年史」刊行
昭和45年 9月	大阪建設業協会万博記録作成委員長として「21世紀への創造」刊行
昭和45年11月	関西経済連合会地域開発委員
昭和46年 5月	財団法人建築業協会顧問
昭和46年 6月	大阪建設労務研究会会長として「欧米建設業労働事情調査報告」作成
昭和47年 5月	社団法人全国建設業協会相談役

賞　罰	
昭和30年 7月	藍綬褒章を受く
昭和35年 7月	労働大臣より功労賞受く
昭和37年 7月	内閣総理大臣より表彰を受く
昭和45年 7月	建設大臣より表彰を受く
昭和46年11月	勲三等瑞宝章を受く
昭和47年 7月	従四位に叙する

いま業界で話題のまと

"DEMOS" をご存じですか？

—大形コンピュータの共同利用システム—

■電電公社のオンライン方式による科学技術計算サービス（DEMOS）が建築設計に威力を発揮しています

■応力解析（FRAP）・振動解析（DYNA）・構造計算（ECHO-A）の３大優秀ライブラリイがあなたの企業を飛躍させます。



お問い合せ，ご相談は

大阪市東区法円坂町６－27（〒540）
電電公社近畿電気通信局 データ通信部（営業）
ＴＥＬ（06）948－４７３０（着信無料）

※公社のデータ通信には，このほか販売，在庫管理サービス，電話計算サービスなどもあります。

人間尊重時代の
インテリアづくりに…

新光クロスのユニシリーズ

ユニテックス
ユニウォール
ユニロン

ハウジングの先端をゆく感覚と技術で業界をリードする新光クロス。その高級壁装材―総合見本帖ユニシリーズ。
'72年'73年のための新作を取りそろえていよいよ登場！
激動する'70年代を生きぬくための仕事の場、憩いの場をずばり、インテリアする業務用から家庭用まで、あらゆるフィーリングと目的にかなった素材と色柄を豊富にコレクトしています。

SHINKOS
WALL COVERING

新光クロス
株式会社

本社／〒550 大阪市西区北堀江御池通り3-18 ☎06(538)7321大代表
支店／〒103 東京都中央区日本橋人形町3―4 ☎03(661)0271～5
出張所／〒730 広島市外安芸町下温品 2 5 4 ☎0822(89) 1248～50

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

60

予備電源

建築基準法でいう予備電源とは、一般に非常用電源といわれるもので、電力会社の常用電源のしゃ断による停電に対して、自衛上にもつ非常用電源で、最小限度避難に対する照明、排煙などを行なうべく規制されたもので、蓄電池、内燃機関による発電装置などがこれに使用される。

建築基準法施行令で定める予備電源を必要とする条項および条文、ならびに条文の規定に基づき構造等の基準として定められている告示の要旨は、つぎのとおりである。

1．照明と表示

(イ) 第五章 避難施設等

第二節 廊下、避難階段および出入口
（避難階段および特別避難階段の構造）
第百二十三条第1項第三号
「階段室には、窓その他の採光上有効な開口部または予備電源を有する照明設備を設けること」(屋内に設ける避難階段についての規定)

同条 第3項第四号
「階段室には、附室に面する窓その他の採光上有効な開口部または予備電源を有する照明設備を設けること」（特別避難階段についての規定）

第四節 非常用の照明装置
（構造）
第百二十六条の五第三号
「予備電源を設けること」

建設省告示第千八百三十号
（昭和四十五年十二月二十八日）
非常用の照明装置の構造の基準について
第三 電源の第二号、第三号に次のように記されている。
「二 予備電源は、常用の電源が断たれた場合に自動的に切り替えられて接続され、かつ常用の電源が復旧した場合に自動的に切り替えられて復帰するものとしなければならない。」
「三、予備電源は、自動充電装置時限充電装置を有する蓄電池（開放型のものにあっては、予備電源室その他これに類する場所に定置されたもので、かつ、減液警報装置を有するものに限る。)で充電を行うことなく三十分間継続して非常用の照明装置を点灯させることができるものその他これに類するものによるものとし、その開閉器には非常用の照明装置用である旨を表示しなければならない。」

第五節 非常用の進入口
（構造）
第百二十六条の七第六号
「進入口又はその近くに外部から見やすい方法で赤色灯の標識を掲示し、及び非常用の進入口である旨を赤色で表示すること」

建設省告示第千八百三十一号
（昭和四十五年十二月二十八日）
非常用の進入口の構造の基準について
第一
「二、自動充電装置または時限充電装置を有する蓄電池（充電を行うことなく三十分間継続して点灯させることができる容量以上のものに限る。)その他これに類するものを用い、かつ、常用の電源が断たれた場合に自動的に切り替えられて接続される予備電源を設けること。」

第六節 敷地内の避難上及び消火上必要な通路等
（地下街）
第百二十八条の三、第1項第六号
「建設大臣の定める基準に適合する非常用の照明設備……を設けていること」

建設省告示第千八百三十五号
（昭和四十五年十二月二十八日）
第五
昭和44年建設省告示第1730号で地下街の各構えの接する地下道に設ける非常用の照明設備等の基準の改正
第一
「二、照明設備には、常用の電源が断たれた場合に自動的に切り替えられて接続される予備電源（自動充電装置または時限充電装置を有する蓄電池（充電を行うことなく三十分間継続して照明設備を作動させることのできる容量を有し、かつ、開放型の蓄電池にあっては、減液警報装置を有するものに限る。)、自家用発電装置その他これらに類するもの）を設けること。」

(ロ) 第五章の三 建築設備等

第二節 昇降機
（エレベータの安全装置）
第百二十九条の九 第1項第十二号ロ
「停電の場合においても、床面で一ルックス以上の照度を確保することができる照明装置」

（非常用の昇降機の設置および構造）
第百二十九条の十三の三、第3項第六号
「予備電源を有する照明装置を設げること」（乗降ロビーの構造についての規定）

2．排 煙

(イ) 第五章 避難施設等

第二節 廊下、避難階段及出入口
（避難階段及び特別避難階段の構造）
第百二十三条第3項第一号
「……窓若しくは排煙設備であって建設大臣の定める基準に適合するものを有する……」(特別避難階段の構造について)

建設省告示第千八百三十五号
（昭和四十五年十二月二十八日）
第四
昭和44年建設省告示第1728号で特別避難階段の附室に設ける排煙設備の基準の改正
「八、電源を必要とする排煙設備には、常用の電源が断たれた場合に自動的に切り替えられて接続される予備電源（自電充電装置または時限充電装置を有する蓄電池（充電を行うことなく三十分間継続して排煙設備を作動させることのできる容量を有し、かつ、開放型の蓄電池にあっては減液警報装置を有するものに限る。)、自家用発電装置その他これらに類するもの）を設けること。」

第三節 排煙設備
（構造）
第百二十六条の三、第1項第十号
「電源を必要とする排煙設備には、予備電源を設けること」

建設省告示第千八百二十九号
（昭和四十五年十二月二十八日）
排煙設備の構造の基準について、第四号に「電源を必要とする排煙設備の予備電源は、自動充電装置または時限充電装置を有する蓄電池（充電を行うことなく三十分間継続して排煙設備を作動させることができる容量以上で、かつ、開放型の蓄電池にあっては、減液警報装置を有するものに限る。)、自家用発電装置その他これらに類するもので、かつ、常用の電源が断たれた場合に自動的に切り替えられて接続されるものとすること。」

第六節 敷地内の避難上及び消火上必要な通路等
（地下街）
第百二十八条の三第1項第六号
「建設大臣の定める基準に適合する……排煙設備……を設けていること」

建設省告示第千八百三十五号
（昭和四十五年十二月二十八日）
昭和44年建設省告示第1730号で地下街の各構えの接する地下道に設ける非常用の照明設備等の基準の改正
第二
「九、電源を必要とする排煙設備には、第一、第二号の例により予備電源を設けること。」
※地下街非常用の照明設備の告示参照

(ロ) 第五章の三 建築設備等

第二節 昇降機
（非常用の昇降機の設置及構造）
第百二十九条の十三の三第3項第2号
「……窓若しくは排煙設備であって建設大臣の定める基準に適合するものを設けること」

建設省告示第千八百三十三号
（昭和四十五年十二月二十八日）
非常用エレベーターの乗降ロビーの排煙設備の構造の基準について
第二
「七、電源を必要とする排煙設備には、常用の電源が断たれた場合に、自動的に切り替えられて接続される予備電源を設けること」
「八、前号の予備電源は、自動充電装置または時限充電装置を有する蓄電池（充電を行うことなく三十分間継続して排煙設備を作動させることのできる容量を有し、かつ、開放型の蓄電池にあっては、減液警報装置を有するものに限る。)、自家用発電装置その他これらに類するものとすること。」

3．その他

第五章の三 建築設備等

第二節 昇降機
（非常用の昇降機の設置及び構造）
第百二十九条の十三の三、第10項
「非常用エレベーターには、予備電源を設けなければならない」

（大阪市建築局建築指導部審査課 清原省三）

ぶん　しつ　ひん　ぴん

文質彬彬



素朴さが装飾に勝れば
野暮になり
装飾が勝ってもまた嘘となる。
やっぱり中庸の松山が……。



家具一筋70年

松山

大阪堀江/心斎橋/東京



■本店／大阪堀江立花通り四ツ橋筋角
☎大阪（06)531－6451(代表)

読者の頁

「第32回日本文化をたずねて」に参加して

鈴木忠五郎

3月19日の催しで、京都の仁和寺の遼廊亭、飛濤亭、妙心寺の桂春院既白庵、黒谷西翁院の淀見の席の古い茶室を見学しての私の感想、その古建築の持つ偉大な魅力というものを書いてみたもの。

■まえがき

然かも重文または準重文の日本を代表する古い茶室だけの見学にまる一日をかけるという特種の見学会であった。だが茶室は江戸茶室のモデルとも、標準型とも見られる、3帖台目のプランを有するもので、平面図から見ると、4茶室とも全く同一の形式のもので、別に感激を受けるものではなかった。

だが見た瞬間私の目を惹きつけてしまったことは、古建築の魅力そのまゝであったというほかはまったくない。特に、最近プレファブの建築とか、完成資材の使用、ユニット材使用だけに憂き身をやつしておったからであろうか、まずこれは手作りの建物ということに最大の魅力を感じ、建物に全精神を吸いとられて、暫らく茫然としてしまった。

■手作りの魅力

手作りの魅力は、建築技能のもつその技能の優秀精緻たる技量の精華の魅力である。

すなわち、日本画や木彫刻、古陶器のもつ魅力でもある。戦前まで残っていた建築芸術論もうそではない証拠を明示された感じがあった。建築には、やはり建築技能が必須なものである。もしくは、この四つの茶室の建設に従事した大工さんの腕前、また、塗壁を受持った、左官屋さんの技能、技量に感心するとともに、現在でも果してできるという腕のある名工が居られるだろうか。など、うら寂しく感ぜられた次第である。

■材料費と工賃

現在は、建材と工賃、大体50%位づつ。

あの茶室を建てた当時を推察すると、使用素材、細い柱梁材、これはどこにでもある山の樹木であり、壁材は附近の土材、茅は畳床の古い藁材となると、どう考えても金額に挙げられる額にはならない。要は建設経費、昔は90%及至100%は手間賃、工費であった。となると技能者にも大責任があったので技能も生涯の研究修練の目的として向上努力する値うちがあったし、それを各自とも天職と自覚して建設にあたったから、現在まで見るわれわれの心をとらえて離さない程の魅力となって表現されていると感じとったものであろう。（中略）

■建築技能の粋の魅力

大工なれば、ありふれた安価な得易い素材だが、その素材の選別に最大の努力がはらわれている。そしてその取扱い方が、丁寧であり慎重を極めている。要は憎たらしい程その素材を生かして使用していることである。適切素材の蒐集努力の跡が、作品たる茶室の各部使用素材によく見られる。

また、技能の最高を出しつくして仕事をしていることは勿論、技能者の知恵、技能の知恵をつくしていることだ。だから見えない部所にも決して手を抜くとか、技能を下げて工事をするということがない。ここのところに現在人をひきつけるものがあったものと思う。

その結果は、当時の技能者は各自の作品たる茶室の建設に当り各自の技能の粋を出しつくし、快心の作と自己満足して仕上げ、快く眺めたであろうと思われる。それがための証拠に、狂い、故障がまったく見られない点である。その建築技能の最高と感じた点は、また機会を得て述べて見たいと思うので、今回ははぶかせていただくわけである。（後略）

堺市立工高生読後感4題

超高層ビル（石田繁之介著）

建築科3年　福本俊英

私は最初、霞が関ビルが竣功したとき、嫌悪感を抱いた。それは地震、火事、台風などの災害の十分な安全性も考慮されないまま、ただ法律が改正され、建築を許されたので、欧米諸国に負けん気を起し、一番乗りを目的に、あわてて作ったんではないかという疑いと、それになんにもないだだっ広い空間に針が立つように味気ない塔のような建物という先入観に似たものが私の脳裏に表われていたからだ。しかしこんな私の邪推は、この本により見事に追っぱらわれてしまった。

前例が全くない所からの出発、零から始まる難しさというのがよく解った。（中略）

金のある企業などは、こんな素晴しい建物をどんどん建てていく、超高層ビルと貧しい人達の住居、前者の冷暖房、空調設備、かゆい所に手が届く程の快適さに比べ、後者の建築基準法違反、このごろやっと冷房設備が広まるようになった建物、何故このような差が生まれたのだろう。日本人は働く所、金儲けの場所にウェイトを置いて金を使う、人に見せる所に金を多く使う傾向がこんな所にも表われているように思う。（後略）

建築入門

建築科2年　和佐一郎

（前略）安全性というところで出てきた建築の安全性、つまり外力（重力、地震力、風力、火など）から耐える力のことである。

火災に対する安全性には、木造はもちろん鉄骨造も案外弱いということだ。だから断熱材でカバーしなければならないということになる。しかし、それにも限度がある。本では、断熱効果は2時間位で、実際の火災時では、2時間も燃えていないとなっているが、この前の火事のニュースでは2時間経っても盛んに燃え続けていると聞いたことがある。あの場合だいじょうぶだったとかな一という疑問が残った。

又、現代の建築工法のところでは、まず超高層ビル工事で、今まで考えていたことを考え直さなければならない。それは、構造物をゆるく取り付けるということである。超高層ビルが地震に合うところのようにゆれて変化するためである。それで壁はもちろんガス管、水道管、空調ダクト、エレベーター等がユラユラゆれても壊れたり、はずれたりしないようにつくらなければならない。それでいろいろな工法がどんどん生まれているということである。（後略）

都市（羽仁五郎著）

建築科3年　西山　勝

（前略）封建主義の時代に発達した都市と、そこに住んでいた人々のことについて、こう書かれてある。「この時代の都市、すなわち、最も初期の都市は、居住の地ではなかった。それは、宗教上、軍事上の要地であり、貴族や王がそこに住んでいた。すなわち民衆は、市外でしか住めなかった。」ということだから現在の都市とは全然イメージが違う。

今の日本の都市は、民主主義の上に成り立っているからこそ市民がなくては都市も成立しえないはずである。けれど、今日では公害などによってぼくたち市民がひどく悩まされている。こんな状態では、ほんとうに市民の都だといえるのだろうか疑問に思う。市民から選ばれた代表者は、もっと住みよい都市を基いてほしいと思う。（中略）

結局、都市における、最も重要としなければならないものは何といってもぼくたち人間だと思う。だから人間がいなかったら都市も歴史もなかったはずである。（後略）

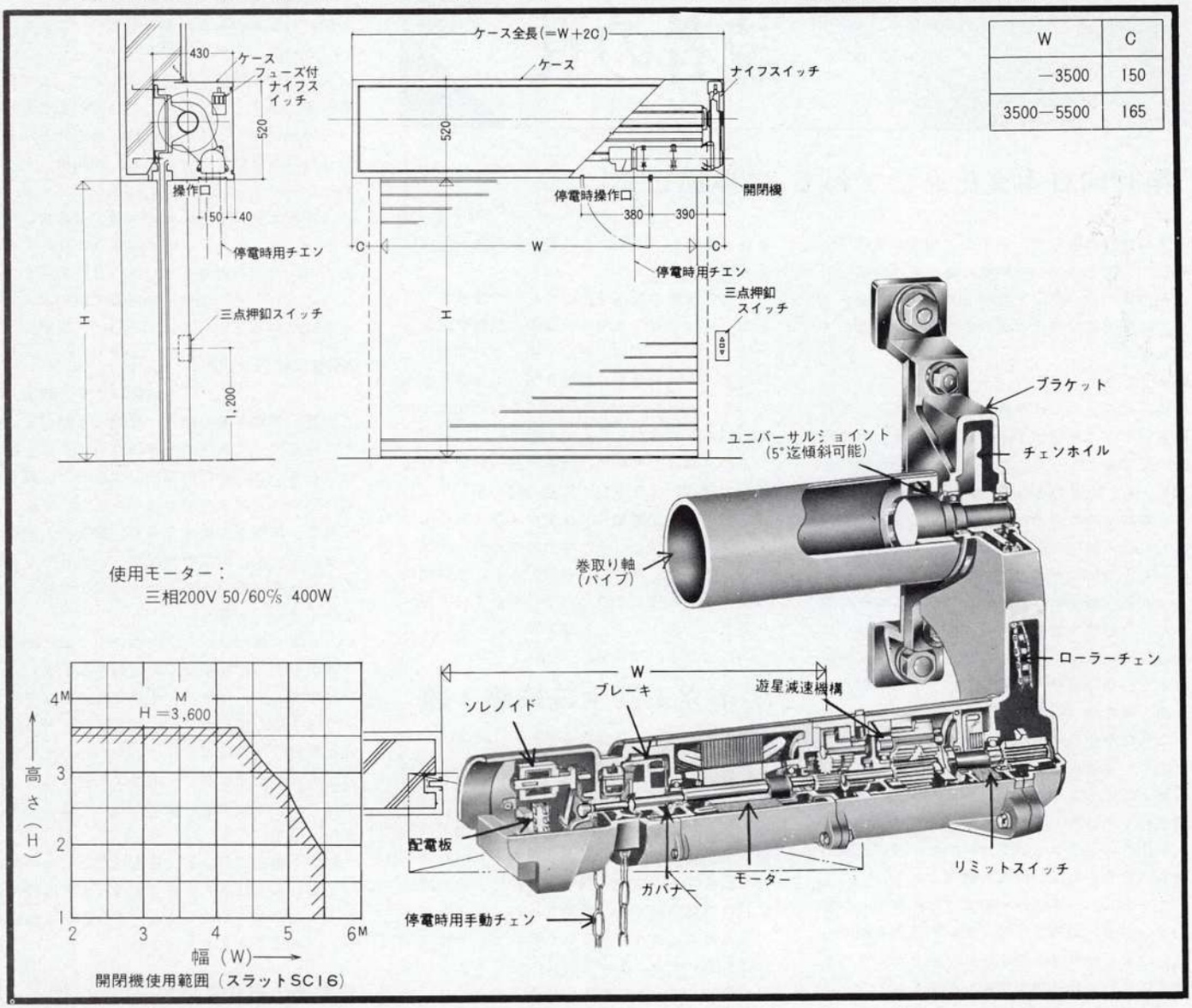
日本美の再発見（ブルーノタウト著）

建築科2年　中谷守良

最近、奈良県のある古墳の壁画が発見され、朝鮮半島の文化とのつながりがクローズアップされてきたことから、…中略…ぼくの考えていた日本の代表的な建築物—法隆寺あるいは東大寺—が土台からくずれさった。その理由は、建築物についても、韓国とのつながりを考えてみたのである。そうすると法隆寺も東大寺も、日本の代表どころか朝鮮半島の代表であると考えが変った。そのときに考えたのは「日本美の再発見」であった。（中略）

それは、日本の建築の美しさは、建築物だけでは、何の価値もなく、少しも美しくない。しかしこれに、たくみに庭園でもってもりあげる。日本の建築は自然無視では考えられない。昔の人は大陸から伝わった形式をうのみにせず、日本人心、美感を取り入れ、何年もの間に、日本独自の建築形式を作りだしたのであろう。現代はこの日本独自の形式を無視して、日本人の心も失なわれているように思う。西洋から新しい様式が伝わればそのまま手もつけず使用し、同形の建築物を大量生産する。これからは昔の人のように、伝わった技法に日本流をとり入れ、人の心を大事にして、日本独特の新しい建築物を生みだしていかなくてはならない。この第一として、自然を大切に！自然を大切に。

日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!



W	C
—3500	150
3500—5500	165

使用モーター：
三相200V 50/60% 400W

開閉機使用範囲（スラットSC16）

L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　ガバナー機構　手動機構　実用新案　巻取り軸との連結機構およびL型機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。

株式会社 日本シャッター製作所

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(代)(301)3656
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361)7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

大阪府建築士会創立20周年記念事業終る

本年創立20周年を迎えた大阪府建築士会（会長小河吉之助、会員数、個人 5,900名、建築士事務所657社）では、建築士事務所、青年の両部会をもあげて、3部に分ち記念事業を実施した。まづ第一部、5月16日の記念式典、祝賀会（於大阪閣）を幕あけに、第二部では「ガイドブック大阪の建築」（¥880）、「家を建てる人のための100のチェックポイント」（¥500）を記念出版し、7月10日から「住みよい環境展」並びに、槙文彦、戸谷英世、朷座正信、清水和弥、山中孔、清家清の各氏を講師に記念講演会を開催、7月15日をもってこれを終了し、当初計画の20周年記念事業のすべてをとどこおりなく終了した。士会ではこの記念周年を大きな節として、いよいよ成人期に入り、建築士法の精神に立ちかえって、建築界のみならず社会に向け力強く胎動をはじめている。



建設省建築研究所の秋季講演会

建設省建築研究所では、昭和47年度の秋季講演会を下記のとおり開かれる。

期日　昭和47年9月18日（月）～19日（火）

会場　安田生命ホール（東京新宿駅西口正面）

問合せ先：建設省建築研究所企画室

TEL（03）361－4151（代）

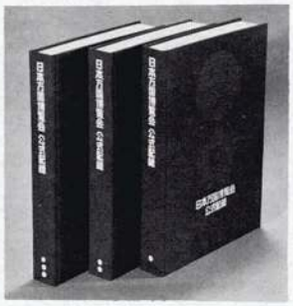
9月18日（月）　午前9時50分より

「地震現象探求へのアプローチ」（三東哲夫）・「地震時における構造物と地盤の相互作用」（松島　豊）・「建築物における地震観測とデータの解析」（大谷圭一）・「鉄骨コンクリート柱の崩壊防止に関する総合研究」（広沢雅也）

9月19日（火）　午前10時より

「防災と都市計画」（高原栄重）・「建築物の防火設計について」（三村由夫）・「建築構成部材の性能評価」（楡木　堯）・「住宅の取得能力に関する考察」（松本光平）・「木造枠組み壁構法」（今泉勝吉）

日本万国博覧会公式記録



総ページ数は約 1,800頁、全3巻からなり日本語版のほか、英語版、フランス語版も発行、参加国政府、出展参加団体、関係官公庁、図書館などに配布されるが、このうち日本語版を1,000部に限り増刷し、希望者に実費頒布される。ご希望の方は下記要領によりお申し込み下さい。

申込先

大阪府吹田市山田小川23－17　〒565

日本万国博覧会記念協会　☎ 068－77－3331(代)

頒布実費 8,500円（送料）1,500円

中之島をまもるために

新建大阪



新建大阪（新建築家技術者集団大阪支部）では「地下街問題」の研究につづいて、このほど「水と緑と伝統のまち――中之島」をパンフレットにまとめ発表した。

大阪市中央公会堂、大阪府立図書館、大阪市庁舎、日銀大阪支店などの明治大正期の歴史的建造物の保全計画をうったえたものであるが、それにもとどまらず、この「中之島」を歴史的景勝地区として位置づけると同時に、都心に広場を、緑と川を生かすための都市再開発の新たな発想の転換をせまっている点、緑道構想を通じて流れのある都市空間として生かしていく点など、いくつかのユニークな提案を行なっている。

「新建大阪」では、すでに1年有余にわたり、保存運動ポスターをつくったり、保存を訴えたビラをくばったり、あるいはクラシックカーを動員したりして市民へアピールしてきた。そのいくつかは一般新聞紙上でも大きく紹介されたが、これは建築技術者の環境をよくしようとする運動と社会的責任を果そうという意欲のあらわれであり、今後のなりゆきが注目される。

第9回よろず相談住宅展

7月6日より11日までの6日間、第9回よろず相談住宅展（日本建築協会主催、大阪府・大阪市・住宅金融公庫・日本住宅公団後援）が、例年通り阪神百貨店8階催場で行われた。

会場は6つのコーナーに分けられ、各専門家による設計、監理、増改築、税金、法律などの無料相談所コーナーのほか、分譲住宅コーナー、建材・設備コーナーで、37会社がそれぞれの商品や写真パネルなどを展示し、訪れる人々の“すまい”の相談に応じた。その他、実演コーナーで、襖・壁の貼替、壁の塗替の実演が行われたほか、資料、モデルルームの展示コーナーが設けられた。



本会の展示窓紹介

今回は「大阪の建築・今と昔」をテーマに、8月より2ヶ月間下記のように阪急梅田ターミナルを展示いたしております。今後も大阪のターミナルその他の地域の写真展示を行う予定です。（展示場所・京阪淀屋橋と北浜間の地下通路ショーケース）



建築物の高層化にマッチした

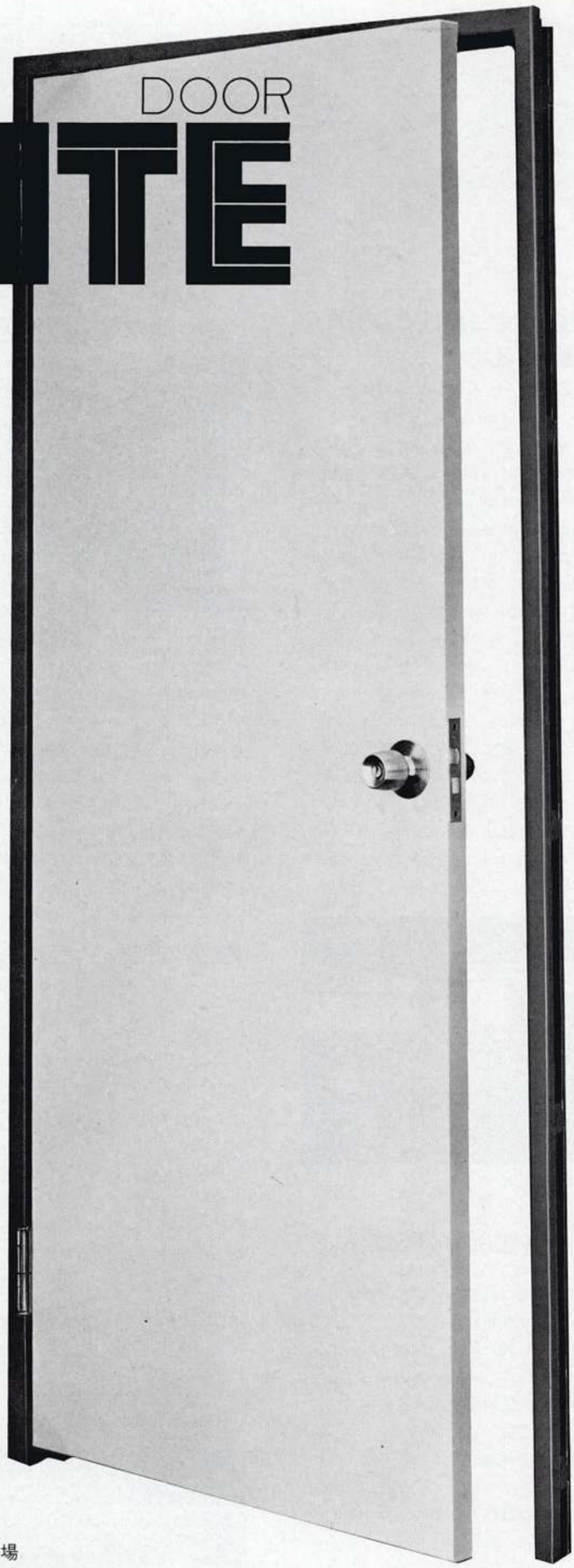
IWALITE DOOR

IWALITE DOOR 30

FIREPROOF
JIS A 1311－30min.

IWALITE DOOR 60

FIREPROOF
JIS A 1304－60min.



特　長

＊ 表面材にビニトップ鋼板を、枠材に溶融亜鉛メッキ鋼板を使用した美しい仕上りです。

＊ 芯材にロールコアを使用しているので、扉は軽量で堅牢です。

＊ 錆の心配は全くありません。

＊ 実用新案の工法により大量生産されるので、経済的価格です。

用　途

＊ 高層ビル、ホテル、病院、劇場、マンションの内部ドア、間仕切ドアに適します。

JIS表示許可工場

岩住サッシ株式会社

本社及尼崎工場　尼崎市守部字下河原15番地　（〒661）電話 大阪(429)代表6751番
研究所
アルミ工場　大阪市西淀川区千舟町2丁目10番21号　（〒555）電話 大阪(471)代表5123番
東京営業所　東京都港区芝大門1丁目10番1号　（〒105）電話 東京(433)2701番

データ通信と建築

SERIES: 9



DEMOSを利用して

西田 尚晃

建築の構造設計においてもますます計算の省力化、計算時間の短縮化が要求され、その手段としてコンピューターの利用が考えられ、その期待は大きい。ところが、中小規模の建築設計事務所では独自で、中型、もしくは、大型コンピューターを導入し、ソフトウェアを開発して設計の合理化および、高度化をめざすことは、種々（経済力・仕事量・ソフトウェアの開発能力など）の制約を受けて不可能に近いといえるであろう。そこで、コンピューター・サービスセンターの利用が考えられる。各センターのサービスは最近相当利用しやすくなっている。しかし、データーの受け渡しの往復時間、処理順番の待ち時間が気になるところである。

ところが、電々公社によるDEMŌSのサービスの開始によって、これらの諸問題が解消されたといえると思う。また、そればかりでなく、データー通信のこれからの可能性は色々な文献にもみられるように驚くべきものがあり、大いに期待できるものだと思う。

次にDEMŌSの利点と思うものを列挙すると。

1．設備が簡単であり機械の管理がいらない。これは、オン・ライン・システムであるので当然のことであるが、データー宅内装置を設置する場所があればよい。特別な空調設備はいらないが、騒音がかなり大きいので遮音効果の大きい壁で、間仕切る必要がある。

2．身近に大型コンピューターが利用できる。小さな宅内装置を相手に仕事をやるので、あたかも、ミニコンピューターを操作しているような気持になり、よけいに身近に感じる。

3．ロスが少ない。これは自社にコンピューターがない場合は、大きなメリットと思われる。自社にコンピューターがない場合は、サービス・センターを利用することになるが、データーの受け渡しを人間がやらなければならないので、電話と手紙のような差がでてくる。また料金は基本料金と利用時間に対する料金とに分けられていて、機械の遊びを考える必要はない。

4．ライブラリープログラムが充実している。ライブラリープログラムは種々発表されているが、建築関係で利用できるものは、FRAP·DYNA·ECHOシリーズ、などであり高度の内容を持っている。

5．ファイルの利用

ファイルの一部修正、保存が可能であるので、データーを最初から入力する必要はない。

上記の利点に対して、欠点もあり、その最も大きいものは入力、出力に要する時間が、ラインプリンターにくらべ相当多くかかることである。従ってデーター量が多くて計算時間が短いものはやっかいである。

1．設備

当事務所のコンピューター室なるものは、事務所の片隅にあり、床面積は8M²（作業にさしつかえのない最底面積）で、室内にはミニコンピューター一台、DEMŌS用端末機（200B型）一台、ロッカー、が設置してあります。端末機使用の際にモーターから出る底い騒音と、プリントの時に出るかん高い騒音が相当大きいので、室内部が吸音材、外面が普通ベニヤで、中に厚さ10CMばかりのガラス・ウールをはさみ込んで間仕切壁とし、吸音および、遮音をしております。これでも、遮音効果はかなりありほかの仕事にさしつかえるようなことはありません。

2．人員

所員は14名（技術者のみ）であり、事務所の性格から全員が構造技術者です。人員が少数のため、とくに部門分けは行っていない。従って、計画、計算書作成、図面作成を一人一人がこなすことになります。DEMOS講習会の受講者はこのうち5名であるが将来は所員全員が操作できるようになり、各人で処理できるようなシステムを取りたいと思っております。操作は非常に簡単であり、ライブラリ・プログラムを利用するだけならば、講習を受けておれば十分であり、特別な知識はいらないと思う。

3．FRAP、DYNAの利用

計算の内容によって、仕事を、大まかに次の二つに分類している。

（1）手計算および、ミニコンピューターで十分通用しているもの。

（2）（1）の方法では解折しにくいもの、または、できないもの。

事務所の仕事内容としては、（1）に該当する場合が多く、この場合の端末機利用については実験的段階である。というのは実際の仕事は、意匠とのかねあいがあり、構造計画および、計算に入ってからでも、変更が多くあり、計算機ならすべてが決ってからでないとできないものが手計算だとその間にも相当進める事ができるし、意匠と構造が相互関係にあるので、ある程度計算してみないとわからないこともあるからである。

構造計画にもどんどん計算機にのせればスピーデーになるのであるが、今の所、採算が合わない。これは設計のシステムを変えないとできないことだと思う。整形ラーメン・フレームの一般的なものは、今では、（1）に入れている。構造積算は、データー量が多くなるので、計算センターに設置してあるプログラムを利用している。

（2）の場合はほとんどDEMŌSのライブラリ・プログラム（FRAP・DYNA）を利用しており、今迄の処理内容としては、FRAPでは、異型平面フレーム、平面トラス、立体トラス、立体フレームの応力、変形計算、DYNAでは固有周期計算、地震応答解析などであり、大いに役立っている。

4．利用者ファイル

利用者ファイルに、格納できるのは、マスタ・ファイル、モニタ・ファイル、レポート・ファイル、スチフネス・ファイル、地震波ファイル、自社開発のプログラムのファイルなどが可能である。前からスチフネス・ファイル迄はいらなくなったものから順次消していける。

現在、自社の地震波ファイルは3種類、自社開発のプログラムは数種類格納してある。仕事量とファイルの保存期間により利用者ファイルのエリヤはだいたい一定量になる。

次にライブラリ・プログラムを別々に取り上げてみる。

I．ECHOシリーズ

ECHOシリーズは今年6月に大幅に拡張され利用できるものが多くある。列挙すると、鉄骨および鉄筋コンクリートの断面計算。曲げ終局強度の計算、各種断面性能の計算、各種荷重項の計算（以上ECHO－A1）

スラブ、小梁、地下壁、基礎、擁壁、の計算（以上ECHO－A2）、斜面の安定、地中応力、圧密沈下量の計算（以上ECHO－A3）平面解折幾可計算（ECHO－C1）、土量計算（ECHO－C2）、がありいづれも計算尺、ミコンピューターではできない場合、あるいは図表も使えない場合に利用している。ただこのシリーズの利用は会話形式になっていて親切であるが、利用回数がかさなると、入力がわずらわしくなる。

FRAP、DYNA

FRAP、DYNAとも、高度の内容のものであり、利用度も相当大きい。その利点は、プリチェックの機能があり、解析に入る前にデーター・エラーが発見できる。FRAP、DYNAはともに一括処理用に作られているが、プリチェックは、即時処理でもできるようになっている。入力書式はフリーフォマット形式でありインプットデーターが作成しやすい。また形状に対応した入力方法がとれるようになっていて、非常に便利である。

フリーフォマット形式は、ブランクのカラムが無視できるので、パンチになれていないものにとっては便利でカラムずれの心配がない。マスターファイルレポート・ファイルを格納しておくと、データーの一部修正、データーの保存、アウト・プット・データーの保存が可能である。

プログラムは汎用性に富み、容量も相当あるので実際上問題はない。FRAPの場合、対称条件が考慮されていればもっと便利であると思う。

データー通信への期待

海外のデーター通信はめざましく発展していると聞く、もし海外のように発展すれば建築関係におよぼす影響も大きく、構造設計のシステムも大きく変化するものと思う。今後の発展を大いに期待します。

（にしだ なおみつ 株式会社 平田建築構造研究所）

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



軽量

比重0.5

コンクリート¼の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

小堀クラスター　花屋敷
川西市南花屋敷4－41
設計　小堀住研株式会社
施工
使用個所　カベ・マジキリ

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス株式会社

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町2－6（平沼ビル）
電話　東京（256）代表3451
大阪支店　大阪市西区立売堀北通1－90（第三富士ビル）
電話　大阪（538）代表0521
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通3－2（大商ビル）
電話　名古屋（581）代表7421

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



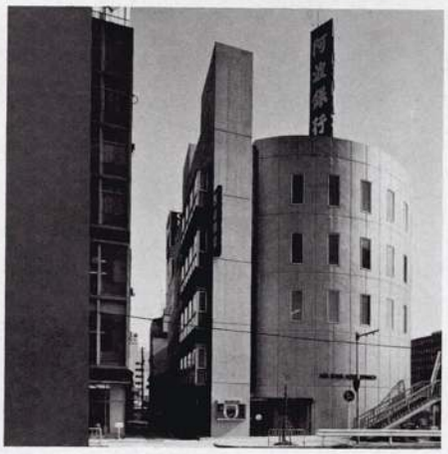
784. 長崎放送別館

設計：鹿島建設KK
施工：鹿島建設KK
(電気)三星電気(空調)九州新菱(給排水)須賀工業
a．長崎市上町1－35
b．968 m²
c．7,360 m²
d．(高層部)SRC＋S造、14F、B1、P2(低層部)RC造、4F
e．昭和45年5月～昭和47年3月



785. (株)熊谷組大阪支店

設計：KK熊谷組大阪支店
施工：KK熊谷組大阪支店
(電気)中国電気　(空調・給排水)須賀工業
a．大阪市都島区片町2丁目10番5号
b．633 m²
c．3,441 m²
d．RC造、6F、B1、P2
e．昭和46年6月～昭和47年3月



786. 阿波銀行神戸支店

設計：鹿島建設KK
施工：鹿島建設KK
(電気)太陽工藤工事(空調・給排水)三機工業
a．神戸市葺合区小野柄通6丁目
b．341.627 m²
c．1,454.876 m²
d．RC造、5F
e．昭和46年9月～昭和47年3月



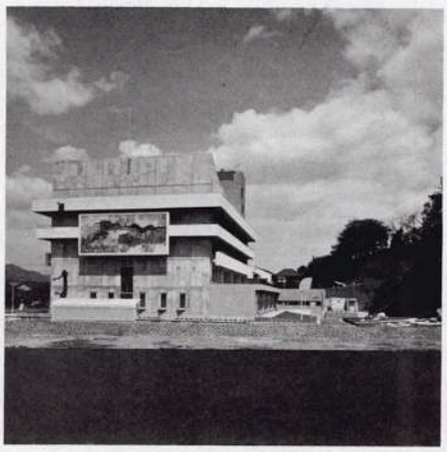
787. 宇治市農協会館

設計：KK翼建築設計事務所
施工：フジタ工業KK
(電気)近畿電気(空調・給排水)日本管工業
a．宇治市槇島町大町13
b．502.136 m²
c．1,545.512 m²
d．RC造、3F、P1
e．昭和46年11月～昭和47年4月



788. 京都銀行事務センター

設計：KK日建設計
施工：KK竹中工務店
(電気)近畿電気　(空調)高砂熱学　(衛生)須賀工業
a．京都府南区上鳥羽塔ノ本町
b．1,990.42 m²
c．11,620.43 m²
d．RC造、5F、B1
e．昭和45年6月～昭和47年2月



789. 福知山市民会館

設計：共同設計KK一級建築士事務所
施工：KK松村組
(電気)近畿電気　(給排水空調)東洋熱工業
a．福知山市字内記100番地
b．1,074.39 m²
c．3,294.04 m²
d．RC造一部S、4F一部5F、P2
e．昭和46年6月～昭和47年3月



790. 聖母学院幼稚園

設計：KK松村組設計部
施工：KK松村組
(電気)鶴岡電気　(給排水・衛生)須賀工業
a．京都市伏見区深草田谷町1
b．769.09 m²
c．1,476.58 m²
d．RC造、2F
e．昭和46年9月～昭和47年3月



791. 帝塚山学院幼稚園

設計：KK、ARI建築事務所
施工：鴻池・大鹿前田共同企業体
(電気)近畿電気　(給排水衛生)前田商会
a．大阪市住吉区帝塚山中3－30
b．262.2 m²
c．494.4 m²
d．RC造、2F、B1
e．昭和46年10月～昭和47年4月



792. 奈良女子大学理学部家政学部校舎

設計：文部省
施工：KK浅沼組
(電気)六起電気(水道給排水)斉藤省三商店
a．奈良市北魚屋町
b．3,128.81 m²
c．13,307 m²
d．A棟RC、2F　D棟RC、5F
C棟RC、4F　その他CB造
e．昭和46年2月～昭和47年3月



なめらかな肌ざわり、美しい7色のカラー

TOTO のホーローバスには、ピンク・ブルー・グリーン・イェロー・アイボリー・ベージュ・青磁の7色のカラーと白色があります。

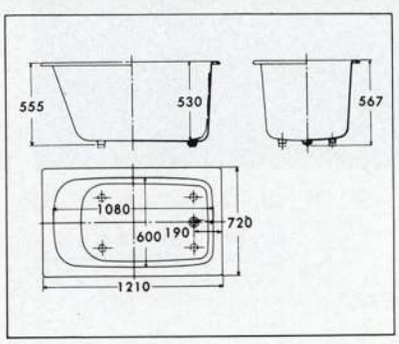
TOTO鋳鉄ホーローバス

FB 70 ¥48,000 (排水金具付)

和洋折中形エプロンなしバス

1,210×720×555
容量 250ℓ
専用フロフタ Y9152 #10(#20)
¥2,750

このほかにも、たくさんのホーローバスがあります。右記までご請求下さい。カタログを差し上げます。



TOTO

東陶機器株式会社

本社
〒802 北九州市小倉区篠崎町458
TEL (093)－93－5151
大阪営業所
〒530 大阪市北区曽根崎上2-31-6
(梅新第一生命ビル東館)
TEL (06)－346－1181



クラスメート

86

〔早稲田大学理工学部建築学科 昭和26年卒〕

前例左より

塩脇昭司（株式会社桧高組本店建築部長）
薬袋公明（株式会社日建設計取締役大阪事務所副所長）
落合享平（日生住宅株式会社第三事業部副部長）

後例左より

玉造　正（前田建設工業株式会社大阪支店建築部工事長）
井上　滉（株式会社大建設計理事・技師長）
岡村良三（戸田建設株式会社大阪支店建築設計部長）

昭和47年8月9日明治生命館花外楼にて

私達の学生時代は、戦争中から戦後の混乱のなかに過ぎていった。思えば取かえしのつかない暗い青春の日々を過ごしたことになる、しかし、その動乱のなかで学生であったことは半面幸運であったように思う。当時〈アプレ〉という言葉が流行していた。そしてわれわれの世代の代名詞として使われていた。いわゆる戦後派の世代のなかに私達はいたわけである。自由な学生という立場は価値の転換を自からのなかに築くことが容易に可能であった。真のアプレゲールは、冷静に価値の転換を考えることから出発すると考えて行動していた。食糧も少なく空腹ではあったが、若々しい歌声だけは絶えることがなかった。建築界も復興に向かい始めたときで情報も今日に較べると零に等しい時代であった。

あの頃から20年以上の歳月が凄いスピードで私達クラスメートの上を走り去っていった。不思議なことに、大阪には常に人が入れ替り6～7名が働いている。

卒業して22年目を迎え、今関西で元気でやっている者は6人……一人も型破りの者はいない。みな建築にぶらさがって生きている。すでに選挙権をもっている大きな息子のオヤヂになっている者、にくまれ盛りの小学校3年生が長男だと歎く者、その生活も、建築での分野も違う。また常日頃特別の付合いもない6人である。

このクラスメートが過日食事をともにして、記念写真を整然と並んで撮されたとき、くすぐったい気持になった。

この人生のなかでほんの数年同じ学舎にいたに過ぎない者達のこの集まりは、私に忘れかけていた人生の徳の数々をあらためて思い出させてくれた。この何ともくすぐったく、晴々とした気持になれる仲間達……これがクラスメートというものなのかも知れない。

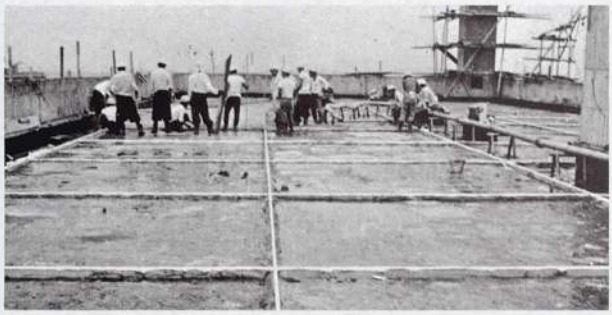
われわれにとって一人ひとりがかけがえのない大切な仲間だと感じたのは、集まった6人とも同じ想いであったに違いない。

（薬袋記）

防水層の保護と軽量、断熱に

東邦のパーライトコンクリート PC－D工法

（歩行用及び防水下地用）



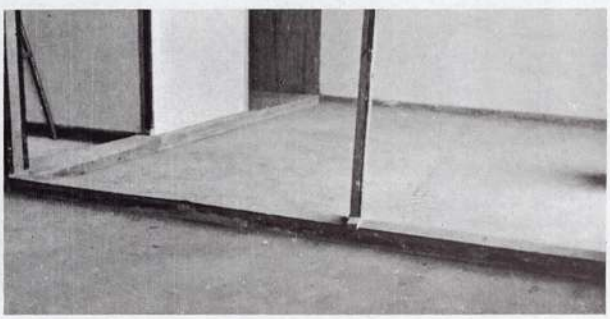
東邦パーライトコンクリートＰＣ－Ｄ工法採用の京都工芸繊維大学
（設計　教育施設研究所、施工　ＫＫ大林組）

作業が一工程省け工期の短縮と コストが安くなる合理化工法

- 防水層の押えに使用し仕上モルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法
- デッキプレートの軽量化や露出防水下地、または貼物下地にナラシモルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法

畳下地の省力化と塩ビ系タイル下地の防湿、防温、軽量化、断熱（結露防止）に

東邦のパーライトモルタル PM－C工法



東邦パーライトモルタルＰＭ－Ｃ（普通タタミ下地）採用
の住友電工西島社宅（設計施工　ＫＫ竹中工務店）

- タタミ下地の床組（大工仕事）が全く要らないので**工期短縮とコストが安くなる**
- 床組しないので建物の**ボリュームの節約ができる**
- 無機質 100％絶対耐火それに多孔性材料のため吸温、遮音に優れている
- **独立気泡**の東邦パーライトと**防水液を使用した完全防水パーライトモルタル**であるため、湿気を全く透さない
- **比重・断熱共木材並１：３**
  （比重0.85kg／ℓ、熱伝導率0.14kcal／mhc）

遂に出た…ベニヤ仮枠コンクリート下地の**かべ**、天井の一パツ重厚吹付仕上工法

建設省防火認定材料基材同等第0004号

ネオパールスキン®

化粧、吸音、防湿、断熱（結露防止）と多目的用に

- ベニヤ仮枠コンクリート下地（天井及びかべ）に直接吹付して剥離の心配がない
- **かべ面は金ゴテ押え**すれば聚洛壁タイプの表面強度のあるソフトでデラックスなムードである（ネオパールスキンの特徴）
- 一工程で仕上るので**工期の短縮とコストが安くなる**
- 下地はボード類、鉄板類、石綿板、モルタルなど何んでもよい
- 標準色20色と特別色もできる



ネオパールスキンをベニヤ仮枠コンクリート下地の天井（吹放し）壁（金ゴテ押え仕上）採用の西宮トラピスト修道院
（設計　村野森建築事務所、施工　ＫＫ竹中工務店）

東邦パーライト株式会社
大阪市東区森之宮西の町５９４　TEL 代表 06－941－9243
〈営業所〉　東京0484-21-2653　広島0822-44-6360　岡山0862-72-2069　高松0878-33-1802

建築の眼

□職業放棄

私の甥にK大卒でS商事勤務のエリート社員がいるが，30才に近いのにまだ独身で，はたをやきもきさせている。ところが，この頃縁談がもち上ったらしい。聞くところによると，最近発表になった高額所得者番付の何番目とかいう土地持ちの養子の口だそうである。彼は身内のひいきめを差引いても，容姿，頭脳，健康共十人並で，これまでにも，降る結婚話にさっぱり心を動かさなかった。それが，今度はアメリカで2年位自由にさせて貰うことを条件に，あとはどんな仕事であろうが，どんな女房であろうが，辛抱してもいいという。貧乏性が身に付いた私の女房なんかは，ひやかし半分に，けしかけるようなことをいったりする。—— ところが，今度私の事務所に同じようなことが起こった。普通高校卒ではあるが，10年間事務所に勤めて，建築士の資格もとり，一人前の技術者として，やっとどこへ出ても恥ずかしくない男になったO君が退職を申し出た。聞いてみると東北のソバ製造をしているところへ養子にいくというのだ。いろいろな個人的な事情はあるだろうが，甥にしろ，O君にしろ企業経営的発想の下では理解しようもないものがあることは確かだが，職業に対する情熱を持たし得なかったことに，自責の念しきりである。（N）

□ものの機能

ものの機能はその性能だけで評価されてはいけない。人間が直接使うものは特にそうである。まず，そのものの所在が明らかでないといけない。使おうとしても、どこにあるのやらわからぬようではものの役に立たぬ。ものの機能の第1条件はその在存顕示性である。第2は，そのものが，使いたい時に使える状態にあることである。いざという時に，使いものにならないようではなんにもならない。施錠された部屋の中におかれていたり，手のとどかぬところにおかれていたのでは話しにならぬ。これを機能発現性という。第3は，あらためていうまでもなく，そのものの性能がよいことである。これを機能効率性という。このように，ものの機能は，主体の側が「使おう」と意図した時，「使える」状態になり，「使えば」役に立つものでなければならない。われわれの都市空間の中には，第1，第2の条件が欠落し，第3だけの機能が，それこそ役立たずの機能がどれほど充満していることか。大災害の何割かはこのことによるのである。（O）

□ラッシュアワー

毎日の通勤時にあう顔ぶれは大体決っているようだ。同じ時刻に家を出て，車輛も大体同じ場所に位置を占める。そこは安全地帯であり，気持が安らぐのである。たまに発車間際に飛び乗っても，人混みをかき分けながら自分の位置にたどりつく。群衆の中の自分の位置をかたくなに守っている。年輩者も若い顔もみられるところをみると，通勤に関してはみんなまことに保守的なわけだ。

駅から地下道へと続くこの人波，外人が驚きよりも，恐しさを感ずるというが，GNPを押上げたエネルギーである。この群衆は割合訓練された集りではあるが，惰性で定った道を往き来しているだけで方向感覚は乏しいかも知れない。一たび事故で流れが止れば，蟻の列をはいたような混乱になるのは明らかである。地上のモーターリゼーションに押されて，急に発達した大都市の地下街も，その防災設備はまだまだ不十分のようだ。特に大阪駅周辺は，新旧が入り混り復雑な状態であり，防災設備も多くの費用がいりそうだ。いつも通いなれた道とはいえ，自分の通るところ以外は案外うといのではないだろうか。

雨降りの地下道，たしかに有難い時もあるが，時には少し早く家を出てあちこちの出口を通り地上に出てみてはどうだろう。「ほう，こんな所に出るのか」数少ない緑ではあるが，街路樹が雨に洗われて意外に新鮮に見えるだろう。（K）

□情報整理とそのサービス

現代は情報化時代といわれるように，われわれの周囲にも極めて種々雑多な情報が入り，またその整理活用についても各種のシステムが開発されている。しかしながら実際のわれわれの日常業務でこれらが有効適切に実施され十分なる活用が行なわれているのであろうか。

今ここで建築の設計と施工の分野だけを取上げてみても，新製品新技術の開発，発表，あるいは各種試験研究結果のデーターなど，新しい情報が次々に入りその有効活用は極めて有益なのであるが，実際にある製品，ある技術またはデーターを求めたい時にその情報を迅速かつ容易に求められるかというと必ずしもそうではない。僅かに頭のすみに残る記憶をもとに，あれこれ古いものを引っかき廻したり，あるいはまたいろいろ方々に問合せをしてやっとその情報を再び手に入れることが多い。

個人に入る情報の量は全体の量に比べ遙かに少ないものであると共にその判断整理能力にも限度がある。また一企業でもやはりおのずから限界があるのでなかろうか。一部建材関係の協会などではその所属会員の製品に対する問合せなどに応じサービスとしてその資料の提供などを実施している所もあるが，さらに広い範囲にわたって建築界全般の技術の進歩発展に役立つような情報センターのごときものができないものであろうか。（N）

能勢善樹
能勢建築構造研究所所長

大久保昌一
大阪大学工学部環境工学

楠部年彦
近畿地建営繕部監督室室長補佐

庭屋浩二
大林組本店建築部長

7月号より12月号まで上記4氏で担当



建築用仕上げ材料

マルチタイル
multitile

つやのある表面と深い立体が生みだすゴージャスなふんい気
高級意匠壁を演出するシームレスタイルです――――
＜牧場・高原・山脈・富士＞四種のデザインを用意しました。

関西ペイント

建築と社会

1972
Vol.53

9

都市住環境へのアプローチ

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 島村　昇

The Architectural Association of Japan

会　　告　講演会「建築技術者のために」―千日デパートビル火災に学ぶ。大阪で施工中の超高層ビル見学会シリーズ（第5回）―第2回・大阪大林ビル新築工事の見学会。京都ロイヤルホテル新築工事の見学会。大阪で施工中の超高層ビル見学会シリーズ（第6回）―第2回・大阪国際ビルディング新築工事の見学会。副会長松村雄吉氏逝去。昭和47年度茶室見学会（第1回）慈光院の茶室見学の会。建築クラブの設立。会員の受賞。和歌山・東海各支部の役員選任。泉北ニュータウン光明池ハウジング・プロジェクト共同住宅設計競技募集。……15

法令コーナー 60.　予備電源……清原　省三…19

読者の頁　「第32回日本文化をたずねて」に参加して（鈴木忠五郎）。堺市立工高生読後感4題―超高層ビル・建築入門・都市・日本美の再発見―…21

建築と社会ニュース　大阪府建築士会創立20周年記念事業終る。建設省建築研究所の秋季講演会。日本万国博覧会公式記録。中之島をまもるために。第9回よろず相談住宅展。本会の展示窓紹介。…23

データ通信と建築 9.　「DEMOSを利用して」……西田　尚晃…25

スケッチブック　最近竣工した新建築（№784～792）……27

クラスメート 86.　早稲田大学　昭和26年卒……29
（薬袋公明，井上滉，岡村良三，落合享平，玉造正，塩脇昭司）

建築の眼　職業放棄（能勢　善樹）　ものの機能（大久保昌一）……31
ラッシュアワー（楠部　年彦）　情報整理とそのサービス（庭屋　浩二）

海外写真　アラブの建築と生活2　エジプトの民家……写真と文・大蔵　勝…35

作品作風　新鹿児島空港ターミナルビル……設計：KK安井建築設計事務所　施工：大成建設KK…36
新熊本空港ターミナルビル……設計：KK安井建築設計事務所　施工：住友建設KK…39
新大分空港ターミナルビル……設計：KK梓建築事務所　施工：KK後藤組…41

特集 ＝ 都市住環境へのアプローチ

[1]住環境とは何か……川上　秀光…44

[2]住環境の評価と問題点……居住地整備研究会…47

1.箕面市桜ケ丘　2.豊中市長興寺南　3.富田林市御坊町　伊藤　靖久・河目浩吉・田中康夫
4.堺市南庄町　5.門真石原町　6.東住吉区田辺本町　中野　真・甫出裕紀・松原徹雄
7.東大阪市大蓮　8.守口市八雲西町　9.生野区巽大地町　三谷真喜子・吉羽逸郎

[3]望ましい住環境をつくるために

居住地水準と改善計画――スローガンから科学的政策へ……三村　浩史…53

「住民参加論」の諸相……広原　盛明…57

行財政制度のあり方……池上　惇…62

技術の頁 120.　施工部門　コンクリートポンプの打設計画……三浦　康夫…64

日本建築総合試験所だより1.　あいさつ・ニュース・試験装置紹介その1（1000t大型構造物圧縮曲げ試験機）……66

月報　日本建築協会月間の動き（昭和47年6月分・7月分）……67

都市の開発的保存 9.　WEST-BERLIN―戦災都市における保存問題……C.Grüneberg…&安　昌寿 71

編集人　松井昭光
印刷　昭和47年9月20日
発行　昭和47年9月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3―37
電 大阪 231―9648
振替口座 大阪 39975
印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪 361―2091
売価　1部 400円・送料共

昭和47年度編集委員会

編集委員長　渡辺　忠
彦谷　邦一
編集理事
北垣　智造　安田　丑作
白井　周二　日下　正基
今元　康彦　竹嶋　祥夫
山田　勝成　片方　信也
小西　岬　森本　信明
堀内　三郎　三輪　嘉男
谷口　尚武　加藤　満
岩下　久哉　岩口　勝
井上　滉　中山　富久
尾亀清四郎　永谷　二郎
谷　淳之介

大蔵　勝　加藤　照男
池田　恵次　鈴木　俊世
森埜　和枝　松尾　純
安永　耕二　松原　徹雄
矢野　邦昭　中谷麻差男
宮坂　一也　上野　登続
口羽　竜二
江藤　暢英
小林　満
佐伯　晃
村田　光平
竹山　清明
増淵　昌利

事業委員より
大橋　一雄
窪田　祐
田村　真二
三品　哲夫
佐々木純一

◀次号特集予告：都市防災
1.“都市防災”特集にあたって　2.都市災害論　3.千日デパートの災害をみて―千日デパート火災の調査報告　・アンケート（ビル側，市民側，行政側，建築家側）4.再開発と都市防災　5.大阪市防災計画　6.都市災害対策のあり方　7.都市災害問題シンポジウムのまとめ……日本建築協会教育委員会技術の頁 121　設備部門　超高層建築の避難・防火設備
◀11月号特集予告：第19回青年技術者

KENTIKU TO SYAKAI

Cover design: N. Simamura

(Architecture and Society)
A Journal of "The Architectural Association of Japan"
No. 9 Vol 53, September 1972

Editor: *Akimitu Matui*
Publisher: *Teisaburo Hukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-tyome, kitahama, Higasi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price* ¥ *400*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture ····· by *S.Kiyohara* ····· 19
Column for Readers ····· 21
News for Architecture and Society ····· 23
Data Communication and Architecture ····· by *N.Nisida* ····· 25
Column of New Buildings ····· 27
Class-mates ····· 29
Essayes("Kentiku no Me") ····· by *Y.Nose, S.Okubo, T.Kusube & K.Niwaya* ····· 31
Photograph: Architecture and Life in Arab 2. ····· by *M.Okura* ····· 35

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

New Kagoshima Airport Terminal Building ····· Design: *Yasui Architects' office* Construction: *Taisei Construction Co., LTD.* ····· 36
New Kumamoto Airport Terminal Building ····· Design: *Yasui Architects' office* Construction: *Sumitomo Construction Co., LTD.* ····· 39
New Oita Airport Terminal Building ····· Design: *Azusa Architectural office* Construction: *Goto Gumi Co., LTD.* ····· 41

SPECIAL FEATURES ON APPROACH TO URBAN ENVIRONMENT

[1] What is Living Environment? ····· *H.Kawakami* ····· 44
[2] Problems and Appraisal of Living Environment ····· *Y.Tanaka & Associates* ····· 47
[3] To Build up Desirable Living Environment
- Environment Level and Betterment Plan of Residential Area——Slogan to Scientific Policy ····· *H.Mimura* ····· 53
- Various Phase of "On Dwellers Participation" ····· *M.Hirohara* ····· 57
- What Administration and Financial System Should be ····· *J.Ikegami* ····· 62

COLUMN OF ENGINEERING

120. Placement Plan of Concrete Pump ····· *Y.Miura* ····· 64
Column of General Building Reserch Corporation 1. ····· 66
BULLETIN ····· 15, 67
CONSERVATION OF HISTORICAL ENVIRONMENT IN DEVELOPPING URBAN SPACE 9 — WEST-BERLIN ····· by *C.Grüneberg & M.Ann* ····· 71

日本建築協会図書案内

お申し込みは日本建築協会へ。〒 541 大阪市東区北浜3—37 TEL 06—231—9648・9649・9640・5936

既刊

■設備技術者のための 建築の知識
■B5判 9P活字一段横組400頁（折込図面50枚）
■定価 2,300円 会員特価 2,000円 送料 250円
■発刊 44年9月

■鉄骨のデザイン ■実例と考え方
■B5判 8P活字一段横組 400頁（設計図面 88枚）
■定価 2,500円 会員特価 2,200円 送料 250円
■発刊 45年2月

■建築の風力係数
執筆者 工学博士 石崎澄雄（京都大学教授）
■A5判 9P活字一段横組 100頁
■定価 350円 会員特価 300円 送料 85円
■発刊 42年10月

近刊

■建物および設備の保全
■編集：清水寿栄次

最新刊

■建築基礎工法と実例
■B5判（182×257mm）9ポイント活字一段横組 約550頁，本文 特別上質紙，表紙 特クロース上製，特製函入
■定価 4,000円 会員特価 3,600円 送料 250円
■発刊 昭和47年2月末
■編集 委員長 山肩邦男，幹事 宮川達郎・山口安男・多々見市蔵
・3月号に記載の定価を上記の通り訂正いたします。



海外写真

アラブの建築と生活 2

写真と文　大蔵勝



エジプトの民家

汽車はカイロから 500km程南のルクソールに向って、ナイルの土と、臭いと、砂漠の熱気を顔に吹き付け乍ら走る。遠くナイルの両側に紫色にけむる河岸段丘が、屏風のように屹立しており、赤茶けた砂漠と、ナイル河流域の緑との対比は、自然と人工の荒々しい闘争を思わせる。悠久の流れナイルは、エジプト人口3000万の生命である。幾多の文化を育くみ、又破壊を繰り返えしたナイル。ナイルの定期的氾濫は、天文、地理学等その他多くの学問を生み文化の体系化のなされる大きな要因となった。エジプトの国土の95%強は砂漠であり、残り５%弱がこの国唯一の河であるナイルの流域の沃土であり、エジプトの歴史は、ナイルの暴威との闘いであると共に、ナイルに全面的に依存した歴史であった。
ナイルを離れてのエジプト人の生活はあり得ない。

エジプト人がナイルの土から生まれ、ナイルの水を飲み、ナイルの水で作物を育て、最後はナイルの土に帰るように、建築もまた、ナイルの土を固めて日乾レンガを造り、壁に積み、屋根は椰子の木と葉で葺き、ナイルの土で屋根を築造するように全てがナイルである。雨が降れば、土は溶けてナイルの土と同化し、河が氾濫すれば、全てがナイルに帰する。このように全てがナイル河と一体化したものである。多くの民家は炎熱を避ける為に、椰子の木の繁みの中に建てられており、ナイル河を渡って来る風が吹き抜ける木隠の空間は、子供の遊び場として、家族憩いの場として、東方に向って祈りをささげる祈りの場として、物干し場として、その他種々のコミニケーションの場としての開放された自由空間を形成している。
我々文明国が失なった素朴な、人間的な生活空間が、ナイルにあった。



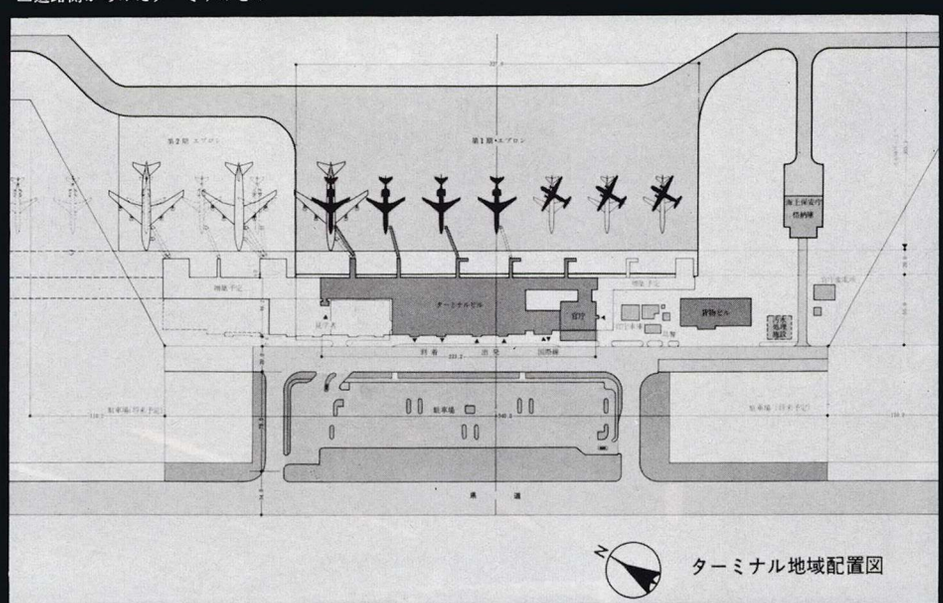
新鹿児島空港
ターミナルビル

設計監理　ＫＫ安井建築設計事務所
施　　工　大成建設ＫＫ（建築工事）
　　大阪電気暖房ＫＫ（給排水設備）
　　ＫＫ建材社（冷暖房設備）
　　九州電気工事ＫＫ（電気設備）

▽エプロン側全景



△道路側からみたターミナルビル



ターミナル地域配置図

新空港は霧島連峰のふもと海抜270mの高台(十三塚原)に位置し、南側には雄大な桜島を展望する景勝の地である。

ターミナルビルの外部デザインは、この恵まれた自然環境に調和したものであると同時に、南九州の玄関口として、航空新時代にふさわしい近代的で明快なイメージを与えるものでなければならない。また、ターミナルビルは将来の増設を前提に計画されるものであり、それに対応した技術的な配慮はもちろん、建物の外観についても連続性・発展性をもったものにする必要がある。

ここでは、鹿児島の風土が伝統的にもちつゞけてきた「力強さ」と「進取の気性」を建築に表現するとともに、「太陽とみどりのくに」にふさわしい健康的で明るいイメージを求めることがわれわれの目標であった。

空港の建設主体である地元鹿児島県は、空港の表玄関に当るターミナルビル前面駐車場と新設県道周辺に南国情緒豊かな熱帯樹を中心として常緑樹を十分に配置し、「みどりの空港」実現のために修景にも並々ならぬ努力をみせている。最新の空港施設と国際水準のターミナル機能を備えた新空港は、本年4月の開港を契機に、沖縄はもとより全国主要都市並びに東南アジア諸地域との結びつきを一層強め、南九州最大の交通拠点として地域の発展を一段と促進するものと期待されている。(設計担当　竹本丈太朗)

空港概要

空港位置	鹿児島県姶良郡(アイラグン)溝辺町麓(ミゾベチョウフモト)
都心からの距離	約34km
敷地面積	143ha
滑走路	2,500m×45m
駐機数	7バース(第1期)
計画旅客数	300万人／年(第1期)
実績旅客数	150万人／年(46年)
駐車場	450台収容(第1期)
供用開始	昭和47年4月

ターミナルビル概要

構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階地上4階建一部9階(管制塔)
最高部高	GL+34.2m
延床面積	20,152.02m²
工期	昭和46年1月～昭和47年2月
外装	RC壁無機質吹付タイル仕上 開口部、アルミサッシ熱線吸収ガラス(ブルー)嵌込、管制塔外周サッシ、ステンレス製

新鹿児島空港ターミナルビル



△管制塔内部



△ＩＦＲ(計器飛行管制)室



△２階出発ロビー



▽１階チケットロビー



▽１階バゲージクレーム

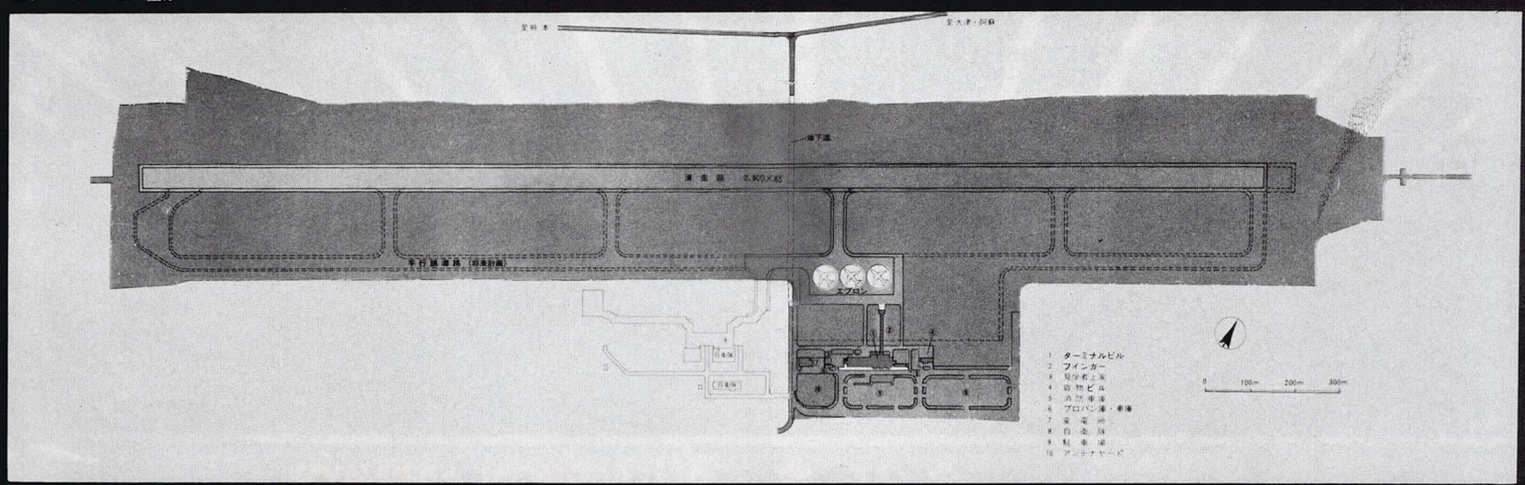
新鹿児島空港ターミナルビル

新熊本空港ターミナルビル

設計監理　ＫＫ安井建築設計事務所
施　　工　住友建設ＫＫ（建築工事）
　　三機工業ＫＫ（給排水及冷暖房設備）
　　大阪電気暖房ＫＫ（電気設備）



△ターミナルビル全景



空港概要

空港位置	熊本県上益城郡益城町
都心からの距離	約19km
敷地面積	130ha
滑走路	2,500ｍ×45ｍ
駐機数	6バース（47年3月現在）
計画旅客数	100万人／年（第1期）
実績旅客数	50万人／年（46年）
駐車場	366台（47年3月現在）
供用開始	昭和46年4月

ターミナルビル概要

構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上3階一部7階（管制塔）
最高部高	ＧＬ＋24.6ｍ
延床面積	7,063.25m²
工期	昭和45年6月～昭和46年2月
外装	カーテンウォール：スチールサッシ 熱線吸収ガラス（グレー）嵌込 柱型、パラペット：モルタルリシン 吹付　妻壁：ＡＬＣ版アクリル樹脂 ペイント吹付

ローカル空港は、宿命的に2つの顔を持つ。つまり、航空路で文字通りフィジカルに直結される中央（東京、大阪）と地方（熊本）の結接点に生まれる外向きの顔と内向きの顔。一方、立地条件として、広大で男性的な自然が目の前にあり、他方、地元県民の新空港建設に対する熱い願望が背景にある。

空港の計画は、このような状況又は条件を、複雑な外因、内因が重なり合う中で、いかに表現するかにあるといえる。

新熊本空港ターミナルビルの設計にあたって、もっとも力をそゝいだのは、まさにその点であった。　（設計担当　西尾信広）



△2階出発ロビー

▽1階チケットロビー



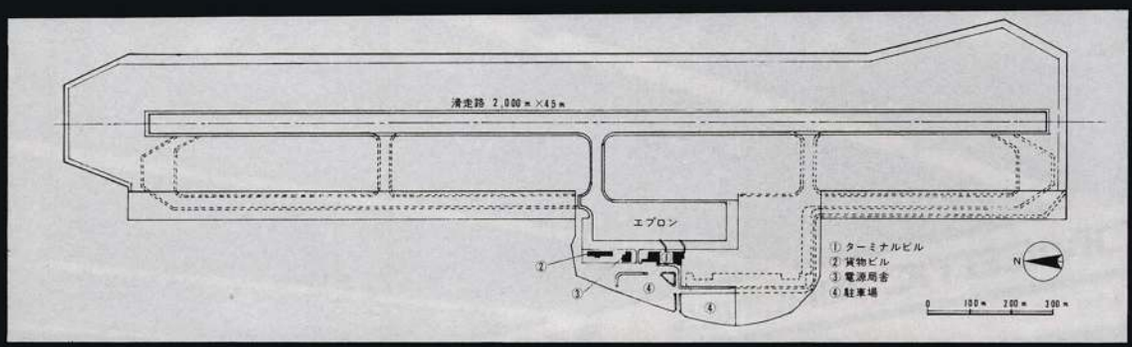
新熊本空港ターミナルビル

新大分空港ターミナルビル

設計監理　ＫＫ梓建築事務所
施　　工　ＫＫ後藤組（建築工事）
　　日本電設工業ＫＫ（電気設備）
　　ＫＫ三信工業（冷暖房・衛生設備）



△ターミナル全景



空港概要

所　在　地　大分県国東郡武蔵町
位　　置　大分市内から約50km
敷地面積　105ha
滑　走　路　2,000m×45m
エプロン　225m×105m
スポット数　B－727級　4スポット
駐　車　場　219台
計画旅客数　1,157,000人／年（昭和50年）
供用開始　昭和46年10月

ターミナルビル概要

ターミナル型式　フロンタルシステム、ワン・アンド・ア・ハーフレベル型式
規　　模　民　間　2F1部3F　3,973m²
　　航空局　2F1部5F　1,321m²
　　合　計　5,294m²
構　　造　RC造、基礎　場所打コンクリート杭（ピア）
工　　期　昭和45年12月～昭和46年9月

建築がきわめて多様化してきているのにもかかわらず、ほとんどの建築は、機能や量的な点については、ある一定の「限界」のある仮説、ないし予測によって設計される場合が多く、仮に設計者が概念的に機能のフレキシビリティーや、量的なエキスパンシビリティーを標榜したとしても、それは設計者の抽象的な独言に過ぎないものが多いのではなかろうか。またその建築がおかれる環境による、建築表現上の特質などを無理に強調したがる人もいる。

空港建築においても地方空港の場合、空港建設の施主的な立場にある地方公共団体側からその地方の「空路」の表玄関として、地方的な特質を建築デザイン上で表現するように要求されることが多い。今日のような情報化社会における建築表現上の「地方性」とは何か？　これは別に論じられる問題ではあろうが、空港ターミナルビルが建設される環境、いわゆるAirport Environmentとは、たんに平面的なAirport Boundaryの中に限られたものではなくて、航空管制上の「空域」をも包含しており、この環境が空港建築に与える諸条件は、航空管制システムのカテゴリーの差はあるにしても、幹線主要空港と地方空港の差異は全くないのであって勿論世界共通のものでもある。また空港ターミナルビルの機能は、基本的には旅客やその手荷物ハンドリングのトータル・システムの中に位置づけられ、しかもその規模やシステムを決定する基礎需要は、航空機自体の条件などから著しく変化する性格のものなのである。新大分空港ターミナルビルの設計においてもわれわれは、そのデザイン発想に、「大分地方」とか「九州地方」といったや、感傷的な意識以前に、前述の如き、大型ジェット機導入を前提としたAirport Environmentや空港ターミナルビルの将来のトータルシステムに対応すべきコンセプト・スタディーに最重点がおかれた。したがって、その建築表現はむしろ「地方性」には関係のない特質をもつ結果となるのは当然のこと、思われる。今や、ヨーロッパのフランクフルト空港の新ターミナルビルも、ニューヨークＪＦＫ空港のいくつかの新しいターミナルビルにも、その建築表現にナショナリティーや地域的特質は全く見出すことはできないと思われる。（吉田吉彦）



△出発ロビー



▽チケットロビー

新大分空港ターミナルビル

特集・都市住環境へのアプローチ

1 住環境とは何か／川上秀光

2 住環境の評価と問題点／居住地整備研究会

3 望ましい住環境をつくるために

- 居住地水準と改善計画―スローガンから科学的政策へ／三村浩史
- 「住民参加論」の諸相／広原盛明
- 行財政制度のあり方／池上惇



住環境とは何か

川上秀光

1. 関一の批判と提案

居住環境が問題とされることは都市化が急激に進みつつあるなかで，地域開発や都市計画が果してきた役割に疑問が深刻にいだかれて，それらの目標，姿勢，内容が問い直されつつ，欠落している「何か」が求められることにほかならない。

歴史は繰返すのである。明治末から大正時代にかけての，いわゆる第1期都市化時代に東京市区改正条例の準用の検討をへて旧都市計画法が制定された。この法律が制定されて約10年を経過した頃に関一が「都市計画論」はじめ幾多の論説においてのべている。

「現在の都市計画の理想は街路本位の美観主義，集権主義のパリ流から住宅本位の実用主義，分散主義の英国流に移り行ったことである。」

「我国に於ては従来市区改正とか都市計画と言へば街路の新設拡築，軌道の敷設，運河の開さく等を指すものと解せられ，仏国流の旧式の思想に累せられて居った嫌がある。従って用途地域の規定があり，建築物法が備って居ても余りに重きを置かれない有様である。都市計画と都市構築（築造）とは別物である。此両者を混同する為に都市計画を公の施設とのみ解する誤謬を惹起し易い。」

「元来『都市は畢竟街路，依て連絡せられた建築物の集団』と見て差支ない。市民の活動し住居すべき建築物が主であって，之を連絡する道路は従である。」

「……故に都市計画は各部分に綜合的の計画を立て其用途に応じた計画を定めて将来に備ふべきであって，街路や広場，公園と一つ宛決定すべきものではない。……」

引用がやや長くなって恐縮であるが，要するに関一は，「道路，河川ハ本ナリ，水道，家屋下水ハ末ナリ，故ニ先ツ其根本タル道路，橋梁，河川ノ設計ヲ定ムル時ハ，他ハ自然容易ニ定ムルコト得ヘキ者トス」（市区改正之義ニ付上申，意見書，東京府知事，芳川顕正　明治17年）という，市区改正以来のわが国都市計画の伝統的イデオロギーとそれにもとづく行政体系を批判し，私有空間，施設も含めた地区の総合計画の必要性を主張したのであった。

彼が，このような主張をした背景には第1期都市化時代のとくに大都市における郊外地の伸展状況があった。

2. 都市計画と居住環境

冒頭にもどる。地域開発と都市計画に疑問をいだく立場と欠落している「何か」を求めようとする姿勢によって，その居住環境にかかわる「何か」は，異なってくるのは当然である。すなわち，資本主義の論理による民間資本の都市整備策，現制度，手法の部分的な強化・補充であったり，あるべき市街地，居住地のイメージ・施設・空間水準だったり，あるいは地域社会の歪を漸進的に改善したり予防する手法・規制策であったりする。したがって「居住環境とは何か」，「これを論じ，計画し，その保全を制度しようとする場合に具体的にとりあげる対象群はどのようなものか」という問いに対して明快に答えることは不可能に近い。

しかし都市計画の立場からいささか接近を試みる。

国土から市町村に至る行政体が国土計画から，いわゆる近隣単位とよばれる地区計画にわたる各レベルの地域政策，都市計画を自から策定するかあるいは重要な責任をもっている。より広い地域空間を対象とする方が上位計画とよばれ都市間幹線交通網，港湾，水などのインフラストラクチャーを組みたてる「物的論理」と国⟶都道府県⟶市町村という行政権力の構造に依拠して下位計画とよばれる一群の計画の内容，事業化とその策定主体に種々の制約を課してきたのである。

このような計画行政の体系は全国総合開発計画においてほぼ確立し以後10年を経過した。したがって上位計画が下位計画に対して果してきた役割と効果を評価しうる実績，経過はようやくととのった。国土計画から都市計画に至る計画行政はいずれも，その成果，役割の最終的な評価は，それぞれを対象とする地域社会の末端である—あるいは最小構成単位といった方がよいかも知れない—各地区の環境がどのような状態になったかということによって直接的に問われる。いいかえれば上位計画の評価はそれが提案した広域土地利用計画やインフラストラクチャーのシステムが，対象とした地域社会の末端である地区環境の保全，上昇あるいは悪化の条件として，いかに機能したかによって問われるべきであろう。このことによって上位計画と下位計画の関係も具体的に再考されよう。

このように考えてくると，居住環境とは何かという問いに対してやや濃縮したイメージをもって答えることができる。すなわち，

① 日常生活環境単位ともよんでよい，比較的狭い地域社会を対象とする。

② 市街地面積の数10%以上をしめる住宅地（いわゆる混合地域を含む）の居住施設，空間の質と住民の生活の関係をとりあげる。

このように考えると居住環境として追究するべき課題の領域は，関一が40年前に都市計画法の適用過程において指摘した問題と批判のそれと一致しているのを見出すのである。

このような観点から，現行の都市計画が制度として保障するべき居住環境条件，いわば都市計画の射程距離とその限界はどの範囲か，について若干の考察を試みる。検討不十分のため列挙するに留まる。

① 災害，環境悪化の危険度や高い箇所の宅地化防止。

これは低湿地，がけくずれ危険区域等を市街化区域に入れないことで防止しえたはずである。

② 公害被害発生の危険度が高い箇所の住宅建設防止。

住宅がはりつきそうな幹線道路沿道や，鉄道沿線，臨港地区の隣接後背地の新開発地に準工業地域などを指定しない。これによって自動車公害はかなりさけられるはずである。

③ 古典的な工場公害の防止。

騒音，振動，臭気など影響範囲の狭い，いわば古典的工場公害に対しては第2種特別工業地区の指定で防御は可能であるが，大気汚染，水質汚染など広域公害であり，しかも光化学スモッグのようにエネルギー消費の過集中に起因すると考えられる環境悪化に対して第1種特別工業地区の指定もほとんど意味をなさない。

④ 下水道の整備。

都市計画本来の事業であるが，従来きわめておくれていたこと，今後は地形的に事業化が困難で高いコストを要する範囲まで市街化区域をひろげてしまったことがあって，都市計画として十分な責任がとれる見込みはない。

⑤ 都市計画公園の確保。

下水と全く同じ事情にあったが下水と異なり，一度潰廃した自然や文化財の復旧は困難である。河岸緑地の保存，市街地のどこからでも緑が望めるよう市街地周辺斜面，スカイラインの保存は公共団体が用地を取得するのがもっとも確実な方法であり，高密度の市街地環境を守る基本的前提であるが，これに対して十分な責任をとれる体制にない。

⑥ 交通幹線の沿道地区の環境について。
道路，鉄道ともに交通公害，災害の被害が大きくなっている。これに対しては地域制の改正に際して用途，形態の規制を含む交通幹線沿道地域をとくにバイパスなど高規格，広幅員の道路について設けるべきであった。一方，このような幹線は道路敷，線路敷を含めた幅100～200Mの沿道，沿線の断面構成について高密度時代にふさわしい工夫をこらすべきであったが全く手つかずであった。住民パワーによってかろうじて交通幹線による環境悪化の進行は鈍化している。
⑦ 地域制と土地利用計画。
いわゆる線びきで市街化の面積，形態をおさえ，地域制によって土地，建物利用と密度を規制して都市全体のマクロ的な環境条件を保障しようとしたが，線びき面積は過大であり，地域制による容積規制は各地区の公共，公益施設のストック量あるいは計画目標量とバランスがとれない。1種住専以外は容積限界が高すぎる。今後，既成市街地とその隣接地では永く施設，オープン・スペースの不足に悩むだろう。
⑧ 市街地整備事業。
都市計画法でうたう地区プロジェクトであるが，再開発，区画整理，団地開発など制度的に保障のあるプロジェクトでカバーできるのは市街地面積，市街化区域面積の何%であろうか。

ざっとみたところ，上位計画としての都市計画が居住環境保全，回復のためにできる限界はこのようなところである。ここから先は公共団体，住民，民間企業でそれぞれ工夫をこらさない限り，展望はひらけないと考えざるをえない。

3. よい町と悪い町

わが国諸都市の居住環境が混乱し，いわゆるブライテッドエリアが市街地のほとんど全域にわたって拡がってしまった原因とメカニズムはよくわからない。説明がなされてこなかったわけではない。都市の生活環境を支える社会資本が明治以来の政治体質によって決定的に不足している。経済の高度成長によって人口と産業の急激な都市集中と資本の論理による都市形成が歪をもたらした。根本的な土地政策がない。地方自治体，とくに市町村の行財政力が弱い。都市計画の行政がなっておらず市街化の制御が不十分である。……

読者は，自分がもっとも重要な関心をおいている都市を固有名詞をつけて想定していただきたい。繰返し主張される都市問題論や政策批判だけでは，われわれの眼にふれる市街地の環境悪化の原因とメカニズムを具体的に説明できるだろうか。また，そこから何をどうすればよい，どうするべきかという答が引きだされるだろうか。

ここで率直に認めるべきことは，都市計画の分野において，とくにわが国では計画・設計に関する調査研究は数多くなされてきたが，現在提出されている課題に答えるのに必要な基本的研究，洞察の訓練が欠けていたことである。今それらのすべてをあげ，それぞれが，この基本的課題とつながっている論理をのべる能力はないが，いくつかの問題点をあげてみると，

① よい都市，よい市街地とは，どのような状況を意味するか。いかなる条件の組合せで，そのようになったのか。
② 悪い都市，悪い町とは，どのような状況を意味するのか。なぜこうなったのか。いかなる条件の組合せでそのようになったのか。
③ 都市計画は，どのような役割を果してきたのか。都市計画の役割，機能に対して改善の方向，途はあるか。

以上の3点である。要するに都市計画の調査，研究は，計画立案の方法と計画提案書の内容，構成のより合理的な体系をつくることに関心をうばわれ，都市そのもの，都市を構成する市街地そのものの状態，変化のメカニズムに対する調査・研究と，都市，市街地の状態に対して都市計画がもちうる関係について関心を払っていなかったと考える。

各階層の人間集団が経済的，社会的，文化的な諸活動を営むには土地の形質を変え，利用状態を変える，つまり，人間集団の社会的行為は空間利用の変化を伴う。それはローカルな条件も加わり，いろいろなパターンをとる。無数に繰返されるこのようなパターンの組合せが都市をつくる。都市にブライテッドエリアが拡大し，そこの居住環境が問題となっているのは，日本社会を動かす基本的な，どこかの部分が変調を来たしており，パターンそのもの，無数の繰返し方，および組合せ方が狂いつつあるからと考えざるをえない。

4. 居住環境と住宅

居住環境について科学的根拠が十分にあるとはいえないが，経験的に，つぎのことがいえる。すなわち，

市街地の質を規定するのは住宅の質である。

ここでは質を評価する基準を明確に規定しているわけでなく，数多くの市街地を良い市街地，悪い市街地と経験的判断によって大わけし，観察した上でえられる結論である。やや詳細にのべると，つぎのように考えることができる。

① 住居内空間・設備の質と規模が不十分な場合，ずばりいえば個々の住宅が粗末な場合に，住戸の組合せ，住宅間の環境状況がよくなることはない。
② 隣りあう住空間の環境状況が悪い場合に，住宅群，あるいは一団の住宅地の環境がよくなることはない。
③ 個々の住宅が粗末な場合に，その住宅敷地がえらばれる場所は，住宅地としての基本的適性，つまり居住者の安全と健康を保障する資質が不十分である。

うまく整理できないが若干の説明を私なりに加えてみよう。一般世帯の住宅に対する諸要求を満足するためにまず求められるのは一定程度以上の規模である。最小限住居のあり方に関する追究はなされてきたが，数10㎡の面積範囲という枠が必要ということは学問的にも，また居住者の生活経験からしても一致している。したがって住宅を入手する場合の需要者の関心はまず規模の確保にむけられる。その結果，所得あるいは住宅入手財力がひと桁ちがっていても，住宅の面積がひと桁ちがうことは例外的にしかありえない。アパートの場合だと30㎡～100㎡，一般住宅の場合だと5～60㎡～100～150㎡の差というのが普通である。

要するに住宅の規模は下限があり，多くの需要者はそれを確保すると，規模以外の住戸空間の質，設備，さらに戸外空間と施設の規模と質に関心をもち，費用を投入する余裕がもてなくなるし，公共，民間を問わず住宅供給側のシステムも住宅，宅地の価格を操作し，このような傾向を住宅地に定着させる作用をもっているように思われる。

かくして低所得者階層の住宅は木賃アパートや文化住宅の形態をとって供給される。これらの建築形式をとる場合，建築面積以外に敷地面積の余裕はほとんどない。しかもこれらの住宅は次第に集積し壁面の一部に道路があるだけで，他の壁面は隣接する建物の壁面との間にわずかな

「すき間」を残すのみという過密状態に達する。

各住戸の日照，通風などの条件が極端に悪くなるのに伴い，子供の遊び場の不足，災害発生の危険度など住宅まわりの居住環境の低下，悪化は急激に進行する。

これと同様の事態がマンションの密集地区でも発生，進行の兆候がみられる。高級住宅街の大邸宅跡地にたつマンションですら法規限度の建ぺい率まで敷地を利用し，上層部はセットバックしながら床面積を稼ぐ。敷地内に残った空地は全部がコンクリートでペーブされ駐車場となり，うつ蒼と茂っていた樹木は一本も残さない。緑についてはすべて外部経済に依存する。あながちマンション業者だけをせめるわけにはいかないので，住宅公団などのゲタばきアパートが，これの先例をつくったし，住居地域における駐車場に関する建築基準法の規定にも問題がある。

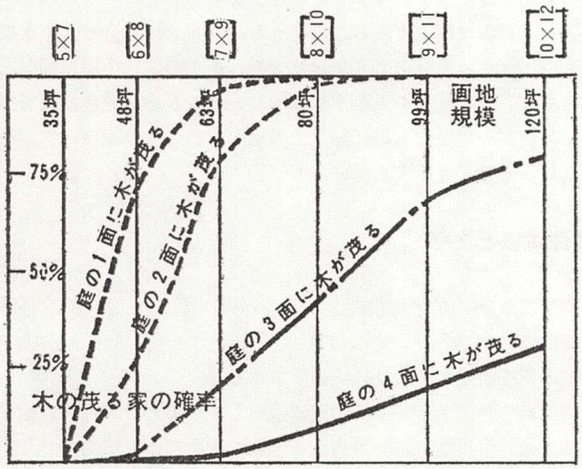


図 1

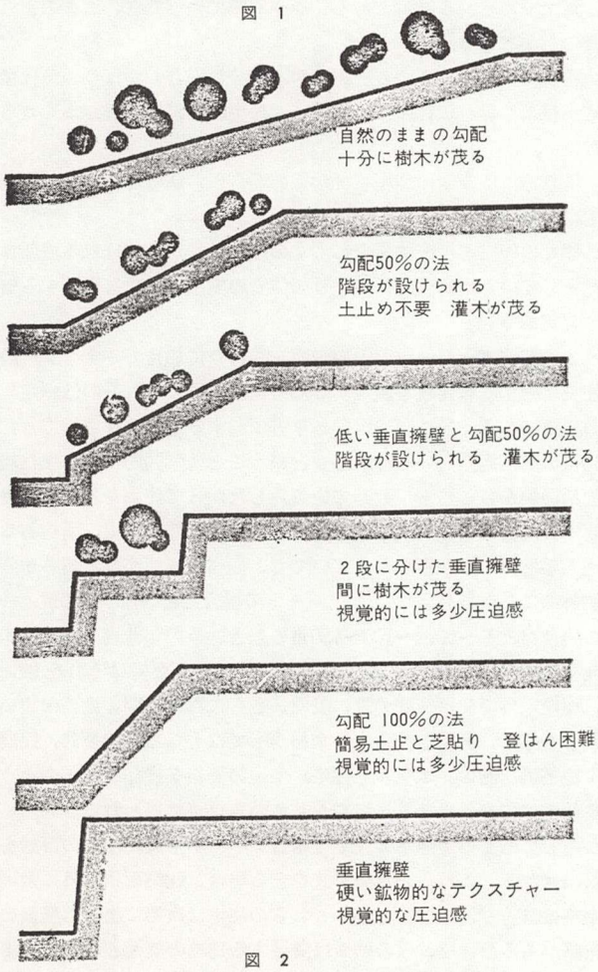


図 2

1戸建住宅の場合でも実は同じメカニズムが働いているように思う。総2階で40～60㎡程度の住宅をたて50㎡をわるような小宅地でもって分譲される住宅が多量に供給される。このような小画地住宅が接する細街路は法律違反の狭い幅員であっても，結果的には延長が長くなり道路率は30%近くになってしまう。その分は宅地＋分譲価格にはねかえり，土地利用計画上，小公園などをつくりだす余裕をなくし，下水網の整備，消火用水網の整備を省き，火災危険，低湿，汚水処理，ごみ収集の困難など居住環境悪化の素因をつくりだしてしまう。経験者は誰も知っている悪循環である。

しかも木賃アパート，文化住宅，零細宅地住宅は1棟，あるいは数棟の小さな供給単位でもって，混合地域に残存する低湿地や，他に用途が求められない「切れ端」状態の空地を求めてたてられる。地域全体の環境状態がすでに悪化，もしくは悪化する潜在条件の強いところに局所的な超高密度住宅群として出現する。

やや水準の高い住宅市街地についても，やはり住宅が市街地の質を規定する。このような住宅地にあっては，住宅規模は数10平米を上まわるし，しかも傾斜地を造成してたてられる。この際，問題なのは宅地規模である。宅造後の自然回復状況について，われわれの調査によると敷地が120㎡以下では，樹木の成長は期待できない。160㎡で庭の一面，200㎡で庭の2面，330㎡でようやく庭の4面に樹木が育ち自然回復が行なわれる可能性がでてくる。（図1）

宅地規模は造成後の法面の勾配と仕上げに関係する。勾配が50%であれば土止め不要で灌木が茂る。100%となると土止めと芝貼りになり，住宅地内の細街路からは多少の圧迫感をうける。垂直擁壁となると法面に植生は不可能であるだけでなく，住宅地内の視覚的な圧迫感と水害時の崩壊の恐れを生じる。宅地規模が零細化するにつれて擁壁が出現し，しかも高くなってくる。宅地から表層土がなくなり，自然回復の性能は加速的に低下する。（図2）

これと同時に宅地まわりの垣を問題とせねばならない。宅地規模に余裕があれば生垣が可能であり，住宅棟間，住宅の街路の間に灌木，樹木などの植生が育つが，宅地面積が縮小するにつれて隣地，街路からの視線，騒音などを遮断する必要度が高まり，一方，物理的条件から石垣，万代塀，ブロック塀が出現する。住宅地の緑の回復，育成だけでなく，街路空間の質の貧困さに拍車がかかり，災害時の危険度も高まる結果となってしまう。かくして，既成市街地に広がる緑とオープンスペース，公共施設が貧困な高密住宅地が丘陵部から山麓にかけて広がり再現する結果となる。

以上の説明では歴史的，社会的背景の複雑な既成市街地については全く不十分であるが，「居住環境，市街地の質を規定するのは住宅の質である」という考えが誤っているとは私自身思わない。住宅と住民の日常生活施設，環境保全と回復などを総合化し，住宅，宅地の供給管理を基軸とする居住環境整備計画の体系化と，その実施に努力が必要なのは今だと強く主張したい。しかもその中心課題はいかにして住宅の質をあげる方策を見出すかにある。

（註　図1，2とも「北摂山麓一帯開発計画研究報告書」第3章より引用）

（かわかみ　ひでみつ　東京大学助教授・工学部都市工学科）

住環境の評価と問題点

居住地環境整備研究会

伊藤靖久・河目浩吉・田中康夫・中野　真・甫出裕紀・松原徹雄・
三谷真喜子・吉羽逸郎

居住環境評価の視点

生活環境，居住環境という言葉が世上で盛んに使われるようになってからすでに久しい。この間，生活環境の概念規定，測定，評価方法について各所で論議されてきた。また，目標とする生活環境の達成手段，生活環境調査結果の施策への反映についても模索が続けられてきた。しかし確たる定立がみられたというわけではない。

生活環境についての検討が進められつつも成案ができあがらず，具体的な方策が発見できない間に各所においては環境の破壊が進行しつつある。例えば住宅地区内に存在した工場が郊外に移転した跡地にボーリング場の建設が進められ，居住者の反撃を受けている場合，低層の住宅地に高層マンションの建設がもくろまれ，反対する住民運動が激化している場合などがみられる。また，大気汚染の進行，騒音の激化がその住宅地の生活環境の悪化を進めているような場合もみられる。都市化の進行と都市の過密化のなかで最低限保証されるべき居住地の水準は一方的に切下げられてきている。このような事例は身のまわりを眺めてみるならば随所に存在している。しかし，このような劣悪化していく都市市街地のなかで現実に生活を営まざるをえない状況にあるとき，何が生活環境を破壊し，その結果がどう現われてきているのか，それが地区居住者にどう受け止められているのかという点を明確にすることなくしては，具体的な生活環境破壊に対する有効な反撃策を用意しえなくなるといえる。

本論では上に述べたような事項を明らかにすることをもくろみ，具体的な地区を大阪府下から選び，調査を通して生活環境を向上させていく方策を検討していく上での問題点を明らかにすることを考えた。そこで，地区の居住環境はそこでの都市活動，生活行動，居住者属性に強く規定されていると考え，土地利用の混在度，住宅の質，開発時期，土地基盤の整備状況を判断の規準としてつぎの9地区を選定した。

		土地利用の混在度		
		住工混合	住商混合	住
住宅の質	下	・守口市八雲西町 戦後・自然 ・生野区巽大地町 戦後・計画	・東住吉区田辺本町 戦前・自然 ・東大阪市大蓮 戦後・自然	・門真市石原町 戦後・計画
	上	・堺市南庄町 戦前・計画	・富田林市御坊町 戦前・計画	・箕面市桜ケ丘 戦前・計画 ・豊中市長興寺南 戦後・自然

これらの9地区を対象とし，生活環境に影響をおよぼすと想定される25項目についての5段階評価，不足施設のリストアップ，環境破壊施設，要因のリストアップ，居住地の満足度を内容とする調査を行ない，これらを整理し生活環境評価を行なうとともに問題点を摘出することにした。

居住環境の実態

この調査の結果から，地区ごとの居住環境の実態，居住者の評価などについて特徴的にみられる点を整理するとつぎのようになる。

まず，自己の居住地の環境に対する満足度は，十分に満足，まあ満足と評価されている地区は**箕面市桜ケ丘**地区，**豊中市長興寺南**地区と**東大阪市大蓮**地区である。どちらかというと満足と評価されている地区は**富田林市御坊町**地区，**大阪市東住吉区田辺本町**地区，**門真市石原町**地区である。普通，どちらともいえないと評価されている地区は，**守口市八雲西町**地区，**堺市南庄町**地区，**大阪市生野区巽大地町**地区である。これらから，第一に住工混合が強くみられる地区でもっとも悪い評価がなされており，第二に，早くから形成されてきた市街地での満足度が低い，第三に，宅地の規模が大きい，いわゆる高級住宅地での満足度が高いという点が指摘しうる。しかし，**大蓮**地区，連続建住宅で構成され，建てづまった街，が居住者から高く評価され，さらに典型的なスプロール状市街地である**石原町**地区もそれほど悪くない評価をされているなどの点が目につく，地区の居住者による評価は商売上移転困難であるとか，やっとたどりついた場所であるとか，経済的にここ以上の場所は望みえないといった理由もあって，地区への不満は多くもちつつもあきらめまたはなれによってそこでの生活へとけ込んでいっているとも考えられる。

今回の調査で共通してあげられた問題点は，子供が安全に遊べる施設が不足しているということである。**桜ケ丘**地区だけは，家族周期によるのかそれとも自己敷地内に十分空地があるからなのか，この点の指摘は少ない。また，蚊やはえなどの害虫が多い，のら犬やのら猫が多いという点も共通して指摘されている。**御坊町**地区，**田辺本町**地区といった計画的ではあるが早くに形成された市街地，**石原町**地区，**大蓮**地区といった近年に形成されたスプロール状市街地といった道路幅員が狭い地区では，近所の道は自動車ではいりにくいという指摘がされているが，このことは同時に自動車による振動，騒音，排気ガス，ほこり，媒煙から地区が解き放たれているという指摘につながる。この意味で，市街地形態の地区居住環境に与える影響は軽視しえないといえよう。しかし，**八雲西町**地区，**長興寺南**地区は近所の道は自動車ではいりにくいという指摘とともに自動車による各種の悪影響を受けているという指摘がなされている点，この両地区の抱える問題の複雑さをあらわしているといえよう。**石原町**地区，**大蓮**地区といった「文化住宅」や連続建住宅で形成された市街地では住宅や建物の建てづまり感が強いと指摘されている点は十分に留意しておく必要があろう。市街地の土地利用との関係では，住工混合の**八雲西町**地区，**南庄町**地区，**巽大地町**地区では工場の騒音，振動が強く意識され，地区の満足度へ影響している。

一方，地区として優れていると評価されている点は足の便であり，近所とのつきあいの気やすさであり，防犯，用心のよさが多い。また，ごみやし尿の処理といった行政サービスの質も地区居住者の関心事になっていることがわかる。これらの諸点が一応満足されれば地区に対する満足度は一定の評価を受けるといえよう。

地区の居住環境の評価を地区に不足している施設，環境破壊要因という面からみると，まず，地区に不足している施設としては，子供の遊び場，小公園が第1にあげられる。つづいて図書館・図書館分館があげられる。鉄軌道の最寄駅が徒歩圏にないところでは足の便の確保が強く要請されている。**桜ケ丘**地区，**長興寺南**地区，**御坊町**地区といった歴史のある，高級住宅地では不足施設としてあげられるものがほとんどなく，新しい市街地で一般に水準の低いとされる市街地で不足施設が多くあげられる点はこれらの市街地の問題点をあらわしているといえよう。このような一般的傾向のなかでとくに注目しておく必要があるのは，**巽大地町**地区で保育所が不足施設としてあげられている点である。地区の実情からするならば夫婦ともに働いていると想定されるので，地区の生活，いいかえるならば地区居住者の特性と関わっていると考えられる。

地区の居住環境の破壊要因としては，自動車の地区内への侵入によって惹起される一連の問題が全地区で強く意識されているといえる。今や自動車に対する方策をもたずしては居住環境は確保しえなくなってきている。そのほかには「ホテル」の立地，バーの立地と酔っぱらいの徘徊，ヤクザの存在などがあげられている。低湿地では排水不良が，新市街地では道路の未舗装による砂ぼこりが，また，若年層の多い地区では子供の声がといった地区の特性に応じた要因も指摘されている。これらの諸点とともに，幹線道路や高速道路の存在が地区居住環境破壊要因として指摘されてきたことに留意しておく必要があろう。

居住環境改善への示唆

大阪府下での９地区の地区居住環境の調査からいくつかの問題点を整理しえたが，例えば市街地の形態が整理されていない場所が自動車時代に新たな価値をもちはじめたことや下町の便利さが評価されていることなど，従来の居住環境の整備目標とは異なった仮設を用意する必要性を強く提起してきている。また，地区の居住環境は生活が存在するかぎり共通的に評価尺度を用意し，評価されうるものと地区の市街地形態，土地利用の状況に関わるとともに地区居住者の特性によって評価が規定されてくるものとで構成されていると判断しうる。さらに地区の居住環境の評価は地区の満足度とは一義的な対応をもちえない。いいかえるならば，満足度というものは「弾性値」が低く，少々の改良では反応はそれほど明確にあらわれないものであるといえよう。また，居住者の経済的条件によっても評価・満足度の尺度は変わってきたり，そこでの居住歴が長くなると地区への「なじみ」が評価，満足度に強く影響してくるとも考えられる。

居住環境はこのような特徴をもつと考えるならば，地方公共団体が総合計画などで居住環境整備の構想・計画が具体的な地区の居住環境の向上にどのように関わりうるのか，有効かという点が問題となってくる。大阪市の総合基本計画が生活環境の整備を計画の柱のひとつに取上げて以来，公害問題の激化，生活環境の水準低下，破壊がつづくなかで，各市も計画の主要な柱とし，生活防衛という観点を強調するようになってきている。大阪市総合基本計画では，近隣住区理論に基づく整備の促進がうたわれている。西宮市総合計画ではこの近隣住区の今日的，現実的展開を考え，鉄軌道駅を中心とする一体的な拡がりを地区とし，さらに上位の施設まで整備を図ろうとする計画・構想となっている。いずれもその地域に責任をもつ自治体として最善の努力を傾注しようとしているといえよう。しかし，自治体の計画だけで居住環境が向上していくのかといえば大きな疑問の存在するところである。どのような場所であっても必ず一定の水準まで到達していなければならない基礎的な部分は確かに自治体の計画の実施にまつところが大きい。しかし，地区の固有特性に対応した，「かゆいところに手のとどく」といった部分は地区住民の要求にもとづいて達成されていくことがもっとも望まれることになる。このような住民の自主的な，自発的な意志の発現とそれにもとづく優先順位の設定などが行ないうる状態になってはじめて居住環境の水準向上へ向かって進んでいく条件ができたことになる。このような住民の意志を受止めないで樹てられた計画は現在の矛盾の解消ははたしえても新たな矛盾を発生させるといえよう。

居住環境は当面は自己の身のまわりで起こったいくつかの事例を通して評価され，生活との関わりのルールが整理されてくるという意味ではこの身近に存在し，生活を圧迫している問題の解消を図っていくことが居住環境を向上させていく具体的な戦術として提起しうる。この問題設定は当然ながら上述の住民の運動によって定まってくる。この方式にのっとった居住環境向上作戦を遂行していくなかで，大都市およびその周辺では後退し，崩壊への途を歩みつつあるコミュニティの再建への手がかりもみつけうるであろう。その土地に住むことから発生する地域社会の形成から住民要求の結集，住民運動の発展を軸にした地域社会の形成へと向かっていくことができると考えられる。

したがって，地区の居住環境を向上させていくには，排水条件の改良や公共施設の建設などは自治体に要求していく一方，住民側では比較的単純で守りやすいいくつかの約束を，――例えば路上駐車はしない，敷地内に樹木を数本植えるといったような――設定し遵守していくことが重要となってこよう。

箕面市桜ケ丘地区

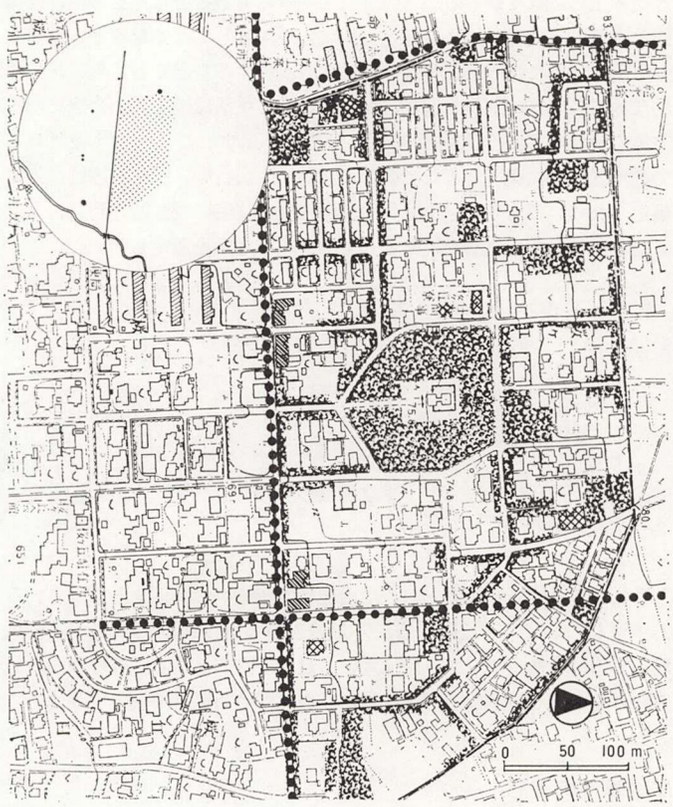
地区の歴史：地区一帯は早くから各種の住宅開発が行なわれてきたところである。すぐ南には，大阪でははじめての住宅博覧会の会場が設けられた。この地区も土地基盤の整備は計画的に行なわれてきた。近年建物の老朽化による建替えがすすみ，給与住宅の立地がみられている。

地区の特徴：この地区は，一戸建住宅のほか一部に社宅・寮などが混じった高級住宅地である。古い住宅地だけに建替が目立つ。緑は，神社の森・生垣・庭木のほか庭木の栽培地があり申し分ない環境である。道路は，幅員・舗装ともまあまあだが，歩道がないので歩きにくい。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
◎工場などの出すにおいはくさくない ◎日当りや風通しはよい ◎住宅や建物の建てつまりはひどくない ◎隣近所からの騒音はうるさくない ・工場，工事，車などの振動，騒音はひどくない ・ごみやし尿の処理はよい ・水はけはよい ・火事の危険は感じない ・小中学校への通学はあぶなくない ・近所の道は歩きやすい ・近所の道は車で入りやすい ・近所の夜道の照明は明るい ・プライバシーは守られる	◎か，はえなどの害虫は多い ◎夜遅く帰宅する時は不便だ ・ノラ犬やノラ猫は多い ・近所の商店の品物の値段は高い ・通勤や仕事でででかける時は不便だ	・バスの停留所 **特に環境を乱すもの** ・車の音 ・幹線道路 **全体としての評価** （１）非常に満足…大部分 （２）やや満足…わずか （３）ふつう…わずか （４）やや不満…ほとんどなし （５）非常に不満…なし

寸評：この地区は，宅地および住宅規模が大きく，その上緑も豊富で，静寂な高級住宅地であるだけに，居住者の大部分が環境に対して，非常に満足している。しかし，地区内を貫通する狭い府道には，自動車交通が多く，歩道も設置されていないために危険を感じる。この府道は拡幅計画があるが，さらに交通量が増大するものとして，居住者は反対の意向である。反面，バス路線がないために駅まで徒歩で15分ほどを要し，通勤・買物など日常生活の利便性に欠ける面がある。その他，空地が管理が悪いため蚊の発生源になっている。今後この地区の整備は，利便性を高めるための道路の拡幅，新設がなされる際，現在の良好な環境を維持，増進するよう配慮が望まれる。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
梅田14.1km	阪急牧落徒歩12分 阪急桜井徒歩15分	14.0ha	260	19/ha	大～中	150千円/㎡	住居専用地区（１部住居地域）

凡例　一戸建・長屋建住宅　文化住宅・アパート　商業系施設　工業系施設　倉庫・事務所　公園・生垣・盆栽　川・池　都市計画道路
見取図凡例　小学校　中学校　高校　幼稚園・保育所　保健所・診療所・病院　市役所　交番・郵便局・公民館・体育館　市場・スーパーマーケット・百貨店
浄水場　池・川　公園　国鉄・私鉄　バスルート　寺院　神社　調査対象区域

豊中市長興寺南地区

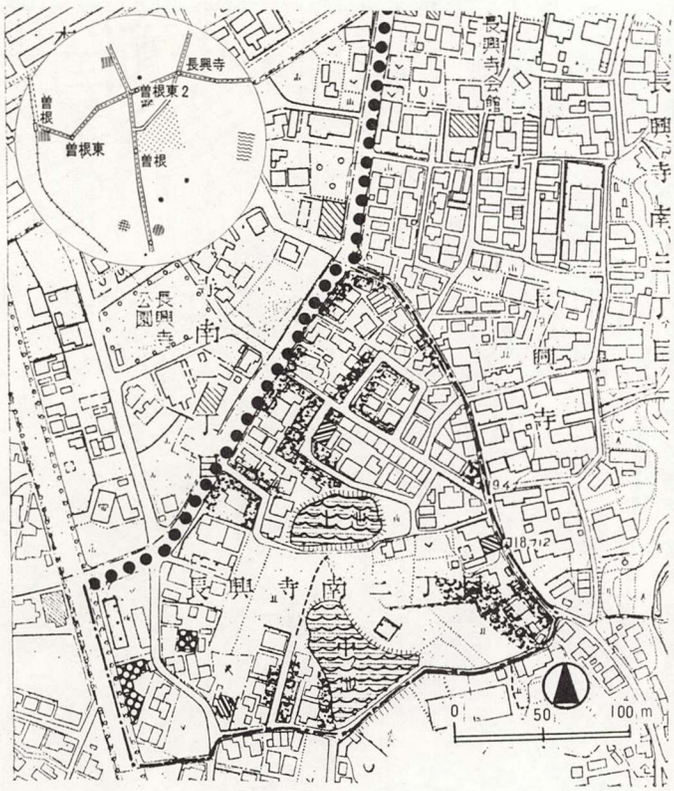
地区の歴史：豊中では珍しくも計画的な土地基盤整備が行なわれなかったところである。微妙な地形の入り込みもあって，個別的な開発の進行が積重なって形成されてきた。周辺は農地が近年まで残存したが，土地区画整理事業が施行され，全面市街化への道を歩みつつある。

地区の特徴：この地区は，大部分が一戸建住宅で，わずかに長屋および工場が混在する平均的住宅地である。建てづまりもそれほどひどくなく，庭木や生垣による緑もかなり豊富であるが，道には自動車が進入し，また分譲住宅地の出現によって，環境の変化が進行つつある。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
◎工場などの出すにおいはくさくない ◎日当りや風通しはよい ◎火事の危険は感じない ◎近所の夜道の照明は明るい ◎近所とのつきあいは気安くできる ◎プライバシーは守られる ◎隣近所からの騒音はうるさくない ・ごみやし尿の処理はよい ・近所の道は歩きやすい ・用心（防犯）はよい ・通勤や仕事ででかける時は便利だ ・夜遅く帰宅する時は便利だ	◎子供が遊ぶのにはあぶない ・車の振動，騒音はひどい ・自動車の排気ガス，ほこりはひどい ・か，はえの害虫は多い ・ノラ犬やノラ猫は多い ・保育所，幼稚園へ行くのはあぶない ・近所の道は車で入りにくい	なし **特に環境を乱すもの** ・車の騒音，振動，排気ガス ・ホテル ・池の蚊 **全体としての評価** （1）非常に満足…なし （2）やや満足…大部分 （3）ふつう…わずか （4）やや不満…なし （5）非常に不満…なし

寸評…住宅の質はそれほど良いとはいえないが，古くからの地域形成が全体的にしっくりした街並みを生み出している。緑化の程度もまあまあで，一般的な中級住宅地といえよう。交通・買物の便もよく，居住者も環境に対して，まあまあ満足しているようだ。反面，幹線道路の自動車公害，細街路への車の進入によって，住宅地の安全性がそこなわれている。また，池が管理のまずさから，蚊の発生源になっている。今後この地区の整備は，自動車の乗入規制，池の公園化など既存のシステム，施設の有効利用によって，かなり改善できるものと思われる。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
梅田8.1km	阪急曽根徒歩15分	4.0ha	120	30/ha	中	120千円/㎡	住居専用地区（一部住居地域）

富田林市御坊町地区

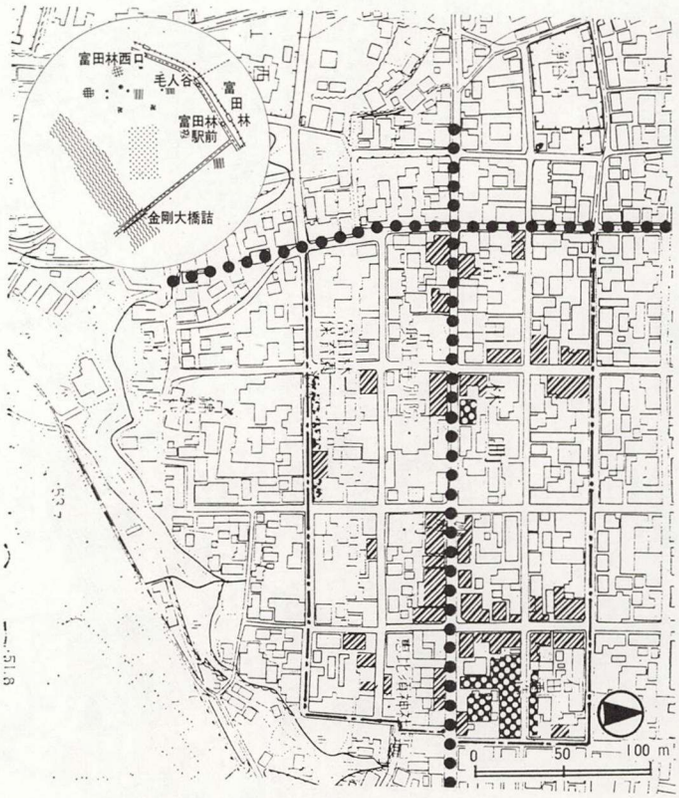
地区の歴史：富田林市街地のもっとも初期の部分であり，僧侶によって開発されたといわれる。その後約400年を経過しているが，当時の街割には大きな変化はなく，あたかも計画的な開発地とみられるような様相を呈している。

地区の特徴：この地区は，一戸建住宅・お寺・神社のほか店舗の混じった古い落ち着いた街である。道路は一般に狭く，敷地内の空地や庭木もそれほど多くはない。車と人との混りは少ないが，道が狭いので車と人との交錯が気になる。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
・自動車の排気ガスやほこり，ばい煙はひどくない ・近所とのつきあいは気安くできる ・隣近所からの騒音はうるさくない	◎近所の道は車で入りにくい ・付近の川や池の水はよごれている ・ノラ犬やノラ猫は多い ・子供が遊ぶのにはあぶない ・近所の商店の品物の値段は高い ・夜遅く帰宅する時は不便だ	なし **特に環境を乱すもの** ・バー ・車の音 **全体としての評価** （1）非常に満足…ほとんどなし （2）やや満足…わずか （3）ふつう…大部分 （4）やや不満…なし （5）非常に不満…なし

寸評：居住者の総合的評価は，ふつうないしはそれ以上である。とくに意識されている問題は，自動車公害が少なくて良いと思う反面，自動車が進入できないため日常生活に不便を感じていることである。この地区は古い街であり，道路はどれも旧態の狭い幅員であるためで，双方の利点が両立しない難かしさを浮彫りにしている。また，近所と気安くつき合え，騒音に悩まされないなど古い街の利点がある反面，子供の遊戯施設，教育施設の不足が指摘されている。また，昔の環境との比較から，河川の汚染を嘆く声が高い。しかし，全体的には落ち着きのある良い環境といえよう。今後この地区の整備は，現在の良さをいかしながら，新しい要求を組み入れる修復作業が必要であろう。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
天王寺18km	近鉄富田林徒歩7分	5.0ha	170	34/ha	大	60千円/㎡	住居地域及び商業地域

凡例　一戸建・長屋建住宅　文化住宅・アパート　商業系施設　工業系施設　倉庫・事務所　公園・生垣・盆栽　川・池　都市計画道路

見取図凡例　小学校　中学校　高校　幼稚園・保育所　保健所・診療所・病院　市役所　交番・郵便局・公民館・体育館　市場・スーパーマーケット・百貨店　浄水場　池・川　公園　国鉄・私鉄　バスルート　寺院　神社　調査対象区域

堺市南庄町地区

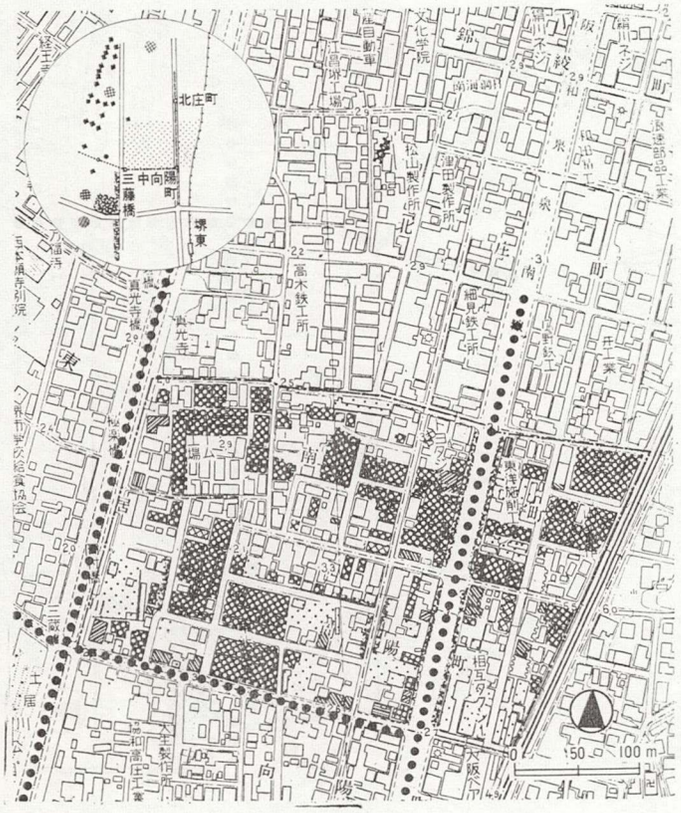
地区の歴史：堺旧市街地の北に位置し，昭和期になってから土地基盤の整備が行なわれ，市街化が進んだところである。一部には長屋が建ち，一部には自転車などの工場が立地し，典型的な住工混合地区として形成が進められてきている。

地区の特徴：この地区は，戦前の一戸建住宅，長屋のほか工場，文化住宅の混じった住工混合地区である。建て詰りもかなり過密で，細街路は舗装されていない。地区内を私鉄，幹線道路，高速道路が貫通して，与える影響が大きい。公園もなく緑はほとんど目につかない。路上駐車が多い。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
・ごみやし尿の処理はよい ・水はけはよい ・近所とのつきあいは気安くできる ・プライバシーは守られる ・通勤や仕事ででかける時は便利だ ・夜遅く帰宅する時は便利だ	◎工場，工事などの振動，騒音はひどい ◎自動車の排気ガスやほこり，ばい煙はひどい ◎子供が遊ぶのには，あぶない ◎保育所・幼稚園へ行くのはあぶない ◎小・中学校への通学はあぶない	◎交番・巡査派出所 ◎子供の遊び場 ・郵便局・小公園・プール ・集会所・公民館 **特に環境を乱すもの** ・工場 ・車（排気ガス，音） ・路上駐車 **全体としての評価** （1）非常に満足…なし （2）やや満足…ほとんどなし （3）ふつう…過半数 （4）やや不満…わずか （5）非常に不満…ほとんどなし

寸評：この地区の環境悪化にもっとも大きな影響をおよぼす要因は，工場騒音，臭気，振動と自動車騒音，排気ガスである。その上，児童公園など子供の遊び場がなく，道路には自動車があふれて，子供や老人にとっては危険度の高い劣悪な環境といえよう。反面，立地条件がよく，交通，購買には至便であり，また，し尿処理排水処理などの衛生的環境は，比較的すぐれている。下町特有の近所とのつきあいやすさ，自治会活動が活発であることも，この地区の利点としてあげられよう。しかし，総合的評価としては，平均以下の環境であり，居住者の不満度も高い。今後この地区の整備は，工場公害の発生源対策，自動車交通の処理，公共空地の確保が当面の課題といえよう。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
難波9.5km	南海堺東徒歩15分	9.0ha	360	40/ha	中～小	250千円/㎡	準工業地域

門真市石原町地区

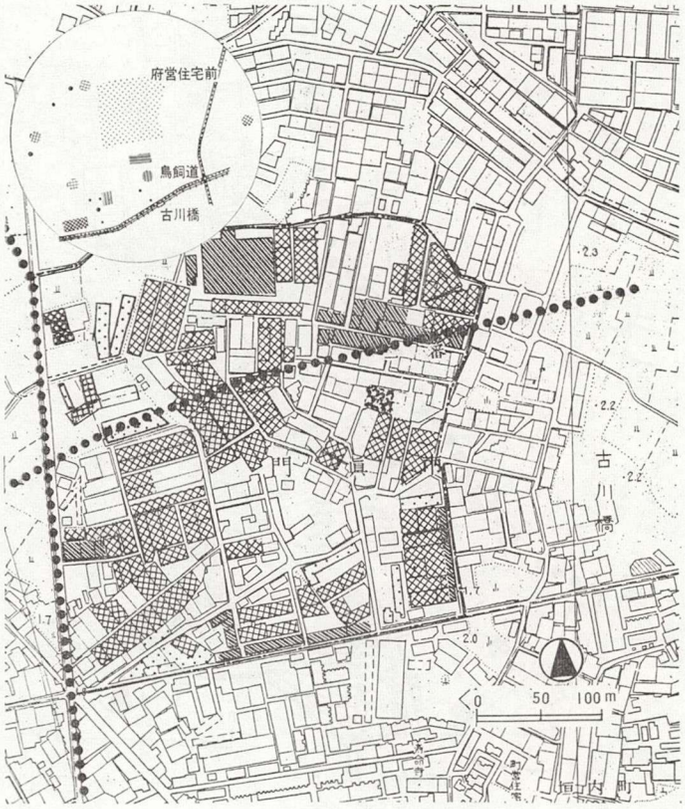
地区の歴史：大阪東部の開発が遅れた場所であった。蓮根とくわいがとれる低湿地が，昭和40年代にはいってから，文化住宅を主とする市街地に急激に変わっていった。道路・公園などの整備も全く進められておらず，典型的なスプロール地帯である。

地区の特徴：この地区は，民間アパート・文化住宅・長屋群が高度に集積した密集住宅である。建て詰りは極度に過密で，道路も4m前後の細街路が入り乱れて街を形どっている。また，舗装もなされてなく，緑は全く見当らない。車はほとんど進入できない。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
◎近所の商店の品物の値段は安い ◎工場などの出すにおいはひどくない ◎近所の夜道の照明は明るい ◎通勤や仕事ででかける時は便利だ ◎夜遅く帰宅する時は便利だ ・工場，工事，車などの振動や騒音はひどくない ・近所とのつきあいは気安くできる ・自動車の排気ガスやほこり，ばい煙はひどくない ・ごみやし尿の処理はいい ・ノラ犬やノラ猫は少ない	◎住宅や建物の建てづまりはひどい ◎火事の危険は感じる ◎近所の道は車で入りにくい ◎か，はえなどの害虫は多い ・子供が遊ぶのにはあぶない ・保育所，幼稚園へいくのにはあぶない	◎交番・巡査派出所◎子供の遊び場・ポスト・図書館・図書館分館 **特に環境を乱すもの** ・バーが多く暴力団風の人が出入り ・夜，酔人が歩く ・車の音・子供の声 ・下水の不備 ・市場の換気扇 **全体としての評価** （1）非常に満足…なし （2）やや満足…かなり多し （3）ふつう…かなり多し （4）やや不満…ほとんどなし （5）非常に不満…ほとんどなし

寸評：居住者の評価では，地区内の建て詰りがひどいため，ほぼ全員が火事に対する危険を感じている。ついで，蚊，はえなどの害虫が多いことおよび子供の通学・通園・遊びに危険であると訴えている。反面，利点としては，物価，家賃の安さ，交通の便利さをあげている。地区内には狭小な公園が1カ所あるだけで，また，交通量の多い道路をわたって通学，通園しなくてはならず，とくに幼児にとっては好ましい環境とはいえない。居住者は地区の環境に対しては満足しておらず，ただ生活が便利である理由だけで居住しているようだ。今後この地区の整備は，防災上必要な避難道路，下水道，公園など抜本的市街地改造が要求されるが，あわせて，住宅の不良化防止のための施策も緊急を要する課題である。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
京橋7.5km	京阪古川橋徒歩5分	11.1ha	3,600	324/ha	小	145千円/㎡	住居地域

凡例　一戸建・長屋建住宅　文化住宅・アパート　商業系施設　工業系施設　倉庫・事務所　公園・生垣・盆栽　川・池　都市計画道路
見取図凡例　小学校　中学校　高校　幼稚園・保育所　保健所・診療所・病院　市役所　交番・郵便局・公民館・体育館　市場・スーパーマーケット・百貨店　浄水場　池・川　公園　国鉄・私鉄　バスルート　寺院　神社　調査対象区域

東住吉区田辺本町地区

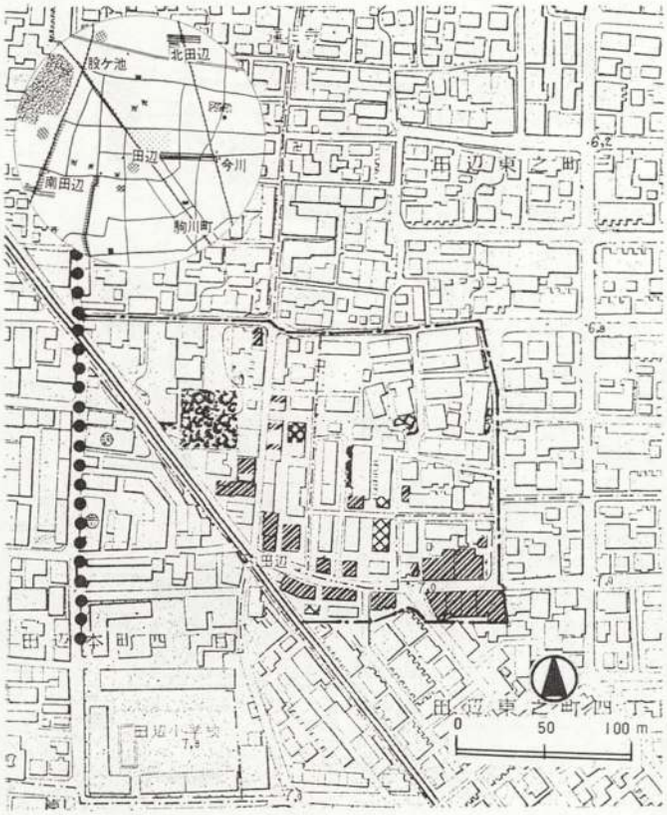
地区の歴史：既存集落の周辺が，戦前全面的に，土地区画整理事業が行なわれ，長屋を中心として市街化が進んできた。鉄軌道線の密度高い配置，集中した人口居住形態が商店街を生み，大阪における高密度住宅地の典型となってきている。

地区の特徴：この地区は，長屋のなかに商店が混じった典型的な下町である。すみずみまで利用しつくされている手入れの行届いた街である。道路は一般に狭く，なかには未舗装の部分もある。緑は極度に少ない。自治会活動は比較的熱心である。車と人の混じわりは少ない。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
◎通勤や仕事ででかける時は便利だ ◎夜遅く帰宅する時は便利だ ・工場などの出すにおいはくさくない ・プライバシーは守られる ・隣近所からの騒音はうるさくない ・近所とのつきあいは気安くできる ・ごみやし尿の処理はよい ・自動車の排気ガスはひどくない ・工場，工事，車などの振動や騒音はひどくない	◎付近の池や川の水はよごれている ◎近所の道は車で入りにくい ・子供が遊ぶのにあぶない ・小・中学校への通学はあぶない ・火事の危険は感じる ・か，はえなどの害虫は多い ・用心（防犯）はわるい	・子供の遊び場・プール ・小公園・図書館分館 **特に環境を乱すもの** ・文化住宅 ・踏切りの信号の音 ・路上駐車 **全体としての評価** （1）非常に満足…なし （1）やや満足…わずか （3）ふつう…大部分 （4）不満…ほとんどなし （5）非常に不満…なし

寸評：この地区は表通りを除き，自動車の侵入は少ない。このことが地区の満足度を高めているのか，居住者は比較的，この街に満している。とくに下町特有の便利さ，気やすいつき合いにもかかわらずプライバシーがまもられている点，住宅地としての静かさが高く評価されている。これらの点は下町の良さを再認識する必要性を示しているといえよう。しかし，川の水の汚れ，通学時の安全さに対する不安，火事のおそれなどへの不安の解消なくしては便利で静かだとしても，生活する上で十分な街とはいえない。この意味で子供の遊び場を確保し，防災上も安全な街にしていくことが望まれているといえよう。なお，文化的施設への要求が高い点は十分考慮していく必要があろう。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
天王寺5km	南海田辺徒歩1分	3.3ha	230	70/ha	小	150千円/㎡	住居地域

東大阪市大蓮地区

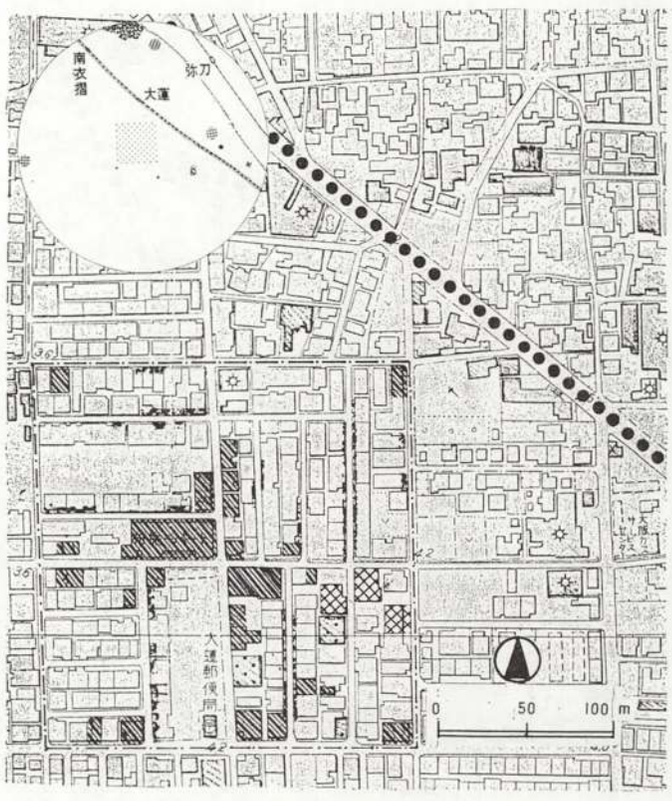
地区の歴史：戦後，農業実行組合が耕地の整理を行なった。大阪府の久宝寺緑地に指定されている。この地区が昭和35年以降急速に市街化をはじめ，連続建の分譲住宅で埋めつくされ，「民間の千里ニュータウン」とも評される大規模な開発集積地になってきている。

地区の特徴：この地区は，スーパー・店舗・一戸建住宅・文化住宅の住商混合地区である。道路は基盤状に整備されているが，交通量が多く，一方通行の箇所がある。緑は公園のほか，前栽，盆栽が目につく。まだ空地はかなりあり，駐車場として利用されている。自治会は活発である。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
◎近所とのつきあいは気安くできる ・日当りや風通しはよい ・用心（防犯）はよい ・プライバシーは守られる ・隣近所からの騒音はうるさくない	◎住宅や建物の建てづまりはひどい ◎付近の川や池の水はきたない ・か，はえなどの害虫は多い ・子供が遊ぶのにはあぶない ・保育所・幼稚園へ行くのにはあぶない ・通勤や仕事ででかける時は不便だ ・夜遅く帰宅する時は不便だ	・子供の遊び場・運動場 ・体育館・図書館・図書分館・街灯・防犯灯 **特に環境を乱すもの** ・車 **全体としての評価** （1）非常に満足…なし （2）やや満足…かなり多し （3）ふつう…かなり多し （4）やや不満…ほとんどなし （5）非常に不満…ほとんどなし

寸評：この地区は，居住者の環境に対する評価は，「まあまあ」満足である答えが多い。これは居住者階層の格差が少ないため近所とのつきあいが気やすいことおよびスーパーなど購買施設が集積して，比較的物価が安いことなどの理由によるものと考えられる。反面，環境を害する要因としては，自動車公害があげられる。この地区は，細街路が基盤状に築造されているため，自動車の進入を容易にさせ，住宅地の安全を犯しているといえる。過密，排水路の汚れも環境を乱す大きな要因であるが，後者については，現在進行中の下水道整備によって解消されそうである。今後この地区の整備は，地区内の空地をいかに公共空地として利用できるか，また，いかに自動車規制ができるかということが当面の課題である。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
天王寺5.4km	近鉄弥刀徒歩7分	5.6ha	550	98/ha	小	180千円/㎡	住居地域

凡例　1戸建・長屋建住宅　文化住宅・アパート　商業系施設　工業系施設　倉庫・事務所　公園・生垣・盆栽　川・池　都市計画道路
見取図凡例　小学校　中学校　高校　幼稚園・保育所　保健所・診療所・病院　市役所　交番・郵便局・公民館・体育館　市場・スーパーマーケット・百貨店　浄水場　池・川　公園　国鉄・私鉄　バスルート　寺院　神社　調査対象区域

守口市八雲西町地区

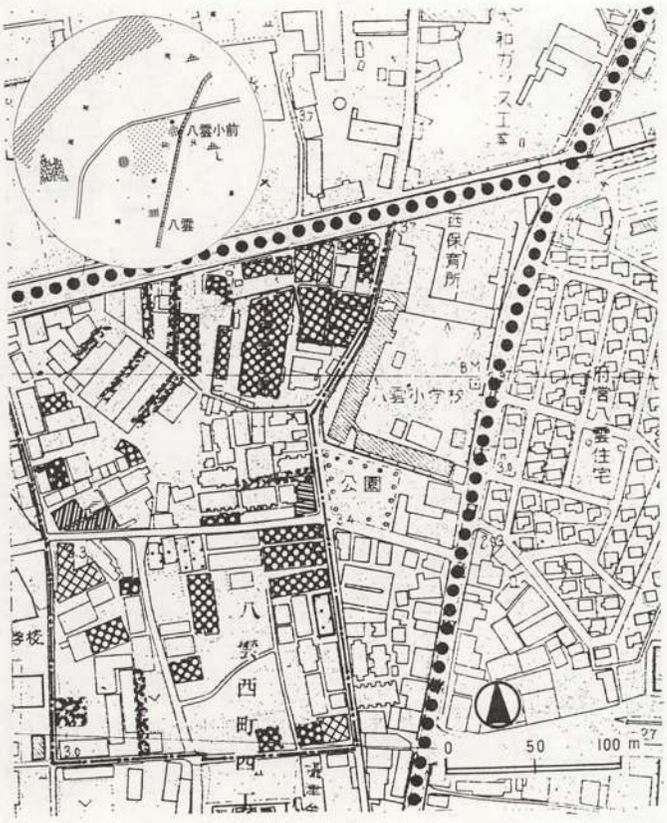
地区の歴史：計画的な市街地の整備は現在まで行なわれていない。農地と既存集落が主であったところへ主要道路の建設にともなって工場や住宅地が立地してきている。周辺に浄水場が建設されたこともこの地区の土地利用を決めていく上で大きく作用してきたといえる。

地区の特徴：この地区は，工場・店舗・一戸建住宅・長屋・アパートの混合地区であるが，建て詰りはひどくない。道路は細街路まで舗装されている。主要道路は交通量が多いのに幅員が狭く危険を感じる。緑は学校・公園・盆栽など目につく。空地は駐車場や物置きに使用されている。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
・ごみやし尿の処理はよい ・近所とのつきあいは気安くできる ・近所の夜道の照明は明るい ・工場などの出すにおいはひどくない	◎工場，工事，車などの振動や騒音はひどい ◎自動車の排気ガスやほこり，ばい煙はひどい ◎住宅や建物の建てづまりはひどい ◎か・はえなどの害虫は多い ◎ノラ犬やノラ猫は多い ・水はけは悪い ・近所の道は車で入りにくい ・夜遅く帰宅する時は不便だ ・火事の危険は感じる ・子供が遊ぶのにはあぶない ・用心（防犯）はわるい ・隣近所からの騒音はひどい ・近所の商店の品物の値段は高い	・医院・診療所・病院 ・図書館・図書館分館 **特に環境を乱すもの** ・車の音・路上駐車 ・高速道路・ヤクザの出入 ・排水施設の不備 ・交通の便の悪さ **全体としての評価** （1）非常に満足…ほとんどなし （2）やや満足…ほとんどなし （3）ふつう…大部分 （4）やや不満…わずか （5）非常に不満…ほとんどなし

寸評：居住者があげる環境悪化の最大の要因は，自動車公害と過密である。ついで，害虫，野良犬や野良猫が多いこと，水はけが悪いこと，交通の便の悪さ，物価が高いことをあげている。この地区は，周囲を6m道路で囲まれており，自動車はそこから内は進入できないものの，学校購買施設などすべて地区外にあるため，交通量の多い道路をわたって通学，買物をしなくてはならず，自動車公害の深刻さが理解できる。また水はけが悪いため害虫が多く非衛生的な印象が強い。今後この地区の整備は，自動車交通の処理とくに地区内で発生するトラックの処理と下水道建設が当面の課題といえよう。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
京橋 6km	京阪守口バス15分	7.0ha	450	64/ha	小	145千円/㎡	住居地域

生野区巽大地町地区

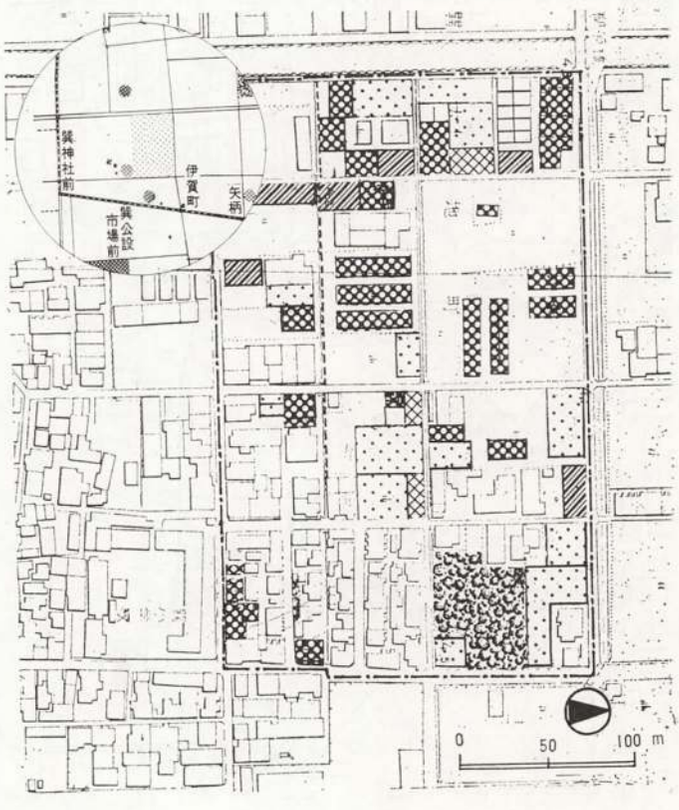
地区の歴史：戦前，耕地整理が完了し，そのまま農業用地として利用が進められていた。昭和43年頃から貸工場の立地が顕著になり，無数ともいえる状態になってきている。新庄大和線が一部開通しているが，この動きも地区に影響してきている。

地区の特徴：ごく近年になって開発が進み出した工場と住宅の混合している地区である。ここの工場は貸工場が圧倒的である。まだ空地が多いが一部ではごみごみした感じがする。道路は一部を除き未舗装である。緑は極度に少ない。自治会活動はあまり活発ではない。

居住者の評価：◎…大部分が答えたもの　・…半数以上が答えたもの

良いと答えたもの	悪いと答えたもの	不便を感じる施設
・近所の道は車で入りやすい ・近所の夜道の照明は明るい ・日当りや風通しはよい	◎付近の川や池の水はよごれている ◎近所の商店の品物の値段は高い ◎通勤や仕事でででかける時は不便だ ◎夜遅く帰宅する時は不便だ ◎か，はえなどの害虫は多い ・子供が遊ぶのにはあぶない ・近所の道は歩きにくい ・ノ犬やノラ猫は多い ・保育所，幼稚園へ行くのにはあぶない ・川や野つぼがあぶない ・工場，工事，車などの振動や騒音はひどい ・自動車の排気ガスやほこり，ばい煙はひどい	・鉄道・電車の駅・子供の遊び場・小公園・保育所・集会所・公民館・市役所・出張所 **特に環境を乱すもの** ・大型車，ブルドーザ，車の騒音・自動車整備工場のにおい・どぶ川のにおい ・子供の声・砂ほこり **全体としての評価** （1）非常に満足…ほとんどなし （2）やや満足…ほとんどなし （3）ふつう…大部分 （4）やや不満…ほとんどなし （5）非常に不満…なし

寸評：地区の環境については不満足な点が多いにもかかわらず，居住者はこの地区を，ふつう・どちらともいえないと評価している。生活を行なう上で最少限必要な施設の不足がまずみられる。また，公害と称される事項，安全性に関する事項，利便性に関する事項は居住者の評価は悪い方に傾いている。よく評価されている数少ない事項もまだ全面的に市街化が完了していないことによると考えられるものを含んでいる。したがって，今後この地区は，さらに多くの問題をかかえることになると思われる。この地区の住環境の向上を図っていくには，全面市街化した状態を前提とし，生活運営に必要な施設を，居住者の属性にあわせて，建設をすすめていくとともに，安全性の確保を目的とする施策の投入が望まれる。



都心との距離	最寄駅	地区面積	世帯数	世帯密度	宅地規模	地価	用途地域
上六6.5km	近鉄今里バス15分	7.3ha	380	49/ha	小	220千円/㎡	住居地域

凡例　一戸建・長屋建住宅　文化住宅・アパート　商業系施設　工業系施設　倉庫・事務所　公園・生垣・盆栽　川・池　都市計画道路
見取図凡例　小学校　中学校　高校　幼稚園・保育所　保健所・診療所・病院　市役所　交番・郵便局・公民館・体育館　市場・スーパーマーケット・百貨店　浄水場　池・川　公園　国鉄・私鉄　バスルート　寺院　神社　調査対象区域

居住地水準と改善計画 —スローガンから科学的政策へ—

三村浩史

はしがき

わが国の都市計画は，幹線道路や工業用地・用水・港湾などの産業基盤の整備が中心であったとして，住宅や生活環境をまったく無視してきたわけではない。戦後の公営・公団住宅，住宅団地やニュータウン開発，区画整理や用途地域制，その他の住宅融資制度や開発規制など，それなりの努力が積み重ねられていることも事実である。しかし，そのような努力をもってしてもなお，大都市における住宅や生活環境の水準が目立って改善されないどころか，かえって低下しつつあるのが現実である。部分的にはニュータウンのように高い水準の住宅・居住地の新しいモデルがつくられる一方で，のこる大部分の住宅と居住地は，老朽化と荒廃化がすすみ，ほとんど水準上の改善がなされないままにスプロール状の拡大がつづいている。

もしも，大都市における住宅・居住地の水準を向上することを重要な都市政策のひとつに掲げるのであるなら，従来の都市政策に根本的な批判を加え，大胆な改革を行なうことがなければならず，もはや従来の路線の延長や若干の改善では到底達成することが不可能であろう。この小論では新しい実効性のある住宅・居住地計画のあり方，その成立条件についていくつかの問題を提起したいと思う。

1. 計画の対象範囲

従来の住宅・居住地政策は ①もっぱら新規開発の水準をいかに向上さすかに努力をしぼってきた。②しかも，主として公共住宅や公共事業や区画整理の推進など，政策の対象範囲がきわめて限定されていた。しかしながら，現在の大都市では，③非戦災の老朽居住地や工住混合地域，④戦後から1960年代に開発された文化・木賃アパートを中心とする低質市街地，⑤公害激化地区や災害危険地区，⑥ビル化やマンション化のなかにとり残された住宅街など，さまざまな問題をかかえた既成市街地のストックが増大している。

従来，これらの既成市街地のストックをふくめた全般的な住宅・居住地の水準向上計画といったものは樹立されていないが，1970年代以降の大都市では，全般的な居住水準向上計画の対象として，新規開発だけでなく既成の市街地ストックをもとりあげねばならないであろう。

より高い水準のものを新規に大量建設すれば，それらへの住みかえがすすみ，次第に低水準の住宅や居住地が自然消滅するという仮説は，すでに60年代において破綻している。新規建設そのものの水準が低かっただけでなく，それらはもっぱら大都市圏への急激な人口増加を吸収することでせいいっぱいであったこと，また居住者の通勤立地や家賃の関係で住みかえに一定の限界があったこと，そして，住みかえた跡は建て替えられるのではなく，かえって，より零細な需要で埋められてきたことが明らかである。

2. 計画の目標水準と実施基準

すでに60年代に入ってから，住宅難は量の問題ではなく質の問題へと推移しているのに，政策目標は一世帯一住宅といった戸数主義にとどまり，居住水準や環境水準，上何らの質的規定も行なわれていなかった。これでは，「住宅難の解消」とか「住みよいまちづくり」はスローガンにとどまり，目標は不明確であるから，政策の効果や達成率も点検されることなく無責任体制におちいってきたのは当然である。したがって，これからの住宅・居住地改善計画ではより具体的な目標水準を規定しなければ，科学的な政策とはいえないであろう。これらの目標は最大の努力を傾けて実現可能なものでなければならないが，また同時に現実のような低いレベルそのままを目標とすることもできない。したがって，その改善目標はプログラム化しなければならない。すなわち，長期目標と中間目標とを組み合わせて逐次その水準を向上させてゆく内容をもつことが必要となろう。従来の短期的な実施計画は長期目標が不明確であったから，実施計画は達成されても，全般的水準をかえって低下するという矛盾があった。

目標をたてることは，現在水準とのギャップを明らかにするものであり，その差をどのような方法と事業計画でもってなくしてゆくかという実施計画で裏付けられるものでなければならない。この場合，問題となるのは地域差・階層差である。いわゆるシビルミニマム方式は最低水準の目標である。これよりも低水準の地域・階層に政策上の重点的な努力の照準を合わせるのは当然であるが，同時にシビルミニマムよりも水準の高い地域・階層についても現在の水準を維持し，質の低下をふせぐこと，住民の主体的な努力によってよりよい環境へと改善してゆくことを援助していくことも必要である。①新規建設と開発，②維持・管理（増改築や改善をふくむ），③除去と更新，という住宅・居住地のライフサイクルを通じての水準向上計画をたてようとするなら，これらの目標水準は，①新規の開発・建設の基準，②維持・管理の基準，③除去の基準，④更新の基準，という４つのステージに展開して考えてゆくことが必要となる。現在の住宅建設計画・居住地環境整備計画をみると，その対象・質的規定・計画のたて方と事業化方式など，まだまだ粗雑であって，上でのべたような「居住水準改善計画」にはほど遠いことが理解されよう。この小論で，そうした目標水準と実施計画の基準について，具体的な提案をのべるスペースの余裕がないが，長期目標水準としてどのような内容が盛られるべきかのみとりあげておきたい。

3. 住宅・居住地環境の長期目標水準

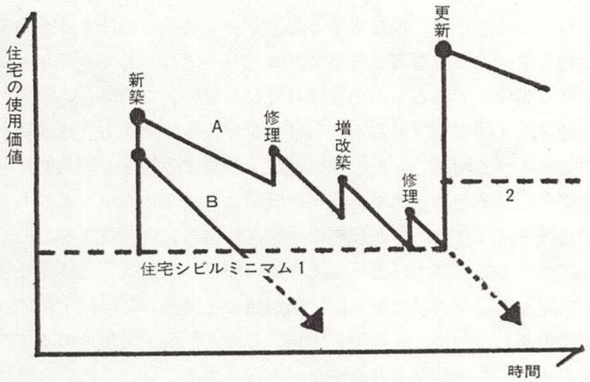
たとえば1990年，つまり約20年後の目標として，どのような内容を検討し盛り込むべきか，ひとつの試案を描いてみよう。

居住地の環境を規定する要素と考えられるものは，**表1**のごとくである。大きくわけて，A.住環境，B.街区環境，C.都市環境，の３つのジャンルになる。これは，住宅を中心とした空間のひろがりによる区分であるが，それだけでなく，現在の制度のもとでの事業負担の責任関係をも示している。通常，AとBは一体として開発供給される。公団・公営住宅・建売住宅・文化住宅・木賃アパートなどはその例であり，また宅地分譲住宅もBがAを規定する点でほぼ一体性をもっている。これに対して，Cは主として公共的な都市行政が責任をもっている領域である。今日の大都市では，住宅や街区環境における問題は決して個人の責任で解決されるものではなく，都市行政が本来責任をもたねばならないものであろうが，とにかく現実から出発するなら，A・BとCとでは問題の生じかたと対策はかなりことなったものにならざるを得ない。

A.住環境 １世帯１住宅から，近年は１人１室がスローガンとされるようになってきている。その実現性はともかく，政府の住宅統計では，３帖以上のDKまで居室に計算しているのであるから矛盾も尽しい。すくなくとも住宅の質的規定としては ｉ）家族構成に見合った寝室（個室）と新しい住生活様式に対応する居間・食事スペースといった室の最

表1　居住環境を規定する要素

A. 住環境	1)住宅……	（規模，型式，設備，構造，家賃等）
	2)集合型式……	（密度，日照，開放感，宅地の安全等）
B. 街区環境	3)街区施設……	（細街路，上下水道，ガス電力，排水等）
C. 都市環境	4)局地公災害…	（土地利用，局地公害発生源，火災，交通安全等）
	5)生活施設……	（小中学校，都市公園，社会生活施設等）
	6)住区構成……	（空間のまとまり，道路，歩道のネットワーク等）
	7)広域公災害…	（大規模公害発生源，都市災害等）
	8)そ の 他……	（商店街，混合地域など地区機能から求められる条件等）



Aカーブ：従来の宅地付木造住宅など、修理や増改築がなされることで、価値低下がゆるやかになる。
Bカーブ：文化住宅や木造アパートなど、修理、増改築をする余裕がないままに急速に荒廃化する。

図1　住宅のライフサイクル

低水準か，または全体の床面積の最低水準のどちらかをとるようにすることがのぞまれる。ii）台所・風呂・便所・(冷)暖房などの設備の水準および特別の収納スペースなどこれらはどの住宅にも共通のものとしてi）の面積とは別途に計算されるべきである。iii)家賃は，居住者の収入に見合った一定比率，たとえば15パーセント以下とする。したがって家賃補助や住宅手当などきめのこまかい対策が不可欠となろう。iv）住みかえ：住宅は一定幅の家族数の変動にも耐えられる余裕が必要だが，家族変動や転勤・退職などの条件に応じて，一定の待ち期間の範囲で住みかえが保障されること。従来の都市住宅のうち庭つき1戸建やテラス型長屋などの場合，居住者自身による増改築がある程度行なわれることで，スペース要求の時間的変動に対するフレキシビリティーがあった(図1)。しかし，現在の典型都市住宅である公団・公営住宅，民間アパートなどでは増改築がほとんど不可能であるから，これにかわる住みかえの容易さの水準を高めることはきわめて大切となろう。

B.街区環境　住宅の集合型式に対応した密度や配置が規定される。i）日照・通風・開放感・子供のあそび場スペースなどの水準，ii）アクセス道路・駐車場や消火栓・ゴミ処理・エネルギーや水供給処理の枝管サービス，　iii）宅地の安全性，などの基準が規定される。とくに新しい都市住宅の集合型式である高層住宅については，従来以上に　i）—iii）のきびしい規定が必要であり，日照やプライバシーの基準や高層階における子供のあそび場の設置，エレベーターなどの防災・避難・防犯などに解決を要する新しい問題を生じている。これらの街区環境の整備で，現在あいまいな点はその整備と管理コストの負担の問題である。質的基準とともに，負担基準にも検討が加えられる必要があろう。

C.都市環境　今日の居住地の悪化・荒廃化対策として都市レベルで解決しなければならない問題が次第に増加している。i）共同生活施設：すくなくとも小学校もしくは中学校区単位のコミュニティユニットについての基本的な施設セットとその水準を明記する。住生活のうちで社会的な施設やサービスに依存する機能が次第に増加していくので，従来の小学校や都市公園といったものだけでなく，体育館やスポーツグランド・文化施設・医療施設・老人施設などもふくめて考えてゆかねばならない。ii）都市施設：道路のみでなくバスや鉄道のサービス頻度・通勤や通学の安全性や快適性および所要時間など，実際の生活水準に見合った内容の水準をとりあげてゆかねばならない。上下水道・ガス・電力・ゴミ処理，さらには将来の集中エネルギープラントも対象となろう。iii）生活環境：主として局地公害と広域公害が問題である。前者では，土地利用のゾーニングが，後者では産業施設と居住地の立地が問題となろうが，ここでの環境基準は現在のように，単に健康人が病気にならないといった最低基準ではなく，「健康にして文化的な生活を営める」水準を目標としなければならない。さらに過密地帯では，さまざまな都市災害，たとえば危険物・通過交通・地震・水害などからの安全性をこれまで以上に重くみなければならない。iv）空間構成：個々のレベルアップを基盤的に保障するものとしての近隣住区・コミュニティユニット・環境ユニットなど，居住地の空間構成単位が計画されることが必要である。これらは最近のニュータウン計画では曲りなりに実現しているが，一般市街地の再編成手法としても適用する。小学校・公園などの配置・歩行者のためのネットワーク・近隣ユニットの外ワクなどは最小限計画的に配置されねばならない。このようなユニット化によって，既成の居住地で，地域社会を分断し，沿道公・災害の激化を招くような幹線道路や高速道路の計画は拒否されることになろう。以上は別に新しいことではなく，すでにさまざまなかたちで提案され，その一部はニュータウンなどでモデル的に実施されているものである。しかし，こうした都市計画のイロハすら，一般市街地に適用されておらず，住宅にいたってはすこぶる当り前のことが現実には実感のわかないビジョン的存在であるところに問題があるといえよう。

4.　前提となる地域政策と土地政策の改革

目標水準をたてることは，単に住宅建設や居住地整備事業プロパーの努力目標のみを意味するものではない。住民がそれを要求し，自治体や政府がそれを目標として実現しようとするのであれば，その目標から逆算してすべての計画に必要な改訂や変更と改革を行なうものでなければならない。この点で，まず基本的にとりあげなければならないのは，地域政策と土地政策であることに間違いはなかろう。すなわち，地域政策ではまず，大都市に対する企業の集中を抑制することである。企業が1人のサラリーマンを働かせるに必要なオフィスの土地プラス建物コストはせいぜい300万円前後である。一方，サラリーマンの家族が大都市で居住するために必要な土地プラス建物コストは，中級マンションで600〜800万円，学校・公園・上下水道・通勤鉄道などのコストをふくめると，サラリーマン1世帯当り1,000〜1,200万円にも達しよう。**表2**にみるように実際には，このコストは文化住宅や木賃アパートの場合は上の水準の⅓程度しか支払われていないのである。これを個人と公共団体（とくに自治体）が支払い得るためには，新規分だけで，従来の住宅や都市施設整備の予算や負担額を少なくとも3倍以上に引き上げねばならない。もしそれが短期間に支払い得ないとするなら，都市成長をスロー

表2 典型住宅・宅地のコスト(試算)

住宅型式	宅地住宅(中)	建売住宅(中)	公団住宅(3DK)	公営住宅(3K)	文化住宅(2室)	木造アパート(1室)
敷地面積(m²)	165	70	50	45	30	20
細街路面積(m²)	25	10	—	—	3	2
小計	190	80	50	45	33	22
用地単価 万円/m²	4	4	4	4	4	4
宅地費(万円)	760	320	200	180	132	88
住宅延床面積(m²)	100	70	55	50	40	20
建設単価 万円/m²	6	5	6	5	4	4
住宅建設費(万円)	600	350	330	250	160	80
宅地・住宅費計(万円)	1,360	670	530	430	292	168
居住人員(人)	5	4	4	4	4	2
1人当り宅地・住宅費計 (万円/人)	272	143	133	108	76	84

注1) 金利、諸経費などをのぞく。
2) 数値は、平均値ではないが標準的なもの。実際には上下にかなりの幅がある。
3) 地価は、4万円/m²＝共通とした。

ダウンして抑制するしかないのである。

最近読んだ英国のテームズミードニュータウン計画のレポートで興味をもったのはつぎの点である。計画にあたってはまず，住宅や都市施設の水準をセットする。しかし，その水準を実現するためには，現在の予算ワクでは困難である。この場合，質を切り下げるのではなく，建設の期間をのばして質的水準を維持しようとする方策がとられたことである。960年代のわが国の大都市成長のスピードは，19世紀後半の英国の都市化のピーク時の数倍もの急激なものであるといわれる。したがって，もともと産業優先の地域政策のもとで，高度成長と安普請は必然的に結合せざるを得なかったのである。今日，わが国の大都市が当面しているのは，この安普請のいわばバラックスプロールのぼう大な蓄積であり，それがなお今日でも拡大生産されているという事態である。

人口の流入そのものを自治体が拒否することは，明らかに憲法違反となるが，人口増の原因となる企業の無政府的な大都市集中を立地税や開発規制でもってコントロールすることを飛躍的に強化すること，つまりは大都市における住宅や宅地の人口流入による需要そのものを抑制することは，もっとも根本的に必要な対策である。それでも，今後の大都市圏では1960年代に流入した人口の自然増と世帯分解，低質住宅からの住みかえ需要が急速増大しているのであるから，思いきった新規人口の抑制なくしてその全体の住宅と居住地水準の向上はあり得ないといえよう。

つぎに，現在の土地政策が住宅・居住地環境の悪化と歪曲のいまひとつの原因であることは，いまさらいうまでもない。本来，住民にとっては居住し利用するといった機能的存在である住宅・公共施設の建設のうちで，土地の占めるコストがいちじるしく高率になっている。利用の内容は上昇しないのに負担が重くなり，地価がさらに上昇すると利用価値がさらに割高になる。このコストは一部の地主，ことに近年は投機的な動きをみせている民間ディベロッパーに吸収されてゆき，それらによる市場支配を通じて，住民の住宅コスト・公共投資のコストは，その支払い限界まで釣り上げられている。その場合，公共投資のなかでも，道路や港湾などの産業基盤は地価にスライドして予算がつけられているのに反して，公営住宅・学校・都市公園などの生活施設では，実情とかけはなれた標準建設費や用地取得費の制度があって，地価が上昇すればするだけ自治体の持出し負担率は大幅に上昇せざるを得ない仕組みになっていて，地方財源の窮乏化とともに事業量の低下を必然化している。

このように，より高い住宅・居住地水準の目標を達成する基本的な必要条件は，まず大企業の無政府的な大都市集中と土地の投機的買占めを排除することにあり，これに成功しない限り，いかに住宅・居住地整備プロパーの方策に工夫をこらしても，目標達成は不可能であるといえよう。

5. シビルミニマム以前の住宅・街区環境整備

「明るく住みよいまちづくり」とか「緑と太陽と空間にあふれる工業都市」とかいった1960年の都市政策のスローガンが結果としてもたらしたものは，過密と公害の地獄都市であった。これに対して1968年以来，東京都やその他の革新自治体などでとり入れられてきた「シビルミニマム」方式は，①政策を具体的な目標としてあらわす，②目標達成のための手段で裏付ける，③ローリングシステムなどの方法によって，一定期間ごとに達成度をチェックして実施計画を練り直す，といったプログラムを与えた点で，行政計画の科学化に大きな前進を示したものと評価できる。しかしながら住宅と居住地環境についてみた場合，シビルミニマムがカバーしているのはさきにのべたCの都市環境にとどまり，Bの街区環境やAの住宅水準では，相もかわらぬ政府の住宅建設計画のローカル版を超えるものとはいいがたい。つまり，今日の都市政策のもとでは，革新自治体だけでなくすべての自治体で，A.住宅やB.街区環境は公共が責任をもつ行政対象とは考えられていないのである。事実，住宅と街区環境の整備は政府の持家主義イデオロギーと民間市場育成政策によって，階層的に分断されたまま，個人の負担のままに放置されている。その地域差・階層差があまりに大きいこと，さらに自治体がその最低水準を保障すべき制度や財源がほとんどないことからして，Cの都市環境行政では不十分ながら樹てられているシビルミニマムがAやBの住宅や街区レベルではまったく不可能であり，いわばシビルミニマム以前の状態におかれているといえよう。もちろん，公営住宅の建設計画や入居者選考方式の改善，住宅融資ワクの拡大，新規開発における規制などの努力が払われているとしても，それらが，全体の住宅・居住地水準の改善に対してどのように寄与貢献するのか，その位置づけは多くの場合不分明である。とにかく，シビルミニマム以前にある住宅・居住地の整備計画で必要なことは，現在の制度・財源の努力の最大限界を住民に明らかにすることからはじめることにあると思われる。

6. 宅地開発指導要綱の効果と問題点

大都市の周辺部にある人口急増地域の自治体では，4～5年前から宅地開発指導要綱による一定の民間開発のコントロールをはじめたところがふえている。この開発指導要綱の内容は，自治体によって差があるが概していえば，①宅造や道路やプレイロット・上水道・排水路などの最低水準の維持，②小学校・都市公園その他の公共施設に対する開発者負担の請求という2つの面をもっているといえよう。従来，わが国の宅地開発の主体をなしてきたものは区画整理であったが，公団・公営や供給公社の団地，さらには比較的大規模な民間ディベロッパーの進出によって，自治体の苦肉の自衛策として宅地開発指導要綱が出現したといえよう。これは，①の観点からみると，比較的まとまった土地を開発する大地主や民間ディベロッパーが中心をなしてきたアメリカなどで用いられてきた「宅地区画基準（Land Subdivision Codes）と同様の性質をもつものであり，大型ディベロッパー対策としては効果のある方式である。た

だ，わが国の場合，その内容規定はまだまだ貧弱であり，せいぜい宅地造成基準や道路基準にとどまっている。こんごは，住宅の密度や公共施設の配置・都市計画との適合性・下水処理など，より内容を高度なものへともってゆく必要があろう。府県レベルの都市計画との関係を気にする向きもあるが，むしろ，現行の都市計画ではカバーできない地区計画の先進部分としてこれを発展させるよう，都市計画の方からのバックアップこそ必要であると思われる。②の負担方式の問題については，公共施設を新たなる来住者に負担させるのは税金の二重取りであり，ただでさえ苦しい個人の住宅・宅地取得能力にブレーキをかけるのではないかという意見がある。本来的にいえば，自治体にそうした大型ディベロッパーの進出にともなう公共施設の整備能力がない場合，その開発は拒否して然るべきである。たとえば，英国の都市計画で行なっているように，ディベロッパーへ公共下水道への接続を義務づけ，公共下水道の整備がすすむまでそれがたとえ開発許容地域であっても開発を待機させるといった方式こそ，居住水準を維持するために必要なのである。しかし，わが国の急激な人口増加と公共施設予算の貧しさの相互関係からして，そうもばかりいっておれないから，止むを得ず開発を認めて，そのかわり公共施設の先行整備を義務づけるのは，自治体として当然なすべき対策である。しかし，最終的には公共施設負担が居住者の負担となることには問題があり，開発原価を据置いて，若干の利子負担を加えたコストで自治体が長期的にディベロッパーから買いとる方式の方がのぞましいと思われる。現在のように地価の上昇がいちじるしい場合は，やはり何としても先行整備を義務づける方式は，自治体・既住の住民・そして新しく来住する住民・またときにはディベロッパーからみても共通の同意が得られると思う。この方式で問題となるのは，小規模な開発の場合で，とくに文化住宅や木賃アパート，低質な建売住宅などの零細な住宅の場合であろう。この場合，①の点では，それらの小規模な開発が自治体都市計画，ことに先にのべた地区計画のなかで正しく位置づけられねばならない。幹線道路とゾーニングの今日の都市計画には，住民の居住生活にとって大切な地区計画が欠落しているが，自治体レベルでは独自に計画し，ディベロッパーにその立地と施設水準の維持を求めてゆかねばならない。②の点では，標準的な公共施設のコストの負担を個人にさせることは，もともと零細な宅地・住宅コストのなかでその比重をいちじるしく大きくし，その結果，宅地・住宅の購入者や借家人の負担率が高くなる。もし住居者負担能力が一定とすれば，宅地はより狭く住宅はより粗悪になるのが現状である。ここに宅地開発指導要綱の限界があらわれざるを得ない。自治体が「低質住宅お断り」政策をとることは，理論的には正当であり，その責任は政府にあることは明らかであるが，現実に閉め出された階層の住宅はいっそう高価で低質にならざるを得ない現状では，簡単に割り切れない気持がのこる。

一方，既成の市街地でも，近年マンション建設にともなう日照権その他の問題が生じている。現在はまだ散発的な発生にとどまっているが，これらは，将来急ピッチで増加してゆくであろう。いわば，バラ建ち再開発スプロールとなる公算が大であるから，すでに一部の自治体ではじめているように，個別再開発についても，再開発指導要綱をもってのぞむことが必要と思われる。

7. まちづくりプランと住民運動

現在のわが国の都市計画では，マスタープランと重要施設の計画，土地利用計画とはいえない地域・地区規制計画があるのみで，居住地ユニットや小学校・歩行者のネットワーク・子供のあそび場・日照権などは，何らの行政的保障も与えられていない。やがては，地区計画の制度を確立する必要があろうが，財源の保障もないままに安易にこれを全国一律の法制でもって拙速でやるよりも，まず各地区ごとに住民の力による「まちづくり運動」を実践していくことの方が大切である。今日の大都市の居住地では，地域差・階層差がいちじるしく，かつそこで生じている問題も多様である。標準的なものは，シビルミニマム方式でもってかさ上げすることは有効であるが，各地区では，①各問題相互のウェイトがことなること，②居住環境はたえず要素相互間のバランスを必要としていること，つまりは，地区ごとの総合性をもたねばならないこと，③住宅・居住地環境をかえる力は住民であり，それには現在の状態を住民自体がどう認識し要求を出し運動として発展させ自治体を変革するかを抜きにして政策の変換はあり得ないことからして，「まちづくり運動」のもつ今日的意義は大きい。まちづくり運動には3つの段階がある。①居住水準をこれ以上悪化させないこと，②居住水準を部分的に改善していくこと，③部分改善の限界に達した場合，それを全面的につくりかえることである。①は，現在のところ居住地の内部で生じるものよりも，外から持ち込まれるインパクトが多い。幹線道路・高速道路・新幹線などは，既存の地域社会を分断し沿道に公害や災害をふりまき，用地買収によって零細な権利者や借家人の生活条件をおびやかしているのが現実である。さらに，空港・コンビナート・発電所などの公害問題があり，民間ディベロッパーのビルによる日照問題・ボーリング場や風俗施設の立地などがある。これらが住民の居住水準を低下させるものであるかぎり，住民の反対運動やその拒否権には正当性がある。もともと既成市街地で，用地と築造・舗装などの直接コストだけで，幹線道路を建設しようとする点に間違いがあり，沿道の環境対策コストを道路コストのなかに完全にふくめることなくして，都市開発と環境保全のバランスはあり得ない。多くの場合，まちづくりは，こうした現行都市計画事業の否定からスタートするのは皮肉な現象である。②は，住民の生活要求を契機とするが，注目されるのは，①の運動を経過した地区の住民の間に地区の環境に対する認識と改善要求が発展しているケースの多いことである。つまり，現在の状勢のもとでは，反対運動という「住民参加」を基礎に「住民主体」のまちづくりがスタートするケースの多いことが注目されよう。子供のあそび場・交通規制・保育所づくり・排水の改善などの地道な努力がつづけられている。

今日のように住宅要求が持家主義イデオロギーで分断されている状況のもとでは，おそらく住宅政策に対する要求は，ひとつには一般世論の盛り上りによるにしても，いまひとつにはこうした各地域での地道なまちづくり運動をもとにした住宅整備や再開発要求の発展に注目する必要があろう。事実，①および②の運動プロセスのなかから，再開発や区画整理事業においても，借家人の居住権をまもる運動や公営住宅の建設やあっ旋を求める要求が高まり，実践されている例もみられる。

居住地環境改善計画は，こうした住民運動，さらには自治体運動にささえられ，政府の都市計画・住宅政策・地域政策・土地政策の変革を求める自治体要求としてまずスタートするものであろう。その発展の方向が，1990年になっても，大都市住民がなお文化住宅や木賃アパート，あるいは過密な2DKから脱却できないでいるか，あるいは，はじめにのべた住宅・居住地のより高い目標水準を達成し得るかの岐路になろう。

（みむら　ひろし　京都大学工学部助教授・都市計画）

「住民参加論」の諸相

広原盛明

1. 「住民参加論」の背景

全国津々浦々で嵐のようにまき起っている住民運動を前にして，いま，さまざまな「住民参加論」が登場してきている。国政，地方行政を問わず，保守・革新自治体の区別なく，政治家も官僚も学者もジャーナリストも一体となって「住民参加論」の大合唱が行われている。

「よらしむべし。知らしむべからず」——頭の先から爪先まで絶対主義的な発想でおしすすめられてきたこれまでの地域開発や都市開発は，ここ数年来，住民運動の猛烈な抵抗にあって，若干でも目先を変えなければ事業そのものを行うことが困難になってきた。事業を円滑にすすめるためには，政府や保守自治体といえども「住民参加論」を唱えなければならない。ここに「住民参加論」が体制側から大きくとりあげられる必然性がある。

第二に，革新自治体の拡大，発展にともなって，行政の側からも住民の側からも住民参加への要請がたかまっていることもあげなければならない。限られた地方行財政制度の枠内で，日ごとに高まっていく住民要求にいかに応えるかを考え，住民要求を阻んでいるものを明らかにし，要求実現のためにともにたたかうことをよびかける住民参加論の抬頭である。

現在，さまざまなかたちをとって登場してきている住民参加論は，基本的にはこの相異なるふたつの思想の対決にほかならない。それがどのような美辞麗句に飾られていようとも，究極的にはどちらの方向にむかうのか，すなわち住民自治の実質化に貢献するのか，それとも，よりたくみな資本や官僚による支配を強化するのかが，たえず問われなければならないのである。

本稿では主として都市の住環境形成に関連の深いいくつかの住民参加論をとりあげながら，それがいかなる脈絡のもとに主張されているかを検討してみよう。

2. 広報・公聴型の「住民参加論」

住民参加の第一歩は事実を「知る」ことからはじまる。広報・公聴活動が重視されるゆえんである。これは「知らしむべからず」的発想の転換として大いに評価しなければならない。だが問題は，どのような内容がどのような方法で知らされるのかということである。住環境形成の法的な裏づけとなる新都市計画法ではこの点がどのように規定されているであろうか。

新都市計画法の第16条「公聴会の開催等」，第17条「都市計画の案の縦覧等」，のいわゆる「住民参加条項」の作成にあたっては，建設省都市局はつぎのような堂々たる態度を表明している。

「都市計画は，直接に市民の権利義務に関することを定めるものであるので，都市計画の策定あるいは決定に当っては，充分一般住民の意見が反映されることが好ましいのはいうまでもない。都市計画における市民参加の仕組みは，国の政治的経済的社会的歴史的特殊性によって各国によって異っているが，特にアメリカでは公聴会等の市民参加の方式が極めて充分に採り入れられている。わが国においては，市民参加の方式については消極的に運用されてきたきらいがある。そこで，新法では，都道府県知事又は市町村が都市計画の案を作成する段階において必要があるときは，公聴会の開催等住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるとともに，都市計画を決定するときは，都市計画の案を2週間公衆の縦覧に供し，関係市町村の住民又は利害関係人は，意見書の提出をすることができることとし，都道府県知事が当該都市計画の案を都市計画地方審議会に付議するときは，提出された意見書の要旨も併せて提出することとしている。このように，新法は，公聴会，縦覧，意見書の処理を制度化したのであるが，この制度を活用して充分市民のための都市計画が円滑に推進されることが期待される（傍点筆者）[1]」。

これは，建設省都市局都市計画課編の都市計画法の解説であるから，一応，政府の公式の発言とみなしてよいであろう。大体，政府の考えている「住民参加」は，このような広報・公聴型である。

この政府の「住民参加論」が本物なのかどうか，それとも単なるタテマエにすぎず，別のところにホンネがあるのかをさぐるにはふたつの方法がある。ひとつは，関係者が発言しているあらゆる資料のなかから，本当のねらいが出ているところをさがし出すことである。もうひとつは，政府が高く評価し，これからお手本にしようとしているアメリカでの広報・公聴活動が本当に有効な住民参加の形態になっているかどうかを明らかにすることである。

まず第一の方法によれば，新都市計画法の立案に中心的な役割をはたした当時の都市計画課長・大塩洋一郎氏の著書「新訂都市計画法の要点」のなかに第16条，17条についてのつぎのような解説がある。

「両規定ともいずれも住民等の意見の反映を図ることが目的の規定であるとともに，従来，旧法下でとかく問題となったように，決定後または事業が着手される段階になって，住民から"知らなかった"とか"今始めて知った"などというような文句の出ないようにして事後の手続きの円滑化を図るためにも必要であるわけです（傍点筆者）[2]」。

まことに「要点」にふさわしい解説である。ここでは「住民参加条項」作成の目的が，実は「事後の手続きの円滑化」にあり，公聴会や縦覧はそのための住民に対する「事前の口封じ」の手段にすぎないことがはっきりと浮きぼりにされている。

ついでアメリカの広報・公聴型住民参加の実態の紹介に移ろう。すでに，マーチン・アンダーソンの「連邦政府ブルドーザー（邦訳『都市再開発対策——その批判と分析』・鹿島出版会）」に徹底的に批判されているように，アメリカの都市再開発は，一見民主的な住民参加の形式をとりながら，その実は，小市民から土地をとりあげ，黒人を中心とする低所得者層を一掃するきわめてフアッショ的な政策である。

このことは，都市再開発がどのようなプロセスを辿るのかを追ってみれば非常によく分る。

まず再開発事業のスタートに当っては，再開発組織として「再開発公社」がつくられるが，問題は最高執行機関である理事会の構成である。ちなみにピッツバーグ市の再開発公社の5人の理事の内訳は，USスチール前副社長，メロン銀行副頭取，市長，市議，市教育委員である[3]。この5人の下で専門スタッフやコンペによってプランがつくられるが，

理事会がどのような階級，階層の利益を代表しているか，その全権のもとでつくられるプランがどのような性格をもつかはいわずもがなであろう。

プランがきまれば，公聴会で住民の賛成を得るために広報活動が開始される。その内容が当局側の観点からのものになるのは当然である。"世論操作"や"世論誘導"と批判されるのも無理はない。提供される情報が住民にとって的確なものでなければ関心は高まらない。大規模な再開発事業が周囲で現在進行中で，しかも将来再開発事業が行われる予定の西フィラデルフィアにおいてさえ，5つの比較的貧しい近隣地区の住民の過半数が，再開発事業の内容を知らなかったという(4)。

いよいよ公聴会である。ボストン市では，1年間に200回以上の公聴会が開かれ，プランの改訂と住民の説得というフィードバックがくりかえされた。そしてある地区では，6,500人の住民のうち1,500人が最終の公聴会に出席し，反対はわずか4人であったという(5)。圧倒的な成功である。おそらくこのような事例が日本の政府の高く評価するところであるらしい。

だがここでわれわれが注意しなければならないのは，アメリカの公聴会のきわめて巧妙な仕掛のことである。公聴会ではプランの内容に関することが討議されるが，土地の買収の問題はいっさい含まれていない。したがって地主はプランそのものには「大変結構」ということで同意したけれども，いざ買収となった段階では2人の不動産鑑定人によってつけられた地価が余りにも低いのに驚き，抗議したり訴訟にもちこむことが多い。しかしその時はすでに遅く，土地が強制収容される比率は非常に高いという(6)。

このような"公聴会"に対しては，さすがに批判が高まってくるなかで，連邦政府は単なる公聴会だけではなく，「計画全般に亘る市民参加」を打ち出した。しかし，この場合の「市民参加」の実態は，地域の名士やボスを結集した「市民助言委員会」の組織化にすぎない。既存の地域組織を若干再編成したこの委員会は，一般市民の運動を分派活動として非難し，事実上，当局のプラン実施を側面から推進する"翼賛委員会"となっている(7)。

これが，「民主的」だといわれるアメリカの再開発の広報・公聴型「住民参加」の実態である。

3. 住民負担型の「住民参加論」

住民の意見をきくふりはするが，その実は当局の計画をたくみに実施していく——こんなやり方がだんだんむつかしくなってくると，住民要求はある程度受け入れるが，その代り費用や責任は住民にもってもらおうという「住民参加論」がでてくる。

これは，これまでも行財政の「合理化」のイデオロギーである「受益者負担論」「高福祉高負担論」が，「住民参加」という衣をまとってでてきたものにすぎない。

この種の主張は枚挙の暇もないが，代表的なものとして，経済企画庁国民生活審議会の答申「コミュニティ——生活の場における人間性の復活」，および，自民党の「都市政策大綱」をみれば充分である。

前者は，最近のコミュニティ・ブームの先がけとなったレポートであるが，コミュニティを「従来の古い地域共同体とは異なり，住民の自主性と責任制にもとずいて，多様化する各種の住民要求と創意を実現する集団」と住民の自主性を強調しながら，要求実現の方法については「コミュニティが十全に機能するためには，構成員が社会におけるルールを厳守することが要求される。権利の主張には責任が伴う。行政サービスについての要求には負担が伴う。構成員の自覚と責任において提出される要求は，それがいかなる方法で，いかなる負担を伴って実現されるものであるかという点についての認識が明確でなければならず，一方的な権利主張に終始する態度であってはならないのである（傍点筆者）(8)」と，たくみに行政の責任を住民に転嫁する。

自民党の「都市政策大綱」に至ってはもっと露骨である。「近代化された都市の利益を享受するものは，相応の対価を払わなければならない」として，「大都市では住民に多くの便益を与えるため，近代的な都市施設への巨大な投資を必要としている。しかし誰が費用を負担するかという資金調達の前提を無視しては，都市整備の対策が成り立ちえない。したがってその解決は税金によるか，公債に頼るか，公共料金をあげるか，あるいは公共事業を民間事業に移すかの方法しかない。この四つのいずれも欲しないという提案は，なすことなく過密を放置し，金でなく肉体で苦痛を支払うことになる(9)」と，まるで脅迫まがいである。そしてこの場合の「住民参加」とは，与えられた枠内で四つの方法のいずれを選ぶかという"不毛の選択"の強要にほかならない。

この住民負担型の「住民参加」についても，やはりアメリカではすでにいくつかの例がある。その代表例は，住民投票によって承認されたとするサンフランシスコ市の港湾高速鉄道（ＢＡＲＴ）の建設事業である。ＢＡＲＴ公社そのものは，1957年にカルフォルニヤ州議会で承認されていたが，1962年にサンフランシスコを中心とした7つの郡で，つぎのような前提条件のもとに住民投票が行われた。

まずＢＡＲＴ公社から住民に呈示した交通サービスは，

①各駅に駐車場をつくる，②ラッシュ時には90秒間隔で運転する，③車内はサロンのように快適にする，④鉄軌道は高速道路にそって建設する，⑤高架の下は公園にする，⑥身障者は車椅子で乗れるようにする，の6点であった。高速鉄道システムとしての内容は大変すぐれている。住民にとっては異論のあろうはずがない——と思われるだろう。

だが投票の結果，この建設事業に賛成したのは，サンフランシスコ・アラメダ・コントラコスタの3郡だけで，しかも，賛成投票数は必要賛成投票数をわずか1％を越える61％というギリギリのものであった。残りの4郡の住民はこれを否決したのである。

理由は，この高速鉄道の建設とひきかえに，従来5％だった取引高税が0.5％アップして5.5％にすること，さらに特別不動産税を新たに課税することが投票の前提条件となっていたからである。こうして，建設に賛成した3郡の住民は，約7億ドルに達する巨額の建設費を，新税と税率アップによって負担することとなった(10)。まさに「高福祉高負担」の「住民参加」である。

4. コミュニティ支配型の「住民参加論」

体制側の「住民参加論」のもっとも高度な形態は，コミュニティ支配型ともいうべき「住民参加論」である。このタイプは，もっとも高度で総合的な性格をもつだけに，広報・公聴型の要素も住民負担型の要素もあわせて含んでいる。しかし，第1，第2のタイプと異なる点は，この型の「住民参加論」の目的が，なによりも地域住民の政治的支配に重点がおかれていることであろう。

先にのべた国民生活審議会の答申では，コミュニティの役割のひとつに「住民要求統合の場」としての機能をあげ，そのねらいをつぎのようにのべている。

「生活の多様化・高度化に伴って，住民の間からは各種の不満や要求が生じてくる。住民相互間の対立もある。このような場合には，コミュニティは住民間の問題や要求を統合するための一つの場としての機能をもつ。コミュニティは住民から生ずる各種の不満と要求の間の利害を構成員の合意に基き合理的に調整する（傍点筆者）[11]」。

かつて，地域住民を土地にしばりつけることにより成立していた地主や小生産者層を頂点とする半封建的な地域支配機構は，いまや資本自らの運動法則によって大きく崩れ去ろうとしている。農村の過疎化，都市での激しい労働力流動化がいやおうなく，住民を地域からひきはなし，かつての支配機構に大きい裂れ目をつくっていく。これは体制側にとっては大変深刻な事態である。裂け目は縫わねばならないし，また「コミュニティ」という名の新しい袋として縫い直されねばならない。

地域にいまおこっているのは，地域としての問題なので，決して国の政策や政治からでてくるものではない。みんなが知恵を出しあって相談すれば必ずよい解決の方法が見つかる。そのためにはお互いに責任ある態度で，良識ある要求をまとめていこう――「コミュニティ主義」といわれるこのような主張は，住民の階層格差から必然的に生れる住民要求の質的なちがいを「統合」という名のもとに捨象して要求のエネルギーをうすめ，住民の対立の「合理的に調整」することによって，対立の原因となっている矛盾を覆いかくし，結果としては地域住民のかかえている問題を国家的レベルでの政治問題化していくことを極力おさえる反動的なイデオロギーとなっていく。つまり地域における階級的矛盾の激化を，「なかよしグループ」的な心理的共同体意識でもって防ごうとするのである。

かつて社会福祉活動や保健活動の技法として整備されてきたコミュニティ・オーガニゼーションは，いまや地域全般の行政システムのなかに採り入れられることによって，きわめてイデオロギー的色彩をおびた包括的な「住民参加論」として変貌をとげつつある。

5. 民主的地区分権型の住民参加論

体制側の「住民参加論」に対するアンチ・テーゼは，それではいったいどのような形態をもつべきであろうか。いま全国の革新自治体で模索されているさまざまな住民参加論をとりあげて整理し，評価しうるだけの資料が残念ながら私の手もとにはない。またわずかばかりの入手した資料も，いわば「机上プラン」の段階のものが多く，歴史的な検証に耐えたものが少ない。革新自治体が輩出してきたのがここ数年来であることを思えば，これも無理のないことだといわねばならないであろう。

いずれこの課題は近日中にはたさなければならないとしても，本稿では，筆者がごく最近訪れたすでに数十年近い歴史をもっているイタリアの革新都市・ボローニア市の民主的地区分権型ともいうべき住民参加論を紹介するにとどめたい。

1969年5月16日・17日，ボローニヤ市でひらかれた「都市の民主的地区分権に関する全国会議」の議事録によれば，民主的地区分権についてのつぎのような簡明なイントロダクションが付されている。

「地区分権の歴史をふりかえってみると，1955年にボローニヤ市に（地区分権の）委員会がつくられた時点に端を発し，1960年9月に民主的行政地区分権というテーマの下に（ボローニヤ市が）14地区に分割され，そこでの業務がとり行われる市民センターの必要性がとりあげられた。1963年3月には，各地区民主組織を委任される地区委員と市長補佐に関する規約が作成され，1964年4月には中心地区を除く地区に於て委員選挙と（市長）補佐指名が行われ，6月には任命式が行われた。

1967年2月には4名の中心地区委員が任命され，市は18区に分割された。地区分権は，管理行政機能の合理化のみならず，市民が自由に参加と使用し得る場所を作ることを意図したものであり，権限と責任の中央行政部から非行政管理者への分散の過程である。

また，前の経験から，行政管理地区分権が市民参加の一手段であることが証明され，地区が大きな役割を果していることが明らかにされた。地区分権は，スローガン，またはすべての病気を直す万能薬ではなく，市の文化（分化か？）からその重要性，存在意義が感じられて初めて真に民主的であり能力的なものとなる。またこの都市の地区分権は，（州の）地方分権という大きな拡がりをもち，それは，行政，権力における国家の再編成をうながすものである。そこにおいては，各個人が一個の市民としてだけではなく，社会の一員として，我々の社会を形成する一部として認められるであろう。地区分権を市の文化（？）および参加を効果的にするのは，余裕と柔軟性であり，殺すのは強制的規範であろう。（傍点，括弧内の書入れは筆者）[12]」。

人口約60万のボローニア市は，現在18の地区に分けられ，それぞれの地区には20人の地区評議員と1人の市長補佐，それに地区のオフィスに働く相当数の職員がいる。20人の地区評議員は，そこでの政党別得票率にしたがって比例配分され，各政党から提出されたリストに基づいて市議会で選出される。市長補佐は市長の推せんにもとづいて市議会が任命する。ボローニア市は革新政党が圧倒的多数を占めているが，市長補佐のなかには少数派であるキリスト教民主党員もいる。こうして，人口約3万人ぐらいの地区には，いわば小市議会と小市役所が出現したのである。

地区評議会のあつかう問題はきわめて多様な範囲に亘っている。しかもその問題は単にその地区でのことばかりでなく，ボローニア市全体にかかわる重要事項にもかかわっていることが特徴である。1964年から1969年にいたる地区分権のいわば第Ⅰ期ともいうべき時期においては，

地区評議会のおこなった主たる活動の内容はつぎのようなものである。

(1) 予算編成および予算執行の重要時期における監査，決算期における監査への討論，参加。

(2) 予算にくみこまれた地区の支出面の管理，変更。

(3) ボローニアの都市計画――①丘陵地の自然保護とレクリエーション開発，②歴史的中心地区の保全，③新副都心の建設に関する討論と参加。

(4) 生産活動，平和運動，その他。

1969年から現在にいたる第Ⅱ期は，あらゆるレベルにおける公共的権利の地区の自主管理をめざして，内容的にも，機構的にもいっそうの前進がもたらされつつある。

まず機構改革としては，地区評議会の職務を発展させるために，諮問委員会を各種の問題ごとに結成することが市議会で認められた。この委員会は，資料蒐集や情報提供の機能ばかりでなく，委員会により関心の深い多くの市民が参加することによって，市民参加の幅を拡げていくという目的も兼ねそなえている。1972年現在，この種の委員会に参加している市民の数は，ボローニア市全体で約2,000人に達するといわれている。

活動の内容に関しても画期的な前進がみられる。それは，地区を綜合的な行政の基本単位として実質化させようとするつぎのような数々のすぐれた試みである。

(1) 医療業務の革新のために，地区を新しい保健衛生単位として設定し，従来診療所がはたしてきた役割のほかに，予防医学および労働衛生学にかかわる問題ともとりくみ，地区の労働環境をあらゆる側面から改善していくこと。

(2) 学校教育の革新のため，これまでの教育機関との不断の接触に加えて，学校の場所選定，カリキュラム，給食等に関するすべての問題に地区の管轄権を強めていくこと。なおそのために，地区教育委員を任命し，対策にあたること。

(3) スポーツ，文化活動を発展させるため，既存の施設の効率的管理に加えて，空地利用，施設計画，運営資金の配慮などレクリエーション活動の積極的拡大にあたること。

(4) 市民生活をより近代的な共同体生活に発展させるため，各地区に管区長に率いられた管区警察を設け，違反防止と市民教育に従事させること。

(5) 多様な市民参加を保証する物理的空間，市民センターの計画に着手すること。

(6) 市役所の行政機構をいっそう市民生活に密着させるために，地区のオフィスを拡充させること。と同時に，市役所に電子計算機を導入して，ボローニア市全体としての行政資料の集中的管理を図ること。

以上が第Ⅱ期のそう大な方針であるが，ボローニア市議会は，いまやこのような方向がイタリアの地方自治体法第155条にもとづいて可能であるとの確信のもとに，イタリア政府に対して，市町村の民主的地区分権に関する支出を国が認めるようつよく要望している。

6. 住民参加とはなにか

この全国会議のあいさつに立った当時のボローニア市長，グイド・ファンティ氏（現在は新しく発足したエミリア・ロマーニア州知事）は，投票権を通してのみ表明される参加というものはきわめて不充分であり，ほとんど欺瞞に近いものであること，人民主権とは権力の行使を意味し，投票権の行使が重要なのは，それが権力の行使を可能にする場合だけであると，端的に住民参加の本質を語っている。そして，資本の無秩序は生産活動によってひき起される歪みを防止するためには，経済活動に対する介入，計画，立案を行う実質的な権利を自治体や住民が獲得することの今日的な重要さを強調し，この実質的権利なくしては，いかなる民主的地区分権も住民参加に対する提案も甘い夢に終るだろうと警告している。

つまり，住民参加とは人民主権への第一歩であり，権力行使の具体化にほかならない。したがって，グイド・ファンティ氏は，ボローニアでの民主的地区分権が，多様な市民の底辺からの直接参加を促したこと，市民生活と都市の社会業務についての自主的管理が可能となりつつあることを率直に評価しながらも，同時に，市町村，都市における民主的地区分権化の動向を国家的レベルまで拡大し，民主的参加の問題に対する国民の意識を高め，イタリアに真の経済的，政治的民主主義を獲得していく闘いに対して，この民主的地区分権が新しい力となって貢献しなければならないと強調するのである。

1971年，戦後制定された共和国憲法に規定されながら，保守党政府によってサボタージュされつづけてきた州政府が発足した。地方レベルでの分権が具体化しはじめたのである。そして，グイド・ファンティ氏は，新しくできた州知事の1人に選ばれた。

また，このような行政改革と平行して都市・市町村では，労働組合，革新政党，住民組織の日常生活レベルでの共闘も着実に発展している。ボローニア市には，地区分権にともなう市民センターの構想をまつまでもなく，すでに戦前の段階から，革新政党，労働組合，住民が金を出しあってつくった「カサ・デル・ポポーロ（人民の家）」があり，現在は18の地区のすべてに設けられている。

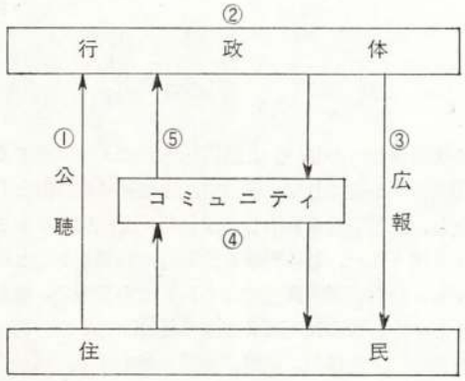
集会場，学習室，政党地区事務所，労働組合地区事務所，ビアホール，バー，玉つき場，柔道場などの設備をもった，名実ともに市民，労働者の憩の家である。夕食後三々五々集まってきた人たちは，ビールをのみ，玉つきで楽しみ，柔道で汗を流す。二階，三階では政治問題についての真剣な学習会が行われている。いわば，日常生活の原点と国家レベルの問題がここでは渾然一体として融合しているのである。

7. おわりに

国民生活審議会の答申は，「行政におけるフィードバック回路」として，住民参加の構図をつぎのように描いてみせた[13]。

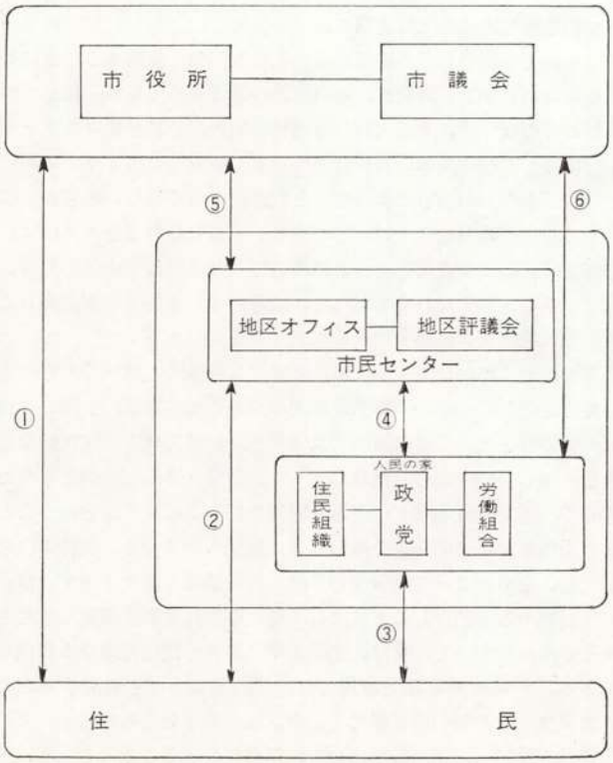
① 行政の内容を決めるにあたって，住民の意見や要望を吸収する（公聴）。

② これに基づいて行政の内容を決める（行政の対応）。
③ 行政の内容を広く住民に知らせて理解を求める（広報）。
④ 住民間の討議が行われる（コミュニティの発意）。
⑤ 再びその反響をつかむ（公聴）。



ここには現体制を全面的に肯定し，維持しようとする以上，行政技術としての住民参加はあるが，政治活動や労働運動は意識的に省かれている。またコミュニティはもともと「脱政治」「脱運動」の装置として生み出されてきた。

これに対して，民主的地区分権型の住民参加を実践しているボローニア市の構図をかけば，それはおよそつぎのようなことになるだろう。



① 市から直接に住民に対しての広報。住民から市や市議会に直接にあるいは市会議長を通しての要請。
② 地区評議会からの広報，討論会の開催。住民から地区評議会への要請，あるいは委員会参加。
③ 「人民の家」で三者の日常的交流。政党，労働組合，住民組織の主催する集会，学習会に住民の直接の参加。
④ 三者の協議事項の地区評議会への要請。地区評議会からの三者への諮問。
⑤ 市議会からの地区評議会への諮問。地区評議会での討議内容の報告，要請。市長と市長補佐会の会議。
⑥ 三者の上部団体を通しての市，市議会への要請。市，市議会幹部と三者の幹部の懇談。

国民生活審議会とボローニア市のいずれの住民参加が実質的であり，住民の要求に応えうるかは，今後，さらに検討が必要とされるが，その歴史的検証は，やがてまもなく日本の革新自治体の前進によって叶えられることであろう。

註（1）建設省都市局都市計画課編「都市計画法解説」全国加除法令出版 1970年　P.19.
（2）大塩洋一郎著「新訂都市計画法の要点」住宅新報社 1970年　P84～85.
（3）日本地域開発センター編「都市開発と民間企業――アメリカにおける実際例」至誠堂 1968年　P.61.
（4）本城和彦著「社会発展段階に応じた住宅地再開発のあり方――アメリカにおける再開発の研究」日本住宅公団計画部市街地住宅課 1967年　P.181.
（5）（6）日本地域開発センター編　前掲書　P.63.
（7）本城和彦著　前掲書　P.183.
（8）国民生活審議会編「人間環境整備への指針」大蔵省印刷局 1971年　P.100.
（9）自由民主党「都市政策大綱」1968年.
（10）1972航空宇宙ショー協議会編「トランスポ72ガイドブック」1972年　P.27～28.
（11）国民生活審議会編　前掲書　P.114.
（12）COMUNI E DECENTRAMENTO Atti del I Convegno nazionale sul decentramento democratico dei Comuni Bologne 16–17 maggio 1969. 神戸市企画局調査部訳「市政調査―海外文献シリーズ No.2」.1972年 P.5.
なお，ボローニア市の民主的地区分権の内容については，この会議録と自治体問題研究所の調査活動に負っている。
（13）国民生活審議会　前掲書　P.116.

（ひろはら　もりあき　京都府立大学助教授）

行財政制度のあり方

池上　惇

はじめに

現代社会において，住宅建設の費用を評価するばあい，つぎの二つのとらえ方がある。すなわち，

(1) 住宅費は憲法によって保障された国民の生存権の一部分であるから，低廉で，快適な居住条件をもつ住宅を政府は国民に提供する義務がある。

(2) 住宅費は労働力として企業などではたらく人々の生活費の一部分であるから，企業の成長を阻害しない範囲で企業や政府が負担し，のこりは，勤労者の自己負担とすべきであり，企業の成長を阻害してまで，企業や政府が負担すべきものではない。

いま，第一の立場を「国民の生存権」の立場からの住宅費のつかみ方，第二の立場を「企業の労働力管理政策」からみた住宅費のつかみ方として要約すると，それぞれの立場から，「のぞましい住環境」をつくるための「行財政制度」がありうることになる。日本の政府の立場は，戦後一貫して産業，企業優先であったので，その立場からする行財政制度は，政府と企業にとっての住宅費の負担を最小にし，住民負担の増大によって住宅関連企業――不動産，鉄鋼，セメント，建設，アルミ，プラスチック，ガス，水道，電気等々に市場と利潤を保障するような行財政制度であった。生存権保障の立場からする行財政制度は，この現行の制度の欠陥を是正する以外には具体的な手がかりはありえないのであるから，まず，「労働力管理政策の立場からみた住宅行財政の問題点」を考察しておこう。

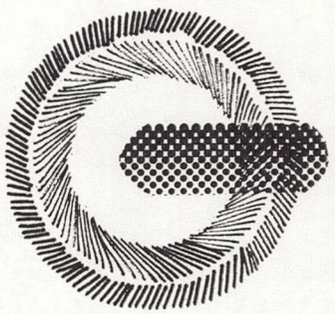
A．労働力管理政策の立場からみた住宅行財政

現行の政府の住宅政策の基本的特徴は，ほぼつぎの諸点に要約することができる。

第一は，資本蓄積と高度成長のために，産業基盤整備を優先し，住宅を中心とする生活基盤整備の政府負担費用を節約するという一般的傾向をもっていたということである。戦後日本経済は急速な都市化と人口の集中，住宅需要増大の一貫した傾向があったのにもかかわらず，政府施策住宅は，つねに供給過少であり，需要を大幅に下まわった。例えば，41年に政府が作成した住宅建設5カ年計画ですら，その計画数字そのもののなかで，公的資金による住宅建設事業量は全体計画の4割にすぎず，この供給不足状態のもとで，民間資本の投機的利得は大いに増大した。土地価格の高騰と土地投機は，住宅価格の水準を引きあげ，それによってますます公的住宅建設の足をひっぱることになった。「地価が高いから公営住宅の建設がむづかしい」と政府関係者はよく主張するが，これはまったく因果関係を逆にしているので，住宅供給を原則として政府の独占的事業とし，住宅不足を解消したならば，土地投機をおさえ，公営住宅のコストを低下させ，財政資金を効率的に利用することができるのである。しかも，公営の低家賃住宅はきわめてわずかで，融資，公団住宅が大半であるから，この傾向はますます促進される。

第二は，政府の住宅供給が，住民の生活水準を住宅の面から向上させるような「高い基準」の面積，規模，施設をもつのではなく，逆に，きわめて低い水準をつくりだす基盤づくりの役割をはたしていることである。先の「計画」でも，小世帯9畳，一般世帯12畳という低水準の「最低基準」を提起することによって，生活水準を低位に釘づけするテコとしているのであって，あたかも，生活保護などの水準を低位に引下げることによって，勤労者全体の賃金水準を引き下げるテコとするのと同じように，政府施策住宅の水準を引下げて，国民全体の住宅についての水準を引き下げている。これによって，住宅関連資本は，製品の規格化，粗悪で，危険な建材の大量生産の基礎を獲得し，しかも，民間のベースで劣悪な住宅を供給しても高価に販売しうる基盤を獲得することにならざるをえない。もし，政府が，高い水準の質と量を「基準」にして住宅建設にのぞむならば，その大量の需要は，質の高い製品のコスト・ダウンを可能にし，住宅全体の質の向上に重要な役割をはたすはずであるのに，低い「基準」の設定によって，それができなくなり，粗害かつ高価な住宅に対する需要をつくりだしている。不良な建材などについて，政府の施策は，単に検査などをつよめるというだけでは不十分であり，また克服できるはずもないのであって，政府のつくる住宅の質の高さこそかえって，社会全体の住宅の質を向上させるのである。

第三は，とくに，公営住宅における過少な供給を，低所得者むけ住宅として固定化し，一定の所得水準の上昇があれば，順次，公団，または持家へと移行させ，所得階層別による居住地の種別化と，住民の相互の競争を組織し，住宅費の負担増によって，生活水準向上ののぞみをたち切りつつ住宅関連資本などに市場と利潤を保障してゆく，ということである。所得格差と住宅格差を照応させ，貧乏人の住宅と，金持の住宅を種別化し，それによって競争をあふり，住宅需要を増大させて，供給側をもうけさせるというこの方式は，一見，低所得者層に低廉な住宅を供給するかにみせかけて，実は，生活水準の格差を固定化させる傾向をもっている。所得格差を住宅政策において，すこしでも解消するためには，本来ならば，低所得者層にも，中，高所得者層にも同じく，公的な住宅供給を保証し，利用料金の面で，累進制をとることによって，低所



得者層の負担軽減をはかるのが，当然であり，これによって，住民相互の生存競争を緩和すれば，住宅関連業者の投機と価格つりあげの余地はいちじるしく減少するにちがいない。ところが，住宅そのものの種別化によって，低所得者を特定の住宅にとじこめるならば，生存競争の刺激はつよまり，「脱出」のための住宅需要は増大するであろうし，また，生存競争から脱落させられた社会層のたえざる形成は，全体の住宅水準を引下げる効果をもつにちがいない。

以上，三つの問題点を (1)資本蓄積優先のための住宅費の節約，(2)低水準の「住」水準の設定，(3)住宅の種別化による生存競争の組織化，という形で要約するとすれば，これらはいずれも，労働力をよりすくない費用で効率よく管理し，住民がつねに生存競争におわれていて，文化水準をあげる余裕をうしない，政府の一方的統治には都合がよく，しかも，住宅関連産業に巨大な利潤と投機の機会をあたえるという性格をもっている。これらは「のぞましくない住環境」をつくりだすのであって，その社会的結果は，劣悪な質，差別的環境，そして，地価の高騰などによる生活関連施設の貧困，遠距離通勤等々をともなう。このような住宅施策を支える行財政制度は第一に，地方自治体の財政的貧困，住宅費の不足，国庫補助率の低さ，超過負担等々。

第二に，政府関連住宅金融機関の貸付基準があまりにも実情からはなれていて，土地の購入などは，ほとんど自己資金を準備せざるをえないこと。

第三に，これらの要因のさけがたい結果として，公団，供給公社など，独立採算的な資金の運用にもとづく機関に依存し，家賃や販売価格の高騰をもたらしてゆくこと，この形態がさらにすすめば，コミュニティ・ボンドなど，住民自身に出資させて，その資金を独立採算的に運用し，高いサービス料金で利用者から追加的負担金を支出させ，二重の負担を住民に要求する制度が登場する。

かくして，労働力管理政策の立場からみた住宅行財政は，中央集権的で，住民負担的で，かつ，独立採算的である，という傾向をもたざるをえないのである。これに対して，住民の生存権を守る，という立場にたつ行財政制度は，どのようなものとなるであろうか。

B．国民の生存権の立場からみた行財政制度

政府が，住民に対して生存競争の激化を促進するような行財政制度を採用するばあいには，住民の民主主義的統制力が行財政に及ばず，事実上の専決を許すという社会的結果が生まれる。この結果に対する住民側の民主主義的団結の第一歩は，住民の自治組織の結成と，地方自治体に対するはたらきかけとなるのは当然であるといえよう。問題を住宅建設に限定するならば，住民本位の都市計画などの要求と，例えば，住宅協同組合による（もちろん，民主主義的運営を前提とした上での）自主的計画との調整は，生存権にもとづく住環境づくりの出発点である。

現在の地方財政の貧困と，住民負担による住宅資金の積立て（最近の財産形成法による若干の免税措置もこの一環），独立採算制の強化という現実のもとで，まず一歩をふみだすには，住民自身による協同組合の結成と，地方自治体によるその援助がきわめて大きな意味をもたざるをえない。自己の零細資金を銀行などに預金し，高い金利で借り入れるという形ではなく，自治体が，公共用地の先行取得をおこなう前提のもとで，住宅協同組合を奨励し，これに財源をプラスして低家賃住宅をつくることは住宅政策変更の最低の条件であろう。このことは，都市銀行などの業務と競合するので，銀行側の抵抗は大きいと予想されるが，自治体が住民本位を標榜するならばまず通らねばならない関門であろう。

このつぎの段階でどうしても必要なことは，地方自治体の独自の財政力をつよめるために，交付税率を大幅に引き上げ，国庫補助率を引き上げ，超過負担を解消することである。この措置は，当然，地方自治体への大幅な権限の移譲をともなうから，中央政府官僚の抵抗ははげしいであろうが，これを抜きにしては，都市計画も，住宅の「基準」の上昇も，低家賃住宅の増加もあったものではないから，さけて通るわけにはゆかない。

さらに，この上で，住宅公団，政府の住宅金融など，政府が国民からあつめた零細資金に銀行からの借入金を加えて運用している機関の資金のうち，国民の零細資金をあつめた部分（郵便貯金，簡易保険，厚生年金など）については，各都道府県，市町村に住宅需要に比例して運用を委託する。そうすれば，各自治体は，低金利資金を手に入れることができて，低家賃住宅供給の新しい手段を手に入れることができるようになる。

住宅協同組合，一般財源，財政投融資資金のうち，金利の安い部分の三つを地方自治体が有効に結合して運用したならば，公営住宅の比重はふえ，民間資本の投機の余地はせばまり，財政資金の効率は加速度的に上昇し，住宅不足は解消の方向にむかう。だが，地方自治体への権限移譲は，資本蓄積優先の財政支出の多くを削減することなしには不可能なので，ここでも重大な困難が予想されよう。

いずれにしても，予算の貧困を差別的居住条件のテコとして運用し，資本蓄積と生存競争の組織化に従属する住宅行財政制度は，転機にあることは自明であり，真の福祉優先の住宅行財政は，協同組合と地方行財政制度の改革にその鍵をみいだすといって過言ではないと思われる。

（いけがみ　じゅん　京都大学助教授・経済学部）

コンクリートポンプの打設計画

三浦康夫

はじめに

ポンプ圧送によるコンクリートの打設は，ここ数年来急速に増加し，現在では超高層ビルやごく小規模な工事を除いて，ほとんどのコンクリートがポンプ工法によって施工されている。これはとりもなおさず，この工法が現場施工の合理化，工事費の低減，労務工数の節減，工期の短縮に役立つことにほかならない。しかしその反面，コンクリートポンプの普及があまりにも急速であったため，問題点も多く，今なお検討されている現状である。ここでは，コンクリートのポンプ工法に対する施工上の要点を中心に述べることにする。

コンクリートポンプ工法のメリット

(1) コストダウン

コンクリート打設費用の節減

メリットの第一は経済的な特長である。コンクリート打設のみに限って経済性を比較してみると，**表－1**に示すようにタワー工法に比して20～30%のコストダウンになる。

打設用機械設備の節減

従来は月2～3回のコンクリート打設のために，毎日使用しないコンクリートエレベータやカートなどの機械および電力を設備し，毎日損料（使用料）を支払い，保守点検をおこなっていた。また市街地ではコンクリートエレベータタワーのトラ綱の設置と保守に苦労していたが，これがすべて不要となり，またこれらの架払いに要する労務費を加えれば多くの費用を節減することができる。

打設用仮設機械の節減

広大なカート足場と，これに要する費用（損料，保守，労務）場所が大幅に節減される。

以上は現場に関してだけのメリットであるが，このほかこれらの打設用機械や資材の運搬費，およびこれらを総合的に保管する広大な用地ならびに保転，保管，修理等のための人件費を加味すれば多大のコストダウンが可能であり，近年の労務費の高騰を考えれば，コストの差はさらに大きくなる。

(2) 省力化

従来のタワー工法と比較して，コンクリート打設時の労務工数を少なくすることができるとともに，労務の常傭的使用といったメリットがある。すなわちコンクリートの打設日に限り大勢の労務者を移動させるロスを防ぐとともに，常傭労務者にある自己意識によって作業能率の向上，安全面での理解がより大きくなる。また労務者の絶対数が少ないことはそれだけ労務管理が徹底し，その管理面のコストダウンをもはかることができる。**表－2**はタワー工法とコンクリートポンプ工法の場合の労務工数を比較したものであるが，現場側で手配しなければならない労務者数は⅓程度となる。

(3) 工期の短縮

打設能率がよい

最近のコンクリートポンプは吐出量が多く，かつ，吐出圧が高いため，打設能力はタワーに比べて大きい。しかも，現場の条件が許すならば数台のコンクリートポンプを配置して，一度に大量のコンクリートを打設することができるので，工期の短縮に役立つ。タワー工法の場合では，タワーを設置することも容易ではないが，それに伴う労務者を多数動員しなければならず，現在のように労務者の質量が低下しているときには，これはきわめて困難である。**表－3**にコンクリートポンプ各機種の性能諸元を示す。

仮開口部が不要

工事現場の敷地に余裕がない場合には，建物内にコンクリートエレベー

表－1　コンクリート打ち費用の比較（建築雑誌　昭44.7　鳥田）
ただし，RC6階建，1階分のコンクリート量150㎥として

項目＼方式		タワー＋カート	ポンプ
一階層当り	機械損料	60,700	(経費手間とも)97,900
	荷上下し装置	17,400	16,000
	機材	12,100	5,000
	段取り用仮設	48,500	20,000
	仮設労務	44,550	13,000
	工事労務	84,000	50,400
	計	267,250	202,300
コンクリートm^3当り		1,770	1,360

表－2　タワーとポンプの労働力比較表（1日打設量　150㎥）
（コンクリートジャーナル　Vol. 5, No.12　鳥田）

ポンプ

ポンプ業者			現場側（編体業者）						総計（人）
オペレーター	ホース	小計	ホース口	バイブレーター	つき	叩き	ならし	小計	
1～2	3	4～5	1	1	3～4	2	2	9～10	13～15

タワー

ウインチ	ホッパー上	ホッパー下	カート	落し口	バイブレーター	つき	叩き	ならし	総計（人）
1	2	1	7～8	4	2	8～10	4	2	31～34

表－3　各機種の性能

名称	型式	最大吐出量（m^3/h）	最大水平輸送距離（m）	最大粗骨材の大きさ（mm）	輸送可能スランプ（cm）
トルクレット	PTC－35TP	30	280(100) 350(150)	40	5～22
		35	220(100) 270(150)		
	PTF－40TP	40	280(100) 350(150)		
スクイズクリート	PC－50	6	200	15	18～22
	PC－80	24	115	25	7～22
	PC－100	40	200	25	6～22
	PC－125	60	300	40	6～22
トムセン	620	45	300	40	5～23
	680	60	300	50	
シュビング	BP－30T	30	200(100) 280(125) 400(150)	30 40 50	5～22
	ダイヤクリート100	65	200(100) 280(125) 400(150)	30 40 50	5～22

注：（　）に示したのは輸送管の径（mm）

タを設置するが，この場合に生じる各階を貫通した床スラブの仮開口部（駄目穴）が不要となる。これは駄目穴仕舞の繁雑さを解消するだけでなく，工期の短縮，安全作業上からもメリットは大きい。

打設範囲の拡大

狭い敷地や細長い現場，アイランド工法の周辺部，独立基礎のようにある間隔をおいて構造物がある場合に，コンクリートエレベータタワーやカート足場が要らないので，比較的自由に移動してコンクリートを打設することができる。

安全作業の確保

コンクリートエレベータは工事機械のなかでももっとも危険な設備であり，またタワーのために仮開口部が生じたりするので，各種安全設備や危険防止の措置が講じられていたが，コンクリートポンプ工法では，これらが不要となり，現場の安全性が高くなる。

工事計画

工事計画の方針は，すべての工事における場合と同様に「良く，早く，安く，安全に」で要約される。ポンプ工法の場合に，これを具体化するにはポンプ工法の利点を伸ばし，問題点に対してその対策を講ずることにある。ここでは現場施工の立場から考察することにする。

圧送の連続性　ポンプ工法と他の方法（例えばタワー，カート方式）との大きな違いのひとつはコンクリート打設の連続性である。タワー方式の場合にはコンクリートは生コン車から荷卸しされて以後，受ホッパー，タワーバケット，フロアーホッパー，カートの各所で一時ストックされる。したがって各所のストック量が適宜あれば，これを逐次打込むことによって打設能率は維持できる。これに対してポンプ工法の場合は，コンクリートは連続的に輸送管内を流れるので，ポンプの停止は工事中断になり一度生じたロスタイムは回復できない。それのみか圧送を中断するとコンクリートの品質に変化をきたし，時には配管の閉塞などの事故を誘発することがある。これらの点からコンクリートポンプ工法での基方本針としては，ポンプの停止を極力少なくし，最短時間に最大量の圧送を可能にするような計画が必要である。

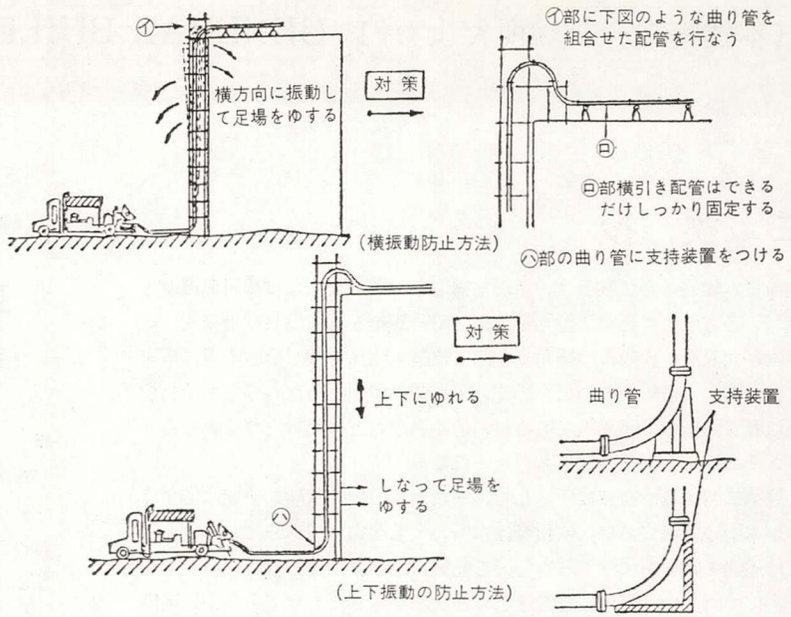
打ち込み区画　コンクリートの打ち込み区画は，一日の打設量と打設時間とから決定されるが，その他建物の形状，設計条件，工程，コンクリートの供給能力，搬送設備の能力，気象条件，労務事情，打ち込み後の仕上げ方法，施工管理能力などを総合的に考慮して定める必要がある。

打ち込み順序　ひとつの区画のコンクリートを打設する場合，全体のコンクリートの高さがほぼ水平になるように打ち込んでいく，いわゆるまわし打ちと，一回の打ち込み区画の片側から連続してその最上面までコンクリートを打ち上げていく片押し打ち込みとがあるが，いずれにしてもコンクリート供給場所のもっとも遠い個所から手前の方に向かって打ちすすむのが通例である。ポンプ工法の場合は片押し打ち込みとなることが多いので，それに応じた配管を計画する必要がある。

配管方法　圧送による輸送管の振動が大きいと，継手が損傷してペースト漏れが生じ，圧送効率が低下するので，なるべく振動が少なくなるよう輸送管を適当な方法で固定する必要がある。とくに輸送管を外部足場に取付ける場合，足場を通してその衝撃が型わくに伝わらないよう取付方法には注意が必要である。**図—1**は上向き垂直管の振動防止方法の一例を示したものである。

型わくの補強　コンクリートをポンプ打ちする場合は，打設速度が速く，その打ち込みは片押しとなるため，壁や柱にかかる側圧は局部的に増大するから，型わくをその側圧に耐えるよう設計しなければならない。時にはブレースやワイヤーなどで適当に補強することが必要である。**表—4**は型わくにかかるコンクリートの最大側圧を示したものである。

床スラブ筋の乱れ防止　コンクリートをポンプ工法で打設する場合，打設時にゴムホースを床スラブ筋の上に直接おいて，引ずったり振りまわしたりするので配筋の乱れがひどく，後にトラブル事故の原因になる場合が多い。床スラブ配筋の乱れ防止のためには，移動式の作業用通路を設けたり，輸送管をパイプうまなどによって直接スラブ筋に接しないよう配慮するとともに，作業者全員に対して，常に配筋の乱れによる構造体の不安全性を十分認識させ，絶えず注意を喚起するよう努めるべきである。



図—1　上向き垂直管の振動とその防止方法の一例

表—4　型わくにかかるコンクリートの最大側圧（(t/m²)（コンクリートポンプ指針案）

部位 ＼ 打込み速さ (m/h) ＼ h の範囲(m)		10 以下		10をこえ20以下		20をこえる
		1.5 未満	1.5 以 上	2.5 未満	2.5 以 上	—
独立柱		ρh	$1.5\rho+0.9\rho(h-1.5)$	ρh	ρh	ρh
壁付柱			$1.5\rho+0.8\rho(h-1.5)$		$2.5\rho+0.9\rho(h-2.5)$	
壁	長さ3m 以下		$1.5\rho+0.7\rho(h-1.5)$		$2.5\rho+0.8\rho(h-2.5)$	
	長さ3mをこえる		1.5ρ		2.5ρ	

注：ρ＝コンクリートの単位容積重量（t／m³）　h＝はり下までの型わくの高さ(m)

おわりに

コンクリートの品質は，構造体と打ち込みの条件によって定められるべきものであって，運搬手段のためにその調合を変えてはならないのが施工計画の原則である。建築工事では鉄筋の過密配筋や薄い壁体が多いことなどから，流動性の大きいコンクリートが要求され，軟練りコンクリートとすることが多いが，ポンプ工法になってからその傾向はとくに著しい。また軽量コンクリートや高所圧送の場合には，さらに軟練りとすることが多く，材料の分離，品質管理の困難さ，コールドジョイントの生成，乾燥収縮によるきれつの発生，および床スラブのたわみ障害などの原因となる。そこでコンクリートポンプ工法による場合のコンクリートの調合設計，施工の指針を確立する意味で，日本建築学会では研究委員会を設けて種々の検討を重ね「コンクリートポンプ工法施工指針」案が作成されている。

それにつけても生コンやコンクリートポンプによる施工の普及によって，コンクリートの製造や打設が容易になったため，最近ではコンクリートに対する施工技術者の関心が次第にうすれてきている。しかし，いかにして目的とする良いコンクリートをつくるかは，施工技術者に課せられた重要な職務のひとつであることを常に銘記すべきである。

引用ならびに参考文献

1）日本建築学会「コンクリート工法施工指針」案　コンクリートポンプ工法小委員会　昭46. 3
2）烏田ほか「ポンプクリート」技術書院　昭45. 9
3）亀田編「コンクリートポンプを中心とした建築の省力化工法」近代図書株式会社　昭45. 7
4）セメント協会「コンクリート講演会テキスト」　昭46. 9

（みうら　やすお　KK大林組本店工務部技術課）

ご 挨 拶

坂 静雄

当日本建築総合試験所は，新規な構造や材料の公正な試験研究機関として，各方面のご要望に応えるため，昭和39年5月に設立認可を受け，国庫，大阪府，大阪市の補助金と関西建築六団体をはじめ産業界に所属する企業から寄附金をいただいて，昭和42年に開所したものである。現在建設省所管の財団法人であるが，近く通産省との共管となる動きもあり，その暁には業務の拡張も考えられる。

建築に関する総合試験所として，一般からの依頼試験，研究に応ずるのが本所の業務であり，依頼者は本所の大切な顧客であって，本所としては迅速・親切をモットーとしてご要望に添うよう努力している。業務内容については，今後本誌を通じて逐次紹介するつもりであるが，案内パンフレットの用意もあるから，ご入用の向きは直接お申付け下さい。

本所の最近3年間の受注金額および現在の人員は左の表のようになっている。

年 度	金 額(円)	期末人員(名)
昭和44年度	77,326,100	33
昭和45年度	86,598,870	42
昭和46年度	104,160,723	48

事業量の増加と新しい要望に備えるため，当所は第2期整備計画を実施中である。その資金は大阪府および大阪市の補助金，関連産業からの寄附金および手持資金によっている。主なる用途は，創建当初からの懸案となっていた1,000t構造物試験機の設置とこれに伴う大型実験室の拡張，大型壁の耐火試験炉の設置，および音響と熱関係の実験設備の新設とその方面の研究室の新設であって，前二者はすでに完成，顧客のご要望に応えている。熱と音響関係は8月末工事完了の予定である。（本所所長）

ニュース

構造審査委員会発足す

依頼者の申し込みに応じて，これから新築しようとする建築に関する部材および構造等の安全性を調査・審議し，その適否を審査することを目的として，構造審査委員会が昭和47年4月15日に発足し，建築行政面に協力することとなった。構成メンバーはつぎの通りである。

五十嵐 定 義	阪大教授	鈴 木 計 夫	阪大助教授
石 崎 滌 雄	京大教授	日 置 興一郎	大市大教授
奥 島 正 一	阪大教授	山 肩 邦 男	関大教授
鬼 武 信 夫	大市大教授	山 田 稔	神大教授
貝 戸 俊 一	大阪市役所	六 車 熙	京大教授
金 多 潔	京大教授	横 尾 義 貫	京大教授
川 村 政 美	日建設計	若 林 実	京大教授
堯 天 義 久	神大教授	鷲 尾 健 三	明石高専校長
小 堀 鐸 二	京大教授		

試験装置紹介・その1

1000トン大型構造物圧縮・曲げ試験機

概 要

本試験機は，大型建築構造部材またはエレメントの強度試験をおこなうものであり，圧縮および曲げ試験に用いる。溶接構造の強固なベッド上面を床面とする本試験機は，床上9.0m，床下3.7m，全機高12.7mを有し，油圧ポンプの駆動によって最大加力1,000トンの加圧能力をもつ。また，移動クロスヘッドは径300mmの2本のねじ柱(間隔2.3m)の回転によって移動するが，その移動により上下の耐圧盤距離を0～6,250mmまでとすることができる。

曲げスパンについては，ベッドに設置されたレール上を移動する2台の車輪付き支持台によって，8mまでのスパン長さをとることができるが，供試体を機外で支持し，試験機自重150トンを死荷重として利用すれば，スパン30mまでの曲げ試験が屋内で可能である。なお，この場合の全荷重は支持床の都合もあって100トンまでである。

また，本機は特殊載荷として，

(1) 一定荷重（歪）保持試験
(2) 荷重（歪）速度一定の負荷試験
(3) 低速繰り返し荷重（歪）試験

を自動制御装置によっておこなうことができるが，繰り返し荷重の場合，その波形はSine波，台形波，または三角波を任意にとりだすことができる。以下，本試験機諸元ならびに外観を示す。

諸 元

最大荷重	1,000ton
ラムストローク	600mm
上下耐圧盤距離	0～6,250mm
耐圧盤 上用	1,200mm ×1,200mm（球面座付）
下用	1,200mm ×1,200mm（固定，傾斜調整付）
曲げ支点スパン	8,000mm以内
有効支柱間距離	2,000mm
床上機高	9,000mm
最大秤量	1,000ton
変更可能秤量	1,000・500・200 100・50ton



1,000t大型構造物圧縮曲げ試験機（コンクリートパイルテスト中）



各種試験お問合せ

本試験所：〒565 吹田市藤白台5丁目125 電話／千里局（068）72—0391代表

耐火・防火部門	（壁・柱・床などの耐火試験，内装材料の難燃性試験，構造物の防火性能試験など）	正法院 陽三 藤川 慧
構造物部門	（梁・床版など大型構造部材や架構の実大試験・模型試験，パネル強度試験，材料の動弾性係数測定，建物の診断など）	古村 福次郎 大井 孝和 富田 幸次郎
工事用材料部門	（各種材料の強度試験，耐候性試験など）	安沢 俊二
音響・熱部門	（音の透過損失，吸音率，熱伝導，熱貫流試験など）	十倉 毅

大淀分室：〒531 大阪市大淀区長柄西通2丁目35 電話／大阪（06）351—7217

工事用材料部門	（コンクリートおよび鋼材の圧縮，引張試験など）	田中 芳松

日本建築協会

月間の動き

昭和47年6・7月分

6月分

通常総会

21日　5時20分～5時40分　於会館集会室
出席者　塚本会長ほか17名
議事(1)昭和46年度事業報告承認の件
(2)昭和46年度収支決算報告承認の件
(3)昭和47年度収支予算承認の件

定時評議員会

21日　4時40分～5時20分　於会館集会室
出席者　星副議長ほか20名
委任状　61名　　計82名
議事(1)昭和46年度事業報告承認の件
(2)昭和46年度収支決算報告承認の件

理事会

21日　3時半～4時半　於会館集会室
出席者　塚本，福田正副会長ほか14理事
井手京都支部長
議事(1)建築工事実務講習会開催の件
(2)日本建築総合試験所理事推せんの件
(3)事務局職員上期賞与支給の件
(4)都市災害問題シンポジウム開催の件
(5)建築技術講座「建築の風力系数」開催の件
(6)前参与岩崎甚太郎氏に記念料贈呈の件
(7)7月定例理事会休会の件
(8)入退会者承認の件
(9)報告事項

事業委員会

見学会小委員会
1日　6時～7時　於会館3階会議室
出席者　堤副委員長，荒川幹事ほか4名
議事(1)5月に実施した見学会の報告
(2)6月～8月の見学会企画について
(3)9月以降の見学会企画について
(4)そのほか

若い会員の集い小委員会
1日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　柳副委員長，奥尾，佐々木，西村
幹事ほか6名
議事(1)航空機製造工程（川重岐阜工場）をみる会の事業企画について
(2)古い民家集落を訪ねる会の事業企画について
(3)懇親スポーツの会事業企画について
(4)建築家に話をきく会事業企画について
(5)女性委員の委嘱について
(6)そのほか

広報小委員会
7日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　三品副委員長，小泉幹事ほか6名
議事(1)本年度第2回展示写真の実施報告
(2)本年度第3回展示写真の実施企画について
(3)本年度の説明会の実施企画について
(4)会員の余技展実施企画について

委員会
8日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　大橋副委員長，小泉，岩永，奥尾
佐々木，西村幹事
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)6月以降の事業企画について
(3)そのほか

若い会員の集い
「ふるいまちとあたらしいまちシリーズ(4)」
―伊根浦：舟屋のある集落・祭を訪ねての現地調査
10日　9時半～午後9時半
出席者　中田，森下，中村委員
実施の行程によってそれぞれ調査をし，伊根町須川教育長には企画の協力を全面的に得ることとなった。

若い会員の集い小委員会
29日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　柳副委員長，佐々木，西村幹事ほか12名
議事(1)第3回，第4回の事業と企画について
(2)女性委員の委嘱について
(3)競技設計・海外視察分科会について
(4)第5回以降の企画について
(6)雑誌合併号に伴う会告の取扱いについて

教育委員会

都市災害問題シンポジウム企画打合会
2日　正午～2時　於会館集会室
出席者　恩田氏ほか1名
山地副委員長ほか4名
議事　都市災害問題研究討論の講師，テストなどについて

建築基礎工法講習会打合会
9日　10時～12時半　於会館集館室
出席者　稲村東北地建計画課長ほか1名，多々見編集幹事
議事　仙台会場での講習会実施について詳細打合せ

都市災害問題シンポジウム打合会
12日　正午～2時　於会館集会室
出席者　講師　近藤達夫氏，岡田光正氏，富安秀雄氏
委員会　山地副委員長，上田幹事ほか2名
議事(1)講師の説明課題と内容について
(2)討論会の方法・資料について
(3)そのほか

工高生デザインコンクール募集規定打合会
15日　正午～2時半　於会館集会室
出席者　今西審査委員長ほか5審査員，谷口，斉藤正副委員長，上野幹事ほか3名
議事(1)設計課題について
(2)募集趣旨・要項など募集規定について

24日　2時～4時半　於会館集会室
出席者　斉藤副委員長，上野幹事
議事　募集趣旨，設計要項の修正について

都市災害問題シンポジウム打合会
27日　正午～2時　於会館集会室
出席者　パネリスト信濃小路，田中，古野，栂井（恩田代理）各氏，山地副委員長，上田幹事ほか1名
議事(1)パネリストの意見開陳について
(2)パネルディスカッションの方法について
(3)そのほか

建築基礎工法講習会打合会
29日　4時～6時　於会館集会室
出席者　山肩編集委員長，宮川，多々見幹事
議事(1)開催予定都市・開催時期・予定受講者について
(2)講師と科目について
(3)共催団体と経費（受講料）について
(4)そのほか

住宅委員会

住宅展小委員会
5日　正午～2時　於会館集会室
出席者　坂倉副委員長ほか3名
議事　住宅展の諸準備について

住宅資料小委員会
6日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　高野副委員長ほか5名
議事　住宅展の資料作成について

委員会
14日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　小西委員長，奥山，坂倉，吉岡各副委員長ほか11名
議事(1)よろず相談住宅展に関する件
(2)そのほか

住宅展出展業者打合会
15日　2時～4時　於阪神百貨店
出席者　協会側　小西委員長ほか8名
出展業者 50名　阪神百貨店　3名
日東建装　3名
議事(1)小間の抽せん
(2)出展に関する打合事項

阪神百貨店住宅展関係者との打合懇親会
15日　6時～8時　於みやけ
出席者　阪神百貨店側　5名
協会側　7名

住宅展小委員会
26日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　坂倉副委員長ほか6名
議事(1)よろず相談住宅展の諸準備
(2)そのほか

建築データシート委員会

企画分科会

7日　正午～2時　於会館集会室
出席者　伊藤幹事ほか3名
議事(1)担当委員の作業項目案の検討について
(2)本委員会に提案する事項について
(3)そのほか

Dグループ打合会

14日　6時～8時　於会館集会室
出席者　正法院主査ほか2名
議事(1)防火耐火工事の各分類別の編集案について
(2)防火材料のサンプルシートについて
(3)防火耐火工事の全般企画について

委員会と委員懇親会

21日　6時～8時半　於なかいわ
出席者　井上，真塚正副委員長，伊藤幹事ほか11名
議事(1)№38（Cグループ担当）データシートの発行企画について
(2)Y防火耐火工事の編集企画について
(3)企画分科会の報告について
(4)原稿調整担当委員について
(5)新規掲載リストの作成について
(6)そのほか
委員会終了後同所において懇親会を開催した

編集委員会

作品作風7月号担当小委員会

5日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　池田委員ほか3名
議事(1)7月号作品決定
(2)7月号海外写真選定

編集常任幹事会

8日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　彦谷委員長ほか5名
議事(1)10月号の特集テーマの選定
(2)11月号以降の特集テーマの選定と今後のあり方
(3)そのほか

委員会

12日　4時～6時　於会館集会室
出席者　彦谷委員長ほか17名
議事(1)7月号＝一般号経過報告
(2)8月号＝都市住環境へのアプローチ特集報告
(3)9月号＝都市防災特集幹事会案報告
(4)10月号以降の特集テーマの企画
第2回常任幹事会案をもとに
(5)シリーズもの報告
(6)そのほか

作品作風小委員会

12日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　口羽委員ほか4名
議事　8月号作品選定

8月号共同討議

13日　6時～9時　於会館集会室
出席者　松原幹事ほか5名
議事　8月号原稿作成

作品作風担当小委員会

19日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　中山主査ほか2名
議事　8月号作品決定

8月号共同討議

20日　6時～9時　於会館集会室
出席者　松原幹事ほか6名
議事　8月号原稿作成

編集共同討議

27日　6時～9時　於会館集会室
出席者　松原幹事ほか8名
議事　「都市住環境へのアプローチ」特集割付け

見学会

信楽の近江化学陶器（株）のタイル工場見学と新製品の品評会
（本会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部共催）
3日　1時半～6時
参加者　42名

堂島関電ビルディング建設工事の見学会
（本会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部共催）
9日　3時～5時
参加者　30名
設計・施工　株式会社　大林組

繊維壁材製造工場見学会（建材委員会）
23日　1時～6時
参加者　15名

名古屋市民会館新築工事並びに熱田神宮会館その他の見学会
（東海支部と共催）
24日　1時10分～5時10分
参加者　27名
名古屋市民会館
設計　基本設計　㈱日建設計
設　備　㈱山下寿郎設計事務所
監理　名古屋市建築局
施工　㈱大林組
熱田神宮会館
設計・施工　㈱竹中工務店

講習会

第25回建築工事実務講習会
28日～7月4日（除日曜　6日間）
於大阪科学技術センター8階大ホール
各日　午前9時～午後5時
聴講者　245名

28日
建築工事の着工から竣工までの業務総論
大阪府　中居誠之助氏
材料の検収とその管理
鴻池組　中藤　修氏
労務管理と安全管理
鹿島建設　岸田　成計氏

29日
施工計画
大成建設　梅原　洋一氏
石工事，タイル工事，ブロック工事
藤木工務店　西山　長司氏

30日
鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事
清水建設　井手　孟雄氏
工事機械と工器具類
大林組　木下　幸一氏

7月1日
設備工事
竹中工務店　佐藤　秀久氏
防水工事，左官工事，塗装工事
銭高組　塩脇　昭司氏

3日
仮設物と仮設材料
松村組　相馬　恒雄氏
基礎・地業工事
竹中工務店　滝川　昌宏氏
現場に関する諸法規とその手続
大成設設　鈴木安太郎氏

4日
現場製図
大林組　越本　昌弘氏
積算・木工事・屋根工事・サッシュ工事ほか
鹿島建設　徳永　義文氏

会勢委員会

建築クラブ小委員会

2日　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　小林清，小川，尾亀，野中，星各委員
議事(1)建築クラブ団体会員の勧誘について
(2)第1回朝食会の準備について
(3)そのほか

建築クラブ運営委員会

19日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　小川，尾亀，小林四，畠中，星各委員
議事(1)朝食会の講師並びに謝礼について
(2)そのほか

3会事業委員長打合会

22日　正午～2時　於会館集会室
出席者　松村学会委員長ほか5名
議事　7月以降の共催事業について協議

建築5団体会長会

12日　5時半～8時　於東京菊亭
本会より福田副会長出席

建築クラブ朝食会

13日　8時～9時半　於新大阪ホテル
建築クラブの発会式を兼ね第1回朝食会を開催し，代表者並びに運営委員7名の選出を行った。
出席者　53名

7月分

理　事　会

編集理事会

18日　3時～4時　於大阪ガスビル
出席者　横尾，福田副会長，彦谷編集委員長ほか4理事
議事(1)「建築と社会」合併号に関する件
(2)そのほか

理事，常設委員会正副委員長懇談会

18日　4時～6時　於大阪ガスビル
出席者　塚本，横尾，松村，福田正副会長ほか理事12名　常設委員会副委員長9名　小川，星評議員会正副議長
「建築と社会」合併号はじめ協会事業全般について懇談

住　宅　委　員　会

住宅展打合会

3日　2時～4時　於会館3階会議室
出席者　坂倉，湯浅，村岡各氏
議事　第9回「よろず相談住宅展」最終打合

委　員　会

19日　5時半～7時　於なかいわ
出席者　小西委員長ほか11名
議事(1)よろず相談住宅展の報告及び懇談
(2)住宅展慰労会について
(3)そのほか

事　業　委　員　会

広報小委員会

5日　6時～7時半　於会館会議室
出席者　三品副委員長，小泉，木地幹事ほか7名
議事(1)第3回展示写真の実施企画について
(2)防水，防火関係の説明会開催企画について
(3)会員の余技展実施企画について
(4)建築技術者のための「千日デパート火災に学ぶ」報告会共催について
(5)そのほか

若い会員の集い小委員会競技設計分科会

5日　6時～8時半　於会館3階会議室
出席者　高木主査ほか5名
議事(1)競技設計の目的について
(2)設計課題について
(3)そのほか

見学会小委員会

10日　6時～7時半　於会館3階会議室
出席者　堤副委員長ほか4名
議事(1)6月に実施した見学会の報告
(2)7月～9月の見学会企画について
(3)10月以降の見学会企画について
(4)そのほか

委　員　会

13日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　北垣，三品正副委員長ほか2名
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)8月以降の事業企画について
(3)そのほか

若い会員の集い小委員会海外視察分科会

17日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　ゲスト　南上晃，岡本交通公社，藤縄主査ほか7名
議事(1)海外視察の目的について
(2)企画内容・時期について
(3)こんごの分科会運営などについて

第2回若い会員の集い
「航空機の製造工程をみる会」（川崎重工業（株）岐阜工場）

22日　9時～午後7時半
参加者　36名

展示写真打合会

24日　11時～正午　於会館3階会議室
出席者　三品副委員長，木地幹事，西村氏（阪急）ほか1名　京阪交通社2名
第3回展示写真のレイアウトその他打合せ

若い会員の集い小委員会・委員懇親会

27日　6時～9時　於広田家
出席者　ゲスト　上田稔，柳副委員長，岩永ほか3幹事，委員11名
議事(1)競技設計・海外視察分科会の報告と提案について
(2)第4回以降の事業企画について
議事終了後同所において懇親会開催

建築データシート委員会

Cグループ打合会

6日　正午～2時　於会館集会室
出席者　岡田主査ほか2委員
議事　No.38の原稿調整について

Bグループ打合会

7日　6時～8時　於会館集会室
出席者　小笠原主査ほか3名
議事(1)Bグループの作業内容と出版企画について
(2)各工事別原稿担当委員の決定について
(3)Bグループの運営について
(4)そのほか

Dグループ打合会

10日　6時～8時　於会館集会室
出席者　正法院主査ほか1名
議事(1)耐火構造のサンプルシートについて
(2)防火構造の編集（案）について
(3)防火戸のサンプルシートについて
(4)防災部品その他の編集（案）について
(5)防火材料の企業決定について
(6)そのほか

企画分科会

11日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　伊藤幹事ほか2名
議事(1)高層住宅の工業化工法の原稿について
(2)担当委員の作業内容と提案について
(3)新規掲載リストの作成について
(4)そのほか

委　員　会

19日　6時～8時　於会館集会室
出席者　井上，真塚正副委員長ほか9名
議事(1)理事・委員会正副委員長懇談会の報告について
(2)各編集分科会のグループ別報告と提案について
(3)No.39（1月号）No.40（4月号）の企画について
(4)企画分科会の報告と提案について
(5)そのほか

編　集　委　員　会

委　員　会

10日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　福田副会長，彦谷委員長，山田勝尾亀，今元(代理)各理事ほか10名
議事(1)緊急処置・合併号に関する件
(2)9月号＝都市住環境へのアプローチ特集―8月号企画を9月号とする―
(3)10月号＝都市防災特集―9月号企画を10月号とする―
(4)11月号＝第19回青年技術者特集の件
(5)12月号以降の企画―
(6)そのほか　シリーズもの報告

作品作風小委員会

10日　6時～8時半　於会館編集室
出席者　中山主査ほか8名
議事(1)10月号作品討議
(2)9月号海外写真決定

27日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　中山主査ほか4名
議事(1)10月号作品決定
(2)11月号作品選定
(3)12月号作品企画

教　育　委　員　会

都市災害問題シンポジウム打合会

10日　正午～2時　於会館集会室
出席者　上田幹事ほか2名
議事　当日の進行および記録について

都市災害問題シンポジウム記録打合会

24日　正午～2時　於会館集会室
出席者　山地副委員長，上田幹事ほか1名
議事(1)記録を基礎に3頁の内容で掲載することになった
(2)編集よりの要望の2頁が1頁増になったので広告を1頁特別に掲載することに協力することにした。

法　規　委　員　会

委　員　会

19日　3時～5時
於大阪科学技術センター
出席者　福田委員長ほか20名
（建築8団体　計94名）
講師　大阪府土木部　山本　勝氏
大阪市総合計画局都市計画部　上田　隆夫氏

大阪府・大阪市における新用途地域（案）についての説明懇談（建築8団体主催による）

建材委員会

26日　3時～5時　於OMMビル
出席者　堀内，山田正副委員長ほか11名
東洋リノリューム3名
議事　カーペットについて

見学会

宇治の黄檗山万福寺の参拝と重文ならびに新築建造物の見学会
15日　2時～5時半
参加者　42名

よろず相談住宅展

会　期　**6日～11日（6日間）**
場　所　阪神百貨店8階催場
入場者　42,084人
相談件数　約1,300件

都市災害問題シンポジウム

12日　1時半～4時半　於日経ホール
参加者　101名
講　師
・都市計画と防災
大阪市総合計画局企画第2課長　近藤　達夫氏
・都市と災害
大阪大学工学部教授・工博　岡田　光正氏
・都市と安全な暮し
市浦都市開発コンサルタンツ大阪出張所長
富安　秀雄氏
・パネリスト
大阪市消防局防災設備課長　恩田　一則氏
大阪府建築指導課長　信濃小路正氏
日建設計大阪事務所開発計画部長
田中　孝男氏
毎日新聞社社会部記者　古野　喜政氏

建築の技術講座

建築の風力係数（基本事項から超高層建築）
17日　2時半～5時
於大阪科学技術センター
聴講者　105名
講　師
京都大学防災研究所教授工学博士
石崎　澁雄氏

会勢委員会

建築クラブ朝食会
11日　8時～9時半　於新大阪ホテル
出席者　77名
当日は京都大学教授・工学博士堀内三郎氏より「火災時の有毒ガスと煙」（千日デパートビル火災を中心として）について有益なお話しを伺った。

建築クラブ小委員会
20日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　小林，尾亀正副委員長ほか2名
議事⑴8月以降の講師について
⑵講師の謝礼そのほか

関西都市・住宅会議

事務局打合会
24日　正午～3時半　於大阪建設業協会
出席者　共催団体事務局員14名
議事　昭和47年度関西都市・住宅会議の企画について

建築業務基準委員会

11日　1時半～4時半　於日本建築学会
出席者　谷委員長ほか20名
議事⑴責任施工の問題について
⑵建築の複合責任業務について
⑶工務店の業務について

6月・7月の入会者（敬称略）

〔団体会員　2社〕
㈱大新建設　　トヤマ建築設計事務所、
〔個人会員　50名〕

井上　享	土橋　彰	廣田安史
伊藤清造	時任敏晴	福田峰治
飯田　昭	米重　均	藤川敬一
岩崎哉美	富田利美	藤田義彦
上廣　武	富永正明	古竹天博
尾嶋弘務	奈良隆雄	前田一夫
片田和彦	中島敏明	湊　省治
河村隆司	中島文雄	南　光治
神崎由男	中田　巌	宮崎隆雄
小林　恒	永久辰夫	向井　要
小山哲二	仁平憲雄	村上博満
清水昇二	新延陽子	柳生良二
塩飽吉次	西野真次	山根七伸
白石清美	西村昭好	山野上和弘
伊達正博	橋本正則	横山吉男
高島達雄	橋本雄二	吉田公人
津山英一	東出清彦	

〔准会員　82名〕（代名省略）

小西豢造氏逝去

本会団体会員㈱小西儀助商店より同社小西取締役会長逝去につき下記のようなお知らせがありました。


故　小西　豢造氏

弊社取締役会長小西豢造はかねて病気療養中のところ心不全のため，7月21日午前0時16分永眠いたしました。享年74才。

葬儀および告別式は7月27日午後2時より4時まで大阪西本願寺津村別院（北御堂）にて，弊社専務取締役樫谷明正を葬儀委員長とし，社葬により営みました。

故人は，明治30年10月1日弊社先々代社長故小西儀助の四男として，大阪市東区道修町に生れ，大正7年5月金沢医学専門学校を卒業後，大正8年10月に弊社（当時合資会社）に入社しました。

大正14年10月株式会社小西儀助商店が設立されるや取締役として経営の任に当りました。

昭和6年8月には取締役社長に就任。

昭和26年には接着剤の研究に着手することを計画し，翌昭和27年には接着剤「ボンド」の製造，発売に踏み切り，先見の明を実証いたしました。

その後接着剤「ボンド」の製造部門の充実を計り，東京工場，ついで大阪工場，浦和工場，鳥栖工場を設立しました。

また，一方では製造部門の充実に伴い，営業部門（ボンドならびに化成品部門）の拡張充実を矢つぎ早に着手し，全国主要地域にサービスネットワークを一応完了するとともに，また同時に大阪本店，東京支店の充実を計り接着剤業界のトップメーカーの地位を築きました。

昭和46年2月，取締役社長のポストを長男，小西信一郎に譲るとともに代表取締役会長に就任いたしました。

昭和43年には，産業功労者として，勲5等瑞宝章を叙勲されております。（昭和47年7月26日）

■建築と社会　広告料金

スペース／寸法（mm）／掲載頁	1頁（2色）	カラー1頁
	タテ265×ヨコ190	
表紙2	85,000	230,000
表紙3	75,000	220,000
表紙4	110,000	250,000

スペース／寸法（mm）／掲載頁	1頁	カラー1頁
	タテ266×ヨコ190	
前付最初頁	60,000	200,000
前付各頁	50,000	180,000
前付記事対向	55,000	190,000
後付各頁	40,000	——

■設計段階における安全施工方策

建設業労働災害防止協会大阪府支部より下記依頼がありましたので紹介します。

労働省は本年10月1日に新法として「労働安全衛生法」が施行され新らしい時代に相応わしい直接的安全対策と間接的災害防止対策を確立されることに相成りました。建設現場の災害減少を実効あらしめるためには，発注者，設計者，指導監督行政庁が一体化して目的達成に努力を傾倒してこそ，その成果が期待し得るものと存じます。ついては，これを契機に施工者には新法を遵守するだけでなく自ら進んで積極的に安全施工に一層努力されるよう，また発注者には発注段階において，仮設物に対する安全性の確保と適正工期に十分なご配慮をお願い申し上げる次第です。

WEST-BERLIN ——戦災都市における保存問題

共同研究 都市の開発的保存 9

C. Grüneberg
安 昌寿



図－1 ベルリンの行政区

ベルリンの戦後処理

ベルリンは1440年にHohenzollern家の領土の首都になることにより，その発展の歴史を開始した。1871年にドイツ帝国の首都になって以後ドイツの政治経済の中心地として急速に発展した。第一次大戦後，郊外を併合して人口400万人の大ベルリン市となり，世界有数の都市となった。第二次大戦でベルリンは廃虚と化した(**写真－1**)。長い歴史にわたって受け継がれてきた文化遺産と市民の生活の多くを破壊されたベルリンの戦後の再建には数多くの難問が含まれていた。第二次大戦前，ベルリンには156万3千戸（1人当り面積16.4m²）の住宅があったが，戦争直後は86万8千戸（1人当り面積8m²)が残っているにすぎなかった。戦後復興のまず最初におこされた行動はもちろん破壊物処理であった。爆撃によって破壊されたベルリンは瓦礫の山であった。木と紙でできた日本の戦災都市のように焼け落ちるわけではなかったので，8千万m³にものぼる石とレンガの山を処理することは難問であった。ベルリンには空襲から市民を守るためのトーチカ（Bunker）が市内のあちこちにあった。これは高さが数十メートル，壁厚が約5メートルもあったので，破壊に要する費用は莫大なものになると予想された。そこで連合軍は瓦礫でトーチカを埋め込む方法を考え出し，市内の各所に100m前後の「山」を出現せしめた。これらは現在緑地公園化され，市民に憩いの場を提供している。現在も不燃性廃棄物の処理法として同様のことが行なわれている。破壊物処理が一段落すると建物の応急修理が開始された。これはもちろん市民にとっての最低限の居住条件すらも満足するものではなかった。ベルリンが東西に分割されてからは，2つのベルリンはそれぞれの政治システムに従って異なった発展の道をたどった。西ベルリンの新しい建設は1949年のベルリン再建計画にはじまった。これはアメリカの援助によるヨーロッパ復興計画の資金を用いて行なわれたもので，援助金の45％は住宅建設に用いられた。1952年には公共住宅建設(Sozialer Bohnungsbau)がはじまった。一方，東ベルリンでもやはり1949年から東ドイツの六都市のための投資計画の一環として建設計画がたてられた。これは必要な土地の収用を含み，資金の20％から25％が住宅建設に用いられた。1970年の西ベルリンの総人口の20％が65才以上の老人である（西ドイツ国内では12％)。老人人口が全人口に対して占める割合が大きいという点においてもベルリンは典型的な戦災都市であるといえよう(**写真－2**)。

西ベルリンにおける再建と保存

西ベルリンにおける戦後の建設は2つの時期に分けてとらえることができる。それは終戦の1945年から1955年までの10年間とそれ以後である。ここではそれらを便宜的にそれぞれ前期，後期と名付けることにする。大まかにいって，前期は破壊された建造物の再建のために，すなわち戦災都市に固有の問題の克服のための時期であり，後期は大都市のもつ一般的な問題の解決のために費されている時期であるということができる。

前期（1945～1955）

この時期のもっとも重要な問題はもちろん破壊された家屋を再建することであった。戦後の絶対的住宅難のなかにあって，大量の住宅を建設することは緊急を要する課題であった。敗戦後の極端な財政難のなかにあって，ここでは材料の質や建築的あるいは都市景観上の質は度外視され



写真－1 第二次大戦で破壊された住宅街



写真－2 西ベルリン中心街現況

た。この時期の応急建設が以後の都市景観の保全をさらに困難にしたことは想像にかたくない。

また住宅に限らず，連合軍の無差別爆撃によって建築史的価値をもつ建築物の多くが破壊された。政府はドイツの文化遺産ともいうべきこの種の建築物の復旧には非常な熱意を注ぎ，戦後の応急復旧のさなかにあって，完全に昔の形態のとおりに再建する努力をした。戦後に限らず，戦時中にあってもナチスドイツの文化遺産に対する熱意はたいへんなもので，1941年に爆撃によって破壊された東ベルリンにあるベルリン国立歌劇場は空襲さなかに再建されている。しかしこれは1943年に再度爆撃によって破壊され，現在の東ベルリン国立歌劇場は1955年に再建されたものである。

この時期に復元の対象となったのは12世紀中頃，すなわち中世初期からバウハウスまでの時期に建てられた有名建築物で，市役所，教会，宮殿，凱旋門，劇場など，そのほとんどが公共建築物である。この復旧のために特別の立法措置がとられ，場合によっては単体の建築物にとどまらず，地区が対象となることもあった。このいちばん有名な例はシャルローテンブルクのクリストシュトラッセの住宅街で，ここでは建て替えは旧様式によってのみ許されることになっている。もちろん建て替えに際しては市当局から援助金が支払われることになっている(**写真－3**)。

後期（1955～　）

1955年以降の建設の目標は，主に高い水準をもった住宅を供給することと歴史的都市景観，とくに街路景観の保存に向けられた。ここで実際に用いられた都市計画手法として，都市環境に対する認識の仕方に対応したつぎの3通りの方法がある。

1．近代建築思想の原則に沿った住宅地区，および住宅都市の建設

バウハウスに代表される近代合理主義的建築思想の影響を強くうけた，この方法による建設は，比較的初期において支配的であった。住宅地区建設すなわち団地建設の代表的なものとして，グロピウス，ニーマイヤーなど近代建築の旗手の競作によるインターバウ(Interbau)がある(**写真-4**)。またサブセンターをもった住宅都市建設，すなわちベッドタウン建設の代表的なものとしてはＭＶ（Märkisches Viertel）やＢＢＲ（Britz-Buckow-Rudow グロピウスタウンとも呼ばれている）がある。ここに例としてあげたものは，市が自己の能力を誇示するために力を注いだ計画であったが，市内の一般地区においては，建設費が安いという理由のみからで，街路景観あるいは都市景観を全く考慮に入れずに建設された。



写真－4　インターバウ

そこでは今やよい建築的伝統はほとんどみあたらない(**写真－5**)。

2．都市景観保存のための古い住宅の歴史主義的保存・復旧

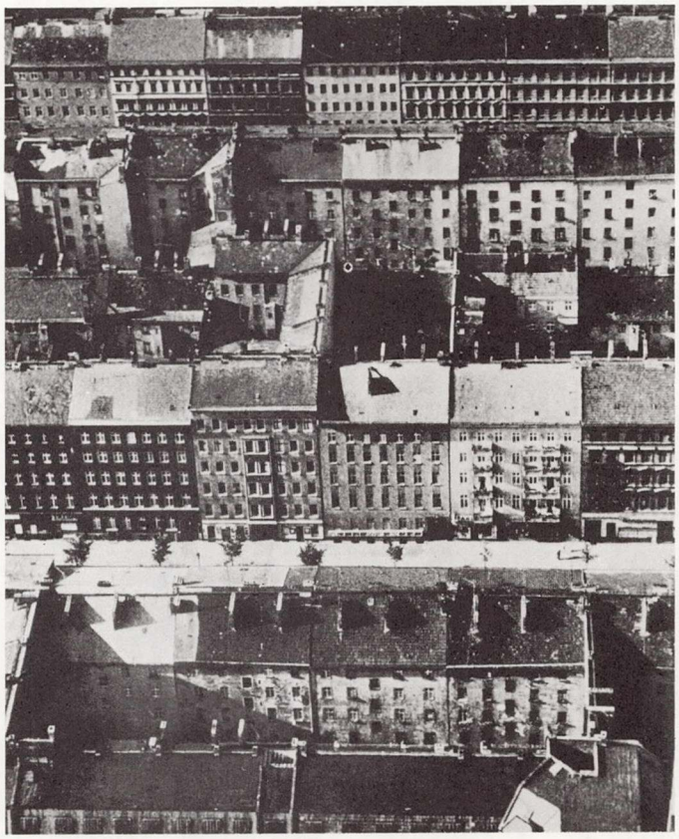
前期において歴史的価値をもつ公共建築物は国家的名誉にかけて細部にわたって完全に復元されたが，街路景観を構成する最大の要素である住宅については対策が遅れていた。その理由として，戦後の財政難のなかで質よりも量を供給する必要があったこと，すなわち非常に高くつく職人的技術による様式保存を顧みる余裕が全くなかったことと，古い様式の住宅が住様式の変化に対応していけなくなったことなどがあげられる。戦後残っていた旧様式の住宅で，修理をすれば使用し得るものがたくさんあったが，それらのほとんどは修理するよりもモダンな住宅に建て替えるほうが安上りであるという理由でつぎつぎと建て替えられていった。こうして次第に蝕ばまれてゆく街路景観の保存のために市当局は街路に面したファサードのみを保存するための方法を考案した。いわゆるメーキャップ保存（make-up preservation）である。

3．都市の現代的変容を受け入れたうえでの都市景観の質の向上

この考え方を支えるのにいくつかの観点がある。ひとつは建物の歴史様式に従った再建のためには莫大な資金が必要であるという消極的な観点であり，またひとつにはファサード保存のような市民の生活の利便性を



写真－3　クリストシュトラッセの住宅街



写真－5　戦災をまぬがれた古い家並
ファサードの保存された家と簡単にモルタルで補修された家が混在している。

軽視した行政当局おしきせの「保存」に対する市民の反発である。そして何よりも重要なことはおそらく，巨大な社会機構の中枢に位置する大都市西ベルリンにおいて，「過去への郷愁」は時代の要請の前にいかにも無力であるということである。

西ベルリンにおける保存を考慮した計画の事例

以上述べたような西ベルリンの３通りの都市計画手法のなかから，都市の保存に関連する２，３の具体的事例がどのように実行され，評価されているかをつぎにみてみよう。

ファサード保存

他のヨーロッパの諸都市と同様に，調和のとれた街路景観を構成している古い様式による建築物を再建することは，西ベルリン市当局にとって重大な関心事であった。たとえ部分的にしか破損していないものでも，修理には特別の材料と高度な技術を要した。この財政的問題に加えて，市民の生活の側からの要求が保存にかかわる利害関係をさらに複雑なものにした。この問題の解決のために西ベルリン市当局は1963年に歴史的ファサード保存のための条例を施行した。これは個人あるいは法人所有の建物を対象とするもので，歴史的価値があると考えられるファサードをもつ建物の持主がファサード保存の希望を出し，それが当局によって認定されれば保存のために必要な修理経費の一部を市が援助金として支出するというものである。市はファサード保存を支持する世論を喚起するために数回の「ファサードデザインコンペ」を実施し，多くの建築家がこれに参加している。先に述べたクリストシュトラッセの住宅街では市の全面的な援助により街路のテクスチュアや街燈に至るまで復元保存されているが，住宅の内部は全くのモダンスタイルになっている。すなわち街路景観を構成する物理的な建築形態と，そこで営まれる日常生活とははっきりと別々のものであると割りきって景観の保存を主張するのがここでは一般的であるかのようにみえる。ファサード保存はそうした市民意識をたよりに打ち出された方針と考えることができよう。しかし，行政当局によって先導されたファサード保存のやり方は，街路の裏側に生きいきと展開する市民生活をおおいかくし，街路に面した部分だけを旧様式によってかざりたてるみかけだおしの景観保存であるとして，現在批判の矢面に立たされている。

西ドイツ国内では都市景観保存を担当している行政部局は保存課で，教育省の一部に位置しているが，西ベルリンでは保存課は建築部の一部になっている。このことは西ドイツ国内と西ベルリンの行政当局における景観保存のとらえ方の相違を明確に示している。

クロイツベルク地区再開発計画

この地区の発展は1840年に北部の旧センター拡張という形で，住宅街路の直角格子がひかれたことにはじまった。1853年に新しい建築規準が施行され，敷地の７％の中庭だけを残して，敷地いっぱいに工場や，安普請の住宅を建ててもよいことになった。そうしてこの地区は社会的に庇護を受けている人々の住宅街の典型となった。それまであったアパートのなかの大きな住居単位は1930年頃につぎつぎと小さな住居単位に改造された。そのなかには単室住居もあった。住民の多くは社会的庇護下の人々であり，彼らは敷地の80％を占める中庭に建てられた中小工場で働いている。この地区には，公共建築物が比較的多く，また古い家並も存在しているが，住宅水準，生活水準が低いことや，開発理念が欠如していることなどが理由で，建物の老朽化が進行し，全体的な発展がみられない。住宅の13％は，改造された小さな住宅で，多くの住居単位が屋内廊下によって結ばれているというレイアウトになっていて，便所や浴室は中庭か階段のおどり場に配置されている。

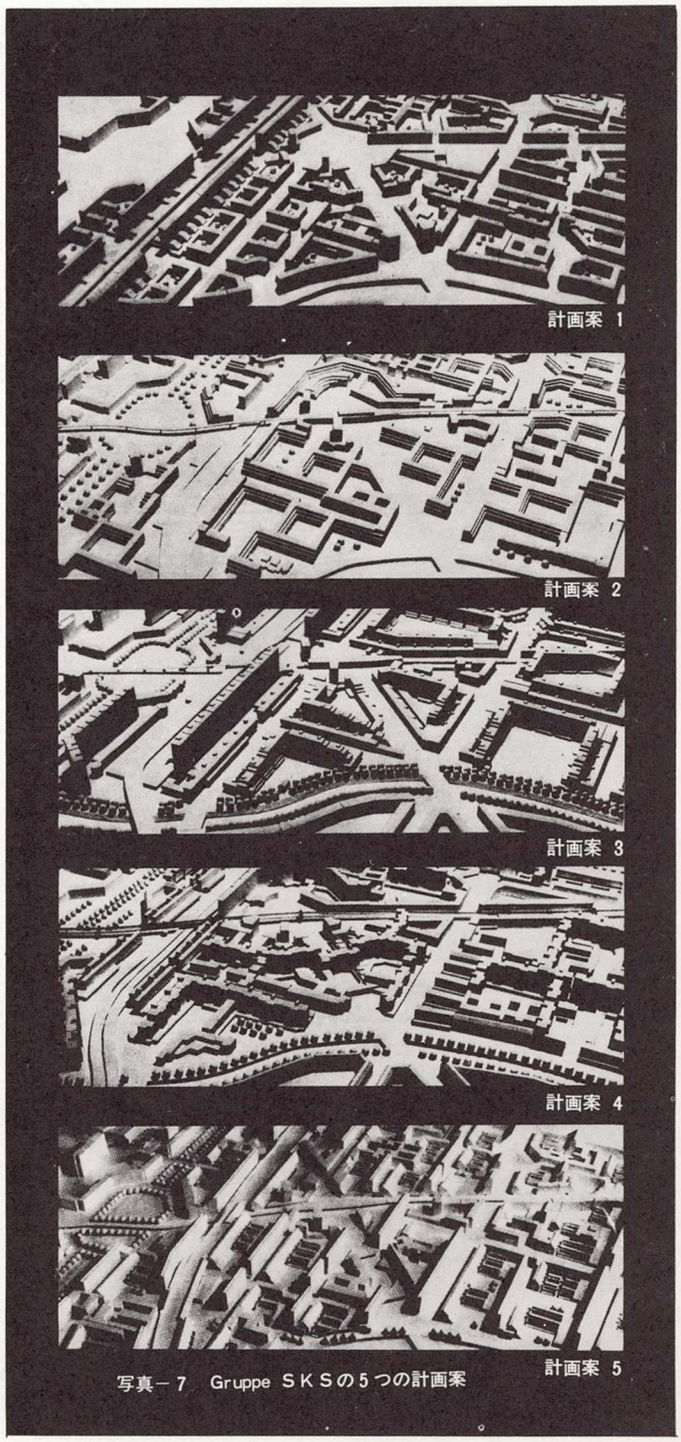
西ドイツの住宅都市計画省（Bundes Ministerium für Städtebau und Wohnungswerk）は1962年に都市再開発計画を開始し，1968年までにこの計画に８千万ＤＭ（ドイツマルク）をつぎ込んでいる。この計画のもとでの一住宅あたりに対する平均投資額は１万５千～２万ＤＭにのぼっている。この計画は一般にスラム地区を対象とするもので，西ベルリンにおいてはウェディンク（Wedding）とクロイツベルク（Kreuzberg）の２つの地区がこの計画の対象地区になっている。1963年にクロイツベルクのための都市再開発プログラムは開始された。西ベルリン市当局によって発表された計画の基本はつぎの４項目である。

1．職住混合地区の移転
2．従来の地域間交通システムを変更しないこと
3．有効土地の高度利用の継続
4．公共施設の適切な配置

この基本線に沿って西ベルリンの建築家グループ Gruppe ＳＫＳがクロ



写真－６　クロイツベルク再開発計画地区現況



写真－７　Gruppe ＳＫＳの５つの計画案

イツベルク地区南部の再開発のためのマスタープランを発表した。彼らの問題としているところは，快適な居住環境を確保したうえで，昔の街路景観のイメージをどうすれば現代的に再現しうるかということと，昔の街路と中庭の相互依存の形式をどう発展させるかということである（**写真－6，7**）。

クロイツベルクにおいては都市景観の破壊が顕著である。大きなハイウェイが都市景観のイメージにとってもっとも価値ある場所を破壊している。一方市当局はクロイツベルクの景観に対する考えをもっていないので，歴史的建築物や歴史的な場所をいかに使うかということに関する指導をせず，私企業や住宅建設組合の無秩序な開発を放置している。こうした現状に対して，いくつかの私的な建築家のグループが批判を試み，これに代る理念を一般大衆に提示している。そのなかでもっとも興味深いのは西ベルリン大学の建築学科の進歩的グループによって始められた運動である。彼らは市当局の反動的姿勢や，市当局が個人の投機家や大住宅建設組合と結びついて住民を犠牲にして利益を分けようとしていることをクロイツベルクの住民に知らせようとしている（**写真－8**）。



写真－8　街頭で討論会を開く建築科の学生達（参考文献3）

以上，ベルリンとくに西ベルリンにおける第二次世界大戦後の都市計画の流れを保存問題を中心に大まかにたどってみた。開発と保存が敵対する2つのものとして矛盾関係にあるのは，「開発」と「保存」それぞれのもつ本質的な意味に起因するものではなく，戦争による破壊の非人間的尺度や，現代という歴史の切断面にあらわれた開発の非人間的尺度(機械的尺度）と，保存を志向とするきわめて人間的な尺度の対照に起因するものであると考えることができる。都市景観の保存という観点だけからみれば，西ベルリンは2つの大きなハンディキャップを背負っている。すなわちひとつは戦争による大規模な破壊を経験しているということであり，今ひとつは現代の社会機構の中枢にある大都市であるということである。無差別爆撃による廃虚のなかからはじまった西ベルリンの都市空間の整備，保存は必ず復旧という過程を通らなければならなかった。ヨーロッパ人の都市景観に対する保守性はよく指摘されるところである。この保守性と，石とレンガでできたヨーロッパの都市の恒久性とが相互規定しながら歴史的に発展してきたとみることができる。単に一時代の作品としてではなく，長い時間をかけて築き上げられてきた都市景観は，歴史上の都市あるいは市民生活を一時代の空間的拡がりをもったものとしてだけではなく，時間軸を加味したダイナミックなものとして現代に生きるわれわれにさし示し，そして今後の発展のためのゆるぎないよりどころとなり道標となる。歴史上の遺産を一夜にしてスクラップ化し，たちまち全く異なった都市景観を出現せしめる機械力の横行に直面したときに，脈々と歴史を貫ぬく流れを守ろうとするこのような意識が保守性を帯びるのは当然のことである。しかし「過去への郷愁」がこの保守性を支えているという考え方には幾分注意しなければならない。過去のみで都市を構成しようとするならば観光都市としてしか都市が生きのびていくみちはないだろう。そしてそのとき，都市は長い歴史のなかでつちかってきた景観のもつ意味を大部分失なってしまうのである。都市景観がこれまでそこで行なわれてきた活動の視覚的表現の総体であるならば，すなわち都市景観が歴史のなかの市民の生活を表現するものであるならば，現代の市民の生活も都市景観のなかに積極的に表現されなければならない。戦争によって破壊されたベルリンの歴史的建築物の完全復旧のことは別として，歴史的ファサード保存など西ベルリン市当局による保存行政は単なる「過去への郷愁」にのみよりかかろうとする屈折した保守性を感じさせる。西ベルリンの保存問題は，単に過去の文化遺産としての都市景観を継承していくということだけでなく，戦争によって破壊された過去の都市景観を再現するところにあることに注意しなければならない。戦争の破壊によって都市景観上の歴史的脈絡を断ち切られ，都市景観の統一性を破られたいま，西ベルリンは都市景観に関して，戦前に重きをおくか，現代に重きをおくかの2つの大きな岐路に立たされている。前者は公共建築物の復元，ファサード保存であり，後者はクロイツベルクで行なわれているような再開発の計画である。

今，西ベルリンは「復旧」と「建設」との間で悩んでいる。西ベルリンにおける保存問題はヨーロッパ人に根強い都市景観に対する，保守性と現代社会の巨大なエネルギーのなかで，根本的な解決をせまられているのではないだろうか。

参考文献

1. Berliner Arbeiterviertel：Arch. Fak.TUB　1969/70
2. Städtebaubericht 1970　Bonn,
3. Sanierung für wen?　Kreuzberg 1969－1970
4. Berlin-Kurzgefaßt　1971
5. Werner Hegemann：Das Steinerne Berlin　1930/1963
6. Berlin ABC Informationsamt Berlin　1968
7. Berlin-Broschieren　1968－1971
8. Bauen seit　1900 in Berlin　1968　Kiepet Berlin
9. div. Bauwelt　1968－1971　Berlin

（C．グリュネベルク　京都大学大学院上田研究室
あん　まさとし　京都大学大学院上田研究室）

WEST-BERLIN

● 求人広告

急募！

設計スタッフ

若干名
年令30才まで

赤崎建築事務所
大阪市西区立売堀北通１－90
第三富士ビル
電話06(541)7625

●おしらせ

今般，大阪府知事より，下記のとおり第10回事業所統計調査の協力方についての依頼がありましたので，お知らせします。この９月１日には，全国いっせいに事業所統計調査が実施されます。調査員がすべての事業所を訪問し，名称，所在地，事業の種類，従業者の数などについておたずねします。
すべての事業所のご協力をお願いします。

総理府統計局
大　阪　府

●おわびと訂正

「建築と社会」昭和47年７・８月号“暑中見舞”欄の一部を右・下記のように訂正しおわび申し上げます。

取締役会長　大木　昭
取締役社長　近藤喜久二
株式会社　桂建築設計事務所
〒160 東京都新宿区市谷田町３－８　新杵ビル３階
電話03(269)6411

桑田　正造
桑田硝子株式会社　取締役社長
〒650 神戸市生田区中町通３の５　電話078(732)6811代
〒653自宅・神戸市長田区五位ノ池町３の３
電話078(621)3807

飛島建設株式會社大阪支店

常務取締役支店長　木　脇　準
大阪市東区島町２丁目２８番地　電話　大阪（942）２４８１（代表）
本　社　東京都千代田区九段南２丁目３番２８号
電話　東京（263）３１５１（大代表）

三井建設株式会社大阪支店

取締役支店長　土　居　二　郎
大阪支店　大阪市北区中之島３－７（三井ビル２号館）　電話大阪（443）代表1321
本　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一（三井ビル）　電話東京（270）大代表8651
支　店　東京土木・東京建築・札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪 364・代表 0206～9

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5　(電話221 2923)

OKUYAMA KAKOGYO WATER・PROOF OAM

新工法！
プレノテクト吹付工法

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯 コーパータイト

8対2の防水(冷工法)　デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

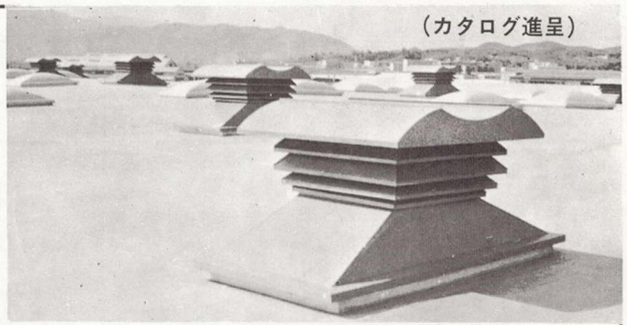
奥山化工業株式會社

本社	東京都中央区銀座8－4－11	電話・03(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所	大阪市都島区都島中通り2-3-1	電話　06(921)2497・(922)7280
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話 052(811)3660・3104
札幌出張所	札幌市中央区北三条東四丁目	電話 011(231) 7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

(カタログ進呈)



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981)　0615～0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町1-2-7　電話 (434) 6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302) 2271 (代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　給排水、衛生水道　電気　厨房
各種サッシ　環境衛生施設　荷役運搬機械　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務　節
取締役支店長　濱川幸十郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水衛生設備
設計　施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷　健児
本　社　大阪市西区江戸堀1－60　電話 (441) 8231代表
支　店　東京・名古屋・大阪・福岡
営業所　札幌・新潟・仙台・金沢・岡山・広島・高松・熊本
出張所　盛岡・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・鹿児島

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備

株式会社 三晃空調

本社・本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話 03－292－7751
名古屋市中村区広小路西通3丁目9番地　電話 052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話 0822－47－4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話 092－76－3795
出張所　富山・福井・京都・神戸・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊟(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊟(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊟(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－千葉・横浜・広島　出張所－高松・北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪 (443) 5041～5番
東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話　東京 (270) 7411番 (代表)

札幌営業所	札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル	電話 札幌 22) 5756
金沢営業所	金沢市高岡町2番16号	電話 金沢 21) 2074
福井出張所	福井市御幸2の1	電話 福井 24) 2436
高松出張所	高松市2番丁9	電話 高松 21) 5195
岡山出張所	岡山市大供380の1	電話 岡山 24) 5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪 (06) 761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話　東京(03) 262－3241～4番

創　業　暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年　病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

本　店　東京都千代田区丸の内2の4の1　丸ビル676号　電話 212代3751
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル 616号　電話 443代3361
京都支店　京都市南区西九条春日町48　電話 681代1781
支　店　札幌・名古屋・福岡・千葉
営業所　宇都宮・横浜・熊本

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (364) 6661(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
髙砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル9階)
電話　大阪(372)2511(代表)
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話　(06)　344－6031(代)
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話　(03)　279－5671(大代)
名古屋・九州・広島・札幌
東海村・北陸・大分・岡山

平山工業株式会社
衛生・空気調和設備・設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工
東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443)8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562)1351
支店　名古屋・福岡

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備　設計施工
不二熱學工業株式會社

本店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役　市川繁雄

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681)5101～5・夜間専用(691)1045
大阪支店　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市支店　四日市市浜田西末広町　電話㊺7431～3
大津営業所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工
山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443) 8161(大代表)
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ビークビル5階　電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (341) 1778・4386

奉仕感謝の店
タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル
サンエス
SSS タイル新発売
(カタログ進呈)

株式会社 川岸窯業商店

本社　大阪市西区靱本町2丁目98番地(靱本町バス停前)
電話　大阪 06(532)代0461
姫路営業所　姫路市北条口126番地(住友生命保険ビル3階)
電話　姫路0972(82)0999

青写真とマイクロフィルム
株式会社
内外写真
製図・トレース・複写写真

本社　大阪市北区堂島北町16　TEL (345)9055(代表)
本町営業所　大阪市東区本町4-27御堂ビル　TEL (252) 3906
横堀営業所　大阪市東区横堀2－36　TEL (202) 5260

電気設備工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701
支社・支店　東京・札幌・名古屋・福岡
営業所　旭川・神戸・姫路・高松・広島
出張所　苫小牧・浜松・光・沖縄

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(385) 1361
本社営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　代表　(385) 1361
京都営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311) 1185

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話 (36) 3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 (66) 1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所 2・2607・4259

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話 (364) 1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話 (542) 5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (991) 5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男
本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中　実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06)452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06)462－1301(代)

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

株式会社 矢橋大理石商店

大阪支店

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪　（202）　4905

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。



株式会社 吉田芳雄商店
本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4—78 電話(358)1790・1838

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売……古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル

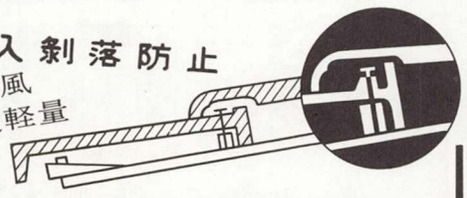
株式会社 大佛

本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都渋谷区上原1丁目29の4　03（467)1641
工　場　京都清水・山城・瀬戸

FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物船舶等造作工事
家具建具・室内装備工事　設計施工
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式
（創業大正7年）
イスのコトブキ 協力工場 シンプソンドアー 取扱施工店

二葉屋装備工業 株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪府知事建設登録（る）第16216号
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
電話・大阪(371) 3321～3・3630

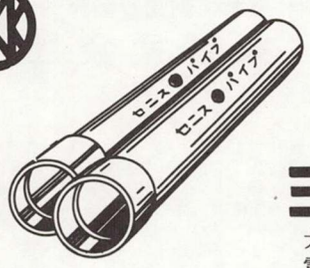
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



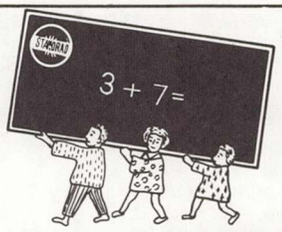
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目28番電話(641)5252

営業品目
● カネボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町3—54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

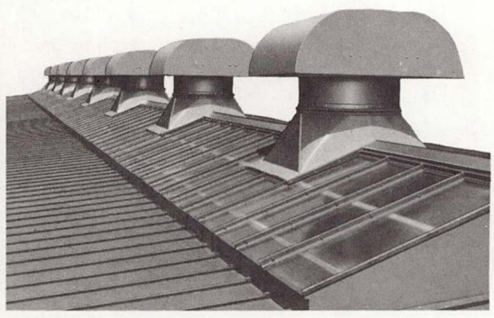


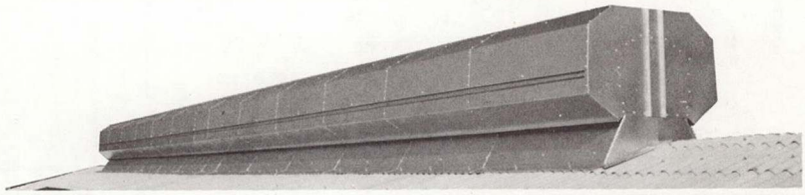
トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社 三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031



Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区加美末次町8－92　TEL 大阪06（792）代5858

特許　内外式電動ベンチレーター　特許　内外式コンチニアスベンチレーター
（大量自然換気方式）





内外建材株式会社
本　社　大阪市西区江戸堀北通1－25(相生ビル)
TEL(441)3983～5・4396
大阪工場　大阪市城東区天王田町1－141
TEL（962）1149
京都工場　京都市東山区山科東野井上町
TEL075（581）0126

発明賞に輝く各種特許235件所有

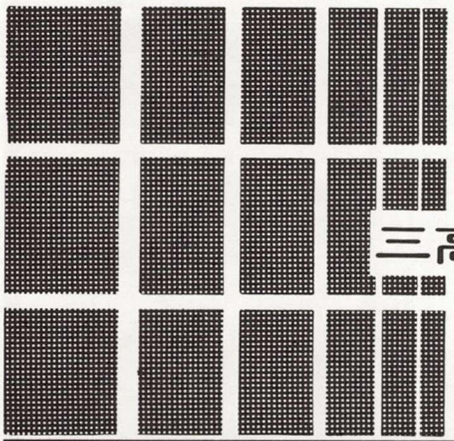
特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

KJK 株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)21—2287



スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211～5

シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社 大阪市東区谷町5－30 新野村ビル TEL(762)5861代
本社 東京(543)2281・名古屋(331)6171・大阪(352)4571
営業所 横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

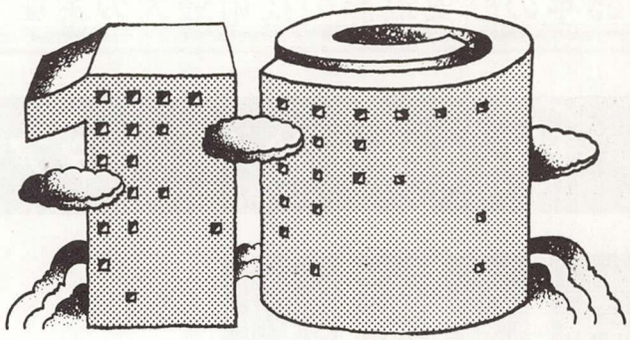
ユニオンボードは、旭化工板の製品です。

豊富な経験と実績が、その名を不動のものにしました。

ユニオンボードと名づけて19年。

旭化工板のユニオンボード…いまや、木毛板・スレートサンドイッチパネルの代名詞。19年前に、旭化工板の技術を結集したサンドイッチパネルを、「ユニオンボード」の名で、はじめて世に送り出して以来、各分野で経験と実績をつみ重ね、他に類をみない高品質パネルとして、ご好評いただいております。いわば、旭化工板はユニオンボードの生みの親。それだけに、ユニオンボードのすべてを知り尽しています。

〝ユニオンボードは旭化工板の製品です。〟



〈ユニオンボードの特徴〉

●耐火、断熱、遮音性にすぐれています。
●全国をネットする販売・施工管理体制
●現場野積安全養生のためにビニールシートで被覆しています
●旭化工板のユニオンボードの施工には、その性能に適合したUBコーキングを採用しています。

サンドイッチパネルの総合メーカー

旭化工板製造株式会社

JIS認可工場

本社・工場　尼崎市下坂部久々知前235　TEL大阪(06)491-6781(代)

東京営業所　東京都台東区駒形2-3-5（駒形武蔵野ビル）TEL 東京(03)842-9251(代)
名古屋出張所　名古屋市中区丸ノ内3-18-12（大栗ビル）TEL 名古屋(052)961-5940
福山出張所　福山市松浜町1-1-4（福山不動産ビル）TEL 福山(0849)23-1491(代)
鈴鹿工場　鈴鹿市三日市町1859　TEL 鈴鹿(0593)78-1165～6
上野工場　上野市山出字柏ケ坪100の1　TEL 上野(05952)3-0205～6

●資料ご希望の方は、本社A係までお申し込みください。

Taniyama

送風機



営業品目

●LAF形　リミットロード送風機
●VAF形　可変式軸流送風機
●SAF形　ストリームライン送風機
●CAF形（特許）　遠心式静音軸流送風機

株式会社　谷山鐵工所

本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪（931）代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
東京(814) 6651～3

腐らない・燃えない・軽い

ケミカラーオーシマメタル

屋根材・壁　材・谷樋練包水切に
スタンダードメタルの　大島応用化学　東大阪市新庄（782）4171代

全国で好評の……新興の内装壁材を！

新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材

ダイシンコート

（特長）

耐火・耐水・耐アルカリ・防音・保温・吹付・塗付



革新塗料現る

①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由

繊維塗料の
シンコゾール

全国有名建材店又は当社へ

繊維壁材（通称）わたかべ

耐水、耐アルカリ性時代来る

（特長）
漆喰下地に強く
差しドロマイドプラスターに強く
支なしセメントモルタル塗面が強く
落ちりない良く

すゝき・すゞか・新いすゞ・四香・七宝・錦紋・王座

●カタログお送りします



（株）新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元
新興壁材工業（株）
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪（672）１６６１～３
（株）九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町２６の１　TEL 福岡（41）５２２５～６

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

オリエンタルメタル（O. P. M）
不燃（個）1068号

品種　オリエンタルスーパーメタル（S. P. M）
不燃（個）1048号

カラースーパーオリエンタルメタル（C. S. P. M）

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

加工品種　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター・ルーバー・ルーフエキゾスター（強制換気装置）

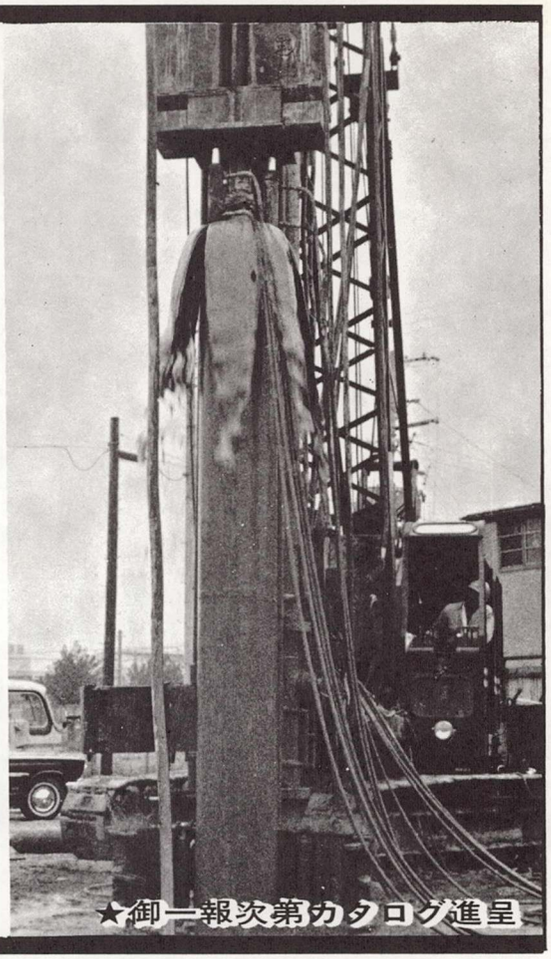
カタログ御請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

本社	兵庫県尼崎市昭和南通り３－26松本ビル	電話	大阪（412）5131代表
東京支社及工場	埼玉県蕨市塚越５丁目６番３２号	電話	蕨（42）3115～８
大阪支社及工場	兵庫県尼崎市長洲稲川新田４４	電話	大阪（488）1081代表
九州支店及工場	福岡県遠賀郡水巻町頃末	電話	八幡（69）2831～４
名古屋支店及工場	名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル	電話	名古屋（581）2781～４

タイプ
TAIP工法
にはハンマー不要です
〈完全無音無振動既製杭工法〉

従来の既製杭を利用して杭打施工時の
振動・騒音を完全に追放しました!!



■主な特長

1. ネジ込力を杭押込力に変えるので完全無振動無騒音です。
2. 根入長さが長く安定した支持杭が施工出来ます。
3. スライムの沈積はありません。
4. 完全に支持層に岩着させるので大きな支持力が期待出来ます。
5. 何米でもヤトイ杭で納められ地下室のある建築に最適です。

TAKECHI 株式会社 武智工務所

■本　　社　大阪市東区高麗橋2の20(高麗新ビル)　TEL大阪(202)3233(代)
■名古屋支店　名古屋市中区錦1－3－2(殖産ビル)
■福岡支店　福岡市赤坂1－15－33(第二菊陽ビル)
■営業所　東京・静岡・富山・広島・熊本・鹿児島　■工場　大阪・名古屋・鹿児島

モルタル・コンクリート用
マノール 防水剤



ご一報次第
カタログ進呈します

＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊AE効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

その他マノール製品
急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤

エスコート(セメント起泡剤)・エアコール(場所打ち杭工法添加剤)

セメント混和剤・助材綜合メーカー
株式会社 油脂化工社

東京都品川区大井1－15－1　☎ 東京 (774)4111代表

関東営業所	茨城県土浦市大町1213	☎ 土浦 (21)5189
東北営業所	福島県福島市下野寺字遠原	☎ 福島 (34)7111
盛岡営業所	岩手県盛岡市南大通3－12－50	☎ 盛岡 (24)0213
大阪営業所	大阪市東成区東中本2－17－26	☎ 大阪 (971)4765



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの４F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

製造元＝田島応用化工株式会社

東京／東京都千代田区岩本町３の１１
電話（866）６１０１

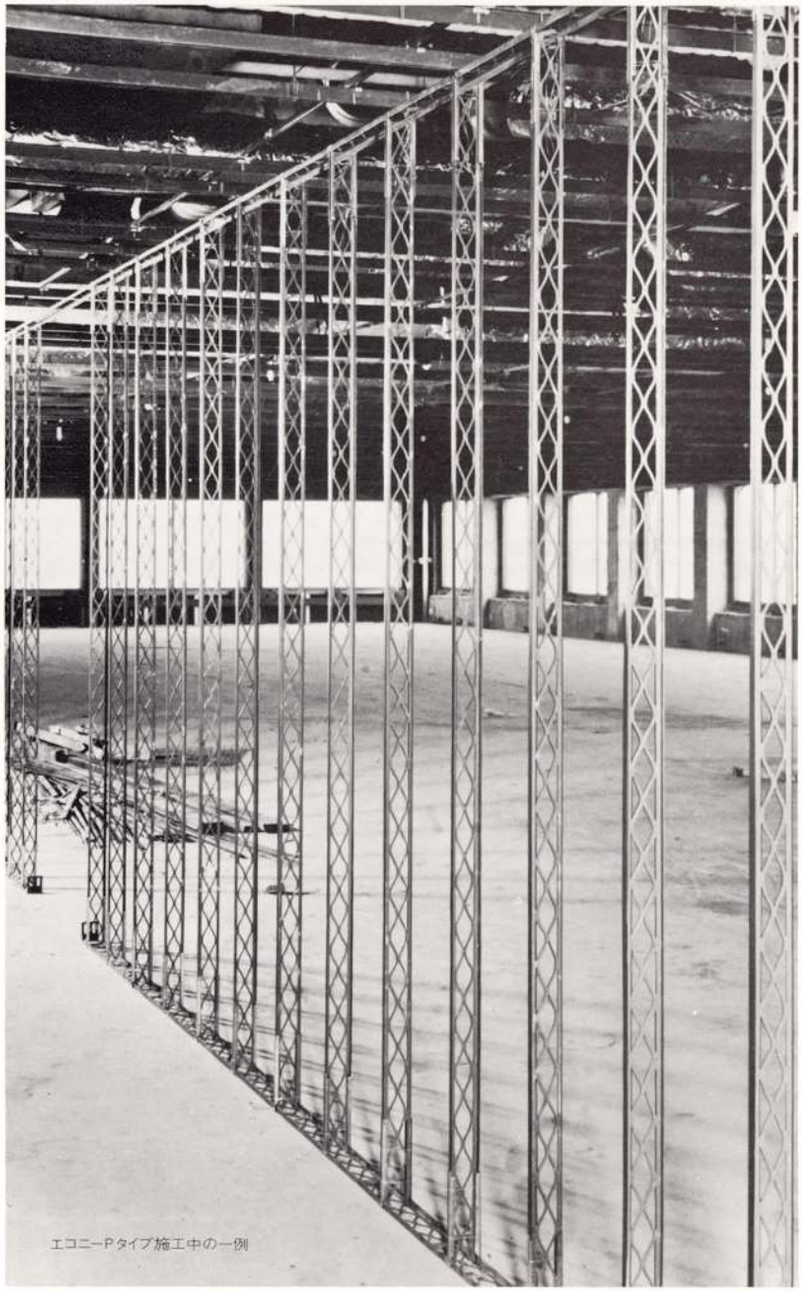
大阪／大阪市西区京町堀１の７４
電話（441）５９５１

★規格＝333.3 ×333.3 ×２㍉ ９枚／㎡
333.3 ×333.3 ×３㍉ ９枚／㎡
★色数＝22色
★価格＝２㍉厚品 1,200円／㎡（300㎡以上）
３㍉厚品 1,800円／㎡（300㎡以上）
小部屋割増・階段40％高

■昭和47年9月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

金属建材におけるアイディア性と機能性と合理性についての考察。

今回は、独創の"軽鉄間仕切壁工法"に関して……。



エコニーPタイプ施工中の一例

その評価が、専門家の間でますます高まっている新工法。建築の高層化と並行して要求されてきた、高度の機能と新たな合理性…の課題も次つぎに克服。新しい間仕切壁のあり方を提示した、とさえいわれるシステム工法です。

総称して《エコニー スタッド パーティション システム》

マンテンだけのアイディア工法です。軽量性から不燃性耐震性・遮音性・施工性・経済性…まで、ことごとくの要求に応えられる、それぞれ個性的な工法が、いま4種類。1例として、日本最初の本格高層建築"霞が関ビル"に採用されたPタイプでは、鉄筋コンクリートの1/6、コンクリートブロックの1/3の軽さ。階高の1/150の層間変位テストにさえ仕上面にも一切影響なし、の折り紙つき。素材の製法から工法まで51件のパテントは、いわば独創技術の証明書です。

京王プラザホテル・帝国ホテル・世界貿易センタービルなど名だたる高層ビルをはじめ数かずの実績が、その真価のすべてを物語ります。いずれも、製造から責任施工まで。

防火壁構造認定《第115号》に代表される安全設計。軽量SL鋼と特殊スタッドシューと遮音石こうボードで構成。簡単な施工。短い工期。

《乾式軽量遮音間仕切壁》キルドタイプ

経済効率を高めるキルドタイプの普及版。キルドと同様に、ペンキクロス仕上げができ、たわみ・ひび割れの心配もない平滑な美しさ。

《乾式軽量簡易間仕切壁》エルドタイプ

軽鉄SLスタッドとニューラスボードで構成。石こうプラスター3回塗り、亀裂の心配もなし。とくに耐火性能がすぐれている(W2008)。

《湿式軽鉄耐火間仕切壁》エコニーPタイプ

軽鉄SLスタッドとリブラスの構成。モルタル塗り仕上げ。各性能はほぼPタイプに同じ。4タイプとも、中空間利用で配管配線は自在。

《湿式軽鉄遮音間仕切壁》エコニーMタイプ

＊カタログを差しあげます。本社・建装部KS係までハガキでご請求ください。

明日の生活環境づくりに
アイディアでとりくむ——

マンテン

株式会社マンテン
本社 〒542 大阪市南区日本橋筋3-2 ☎(06)632-1151代　東京支店 〒136 東京都江東区亀戸2-3-17 ☎(03)682-3241代
名古屋出張所 〒454 名古屋市中川区百船町1-3-4 ☎(052)353-3177代　福岡出張所 〒812 福岡市博多区博多駅東1-12-26(岩瀬ビル) ☎(092)43-4356代　札幌出張所 〒065 札幌市東区北八条東19-22 ☎(011)741-8439

■ご入会のお申込は・社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3－37 電話大阪(06)231-9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 400円(送料共)